



No	施設	都道府県のがん診療連携協議会等で、都道府県内の施設へのがん化学療法の研修について検討する機会		都道府県内の施設に向けた、がん化学療法に関する研修等の人材育成について														H30年度実施の予定	H29年度に未実施の施設			都道府県内の施設に向けたがん化学療法の研修・人材育成に関する困りごとなど	都道府県内の施設に向けた研修・人材育成を実施するにあたり必要とする支援など			
		実施した(回/年間)	過去に実施H29年度は未実施	未実施	研修未実施の理由(複数選択可)											(あると回答した場合)										
					都道府県内で話し合う機会がない	担当者がいなかった	時間的に余裕がなかった	必要性を感じていない	どのように研修を実施すればよいかわからない	他の機関主催で実施した	予算が確保できなかった	都道府県内の関係者の協力が得られない	研修生が集まらない	その他	H30年度の研修開催予定日	研修名	対象者									
																			ある	ない	ある			ない		
22	信州大学医学部附属病院	○																	○	①平成31年2月頃～1日間 ②平成30年6月23日～1日間	①医療者研修会 ②長野臨床腫瘍懇話会	①医療者一般 ②腫瘍内科医				
23	岐阜大学医学部附属病院	○																		○	平成30年度11月～1日間	癌治療戦略検討会(拡大がんセンターミーティング)と副作用対応を含めた放射線治療・化学療法の推進に関する研修会	岐阜県内の病院でがん医療に携わる医師、薬剤師、放射線技師、看護師、その他	化学療法専門家の職能による偏りが見られる。たとえば呼吸器、血液疾患の化学療法専門医は増えつつあるが、消化器、乳腺、婦人科、泌尿器科等の化学療法専門医はほとんどいない。大学医学部出身者が地方に残らない現状にも関係していると思われる。		
24	静岡県立静岡がんセンター	○																		○	①平成30年4月1日～1～2年間 ②平成30年9月 平成31年3月～2日間	①医師レジデント(がん薬物療法専攻研修医) ②臨床腫瘍学コース(化学療法に関する回は2回)	①卒業5年以上の医師 ②全職員	研修生の確保	特になし	
25	愛知県がんセンター中央病院	○																		○	①平成30年7月13日～1日間 ②平成31年2月15日～1日間	①②免疫チェックポイント阻害薬について	①②愛知県内の拠点病院医師・看護師・薬剤師	特になし	特になし	
26	三重大学医学部附属病院	○																								
27	滋賀県立総合病院		○																	○						
28	京都府立医科大学附属病院	○																		○	平成30年6月23日～1日間	呼吸器アドバンスセミナー	医師、歯科医師、看護師、薬剤師			
29	京都大学医学部附属病院	○																		○	①平成30年10月30日～2日間 ②平成30年11月13日～2日間 ③平成30年12月11日～2日間 ④平成31年1月22日～2日間 ⑤平成31年2月19日～2日間 ⑥平成31年3月12日～2日間	①第45回京大病院がんセンターがんチーム医療研修「患者とスタッフのための医療安全～分子標的薬・免疫チェックポイント阻害剤のマネージメントを中心に～」 ②第46回京大病院がんセンターがんチーム医療研修「患者とスタッフのための医療安全～分子標的薬・免疫チェックポイント阻害剤のマネージメントを中心に～」 ③第47回京大病院がんセンターがんチーム医療研修「患者とスタッフのための医療安全～分子標的薬・免疫チェックポイント阻害剤のマネージメントを中心に～」 ④第45回京大病院がんセンターがんチーム医療研修「患者とスタッフのための医療安全～分子標的薬・免疫チェックポイント阻害剤のマネージメントを中心に～」 ⑤第46回京大病院がんセンターがんチーム医療研修「患者とスタッフのための医療安全～分子標的薬・免疫チェックポイント阻害剤のマネージメントを中心に～」 ⑥第47回京大病院がんセンターがんチーム医療研修「患者とスタッフのための医療安全～分子標的薬・免疫チェックポイント阻害剤のマネージメントを中心に～」	①がん薬物療法を中心的に行う医師・薬剤師・看護師各1名、3名1組のチーム ②がん薬物療法を中心的に行う医師・薬剤師・看護師各1名、3名1組のチーム ③がん薬物療法を中心的に行う医師・薬剤師・看護師各1名、3名1組のチーム ④がん薬物療法を中心的に行う医師・薬剤師・看護師各1名、3名1組のチーム ⑤がん薬物療法を中心的に行う医師・薬剤師・看護師各1名、3名1組のチーム ⑥がん薬物療法を中心的に行う医師・薬剤師・看護師各1名、3名1組のチーム	このようなチーム医療研修を受けること、また、提供することに対するインセンティブがない。	Web会議システムの整備。	
30	大阪国際がんセンター		○																	○						
31	兵庫県立がんセンター	○																		○	平成30年10月6日～1日間	化学療法チーム医療研修会(遺伝性腫瘍)	県下の国指定及びに県指定の拠点病院並びに準拠点病院の医師・看護師・薬剤師・MSW・遺伝カウンセラーからなるチーム	① 医師以外のメンバー(看護師、薬剤師、MSW)が異動により交代になるため、ノウハウなどの引き継ぎに課題がある ② 国が人の指導者向け研修を行ったメンバーで継続しているが、公的に支援する仕組みが全くないため、担当者がボランティアで行っている。非常に有用な取り組みだと考えているが、毎年各部門の長にお願いをし人員供出についてご理解を頂いてやっとなり続けている状態 ③ 参加病院からの参加希望が増えているが、上記のような制約から複数回の研修や複数回の研修が実現困難。今回取り上げたテーマでは本来ロールプレイ研修を行いたいのが、時間的制約で見送った。	①「都道府県内の施設に対して研修・人材育成を実施すること」を文書で協議会から各都道府県がん拠点病院に定期的に要請して頂けると、送り出し側受け入れ側共に事務手続きがスムーズになります。 ②少額でも良いので、研修に使用できる予算を提供して頂けると助かります。現状研修生への茶菓なども病院からは支給されず、開催者がポケットマネーで提供する様な状況です。	
32	奈良県立医科大学附属病院	○																			①平成30年5月27日～1日間 ②平成30年11月3日～1日間	①奈良県がん化学療法チームフォローアップ研修会 ②平成30年度 奈良県がん化学療法チーム研修会	①平成29年度 奈良県がん化学療法チーム研修会の参加施設 ②奈良県内のがん化学療法チーム(医師、薬剤師、看護師、医療ソーシャルワーカーがチームとして参加できる施設)			
33	和歌山県立医科大学附属病院	○																		○	①平成30年6月30日～1日間 ②平成31年1月未定～1日間	①がん化学療法看護研修(ベーシックコース) ②平成30年度きのにがん化学療法チーム研修会	①がん化学療法看護に従事している看護師 ②化学療法に従事している医療者(医師、看護師、薬剤師、ソーシャルワーカー等)			

No	施設	都道府県内の施設に向けた、がん化学療法に関する研修等の人材育成について																都道府県内の施設に向けたがん化学療法の研修・人材育成に関する困りごとなど	都道府県内の施設に向けた研修・人材育成を実施するに当たり必要とする支援など			
		H29年度に未実施の施設																				
		研修未実施の理由(複数選択可)											H30年度実施の予定									
		H30年度の研修開催予定日											(あると回答した場合)									
ある	ない	実施した(回/年間)	過去に実施H29年度は未実施	未実施	都道府県内で話し合う機会がない	担当者がいなかった	時間的に余裕がなかった	必要性を感じていない	どのように研修を実施すればよいかわからない	他の機関主催で実施した	予算が確保できなかった	都道府県内の関係者の協力が得られない	研修生が集まらない	その他	ある	ない	H30年度の研修開催予定日	研修名	対象者			
34	鳥取大学医学部附属病院	○																			臓器横断的診療が可能な薬物療法医育成について、県医療局と議論したが断られた。県としては腫瘍内科医としての人材育成に向けた教育というよりは既存の診療体制(臓器別)での対応を考えると意見が一致しない。年齢を区切った留学資金援助などの支援を県では用意いただいているが、予算のある年やない年があり一定しない。年齢層を広げ、県のがん診療に貢献する意思をもつ者の支援をいただける仕組みを作っていたきたい。	腫瘍内科で若手医師を教育するため、雇用する資金援助をしていただくことが人員確保の一助となると考えている。県外の施設で研修を受ける場合でも、県などからの給与保証があれば希望者も増えるのではないかと考える。
35	島根大学医学部附属病院	○	1回														未定	未定	未定	がん化学療法にかかわる研修・人材育成に関しては、研修会を開催するにあたって、多診療科・多部署がかかわるために研修会開催の日程調整が困難である。	特になし	
36	岡山大学病院	○	1回														平成30年9月9日～1日間	がん化学療法チーム研修	現在までに研修を受講したことのある岡山県内のがん診療連携拠点病院・地域がん診療病院・がん診療連携推進病院において実務に携わっている受講経験者4職種(医師・看護師・薬剤師・MSW)	病院管理者が研修会参加を個人のための研修ではなく、病院改善のための業務として理解していただくと参加者の増加が期待できます。	特になし	
37	広島大学病院		○														開催日程は未定	未定(何らかの形で1回研修を行うよう計画している)	県内医療施設のがん化学療法医療チーム(または個人参加)	生涯を通じた薬物療法専門医のキャリアパスの確立	がんゲノム医療でのNCCオンコパネルでの結果にしたがって薬剤を応用する臨床試験の計画などについてご指導頂ければ幸いです。	
38	山口大学医学部附属病院	○	1回														未定	・免疫関連有害事象対策、ACP(アドバンスド・ケア・プランニング)、認知症患者への化学療法、高齢者への化学療法、希少がん、AYA世代、遺伝カウンセリング、妊産科などテーマを決めて、各論の研修会を開催する。 ・どのようなテーマの研修会を希望するかアンケートを取り、研修受講者の希望に則したテーマを決定する。	・地域がん診療連携拠点病院、地域がん診療病院、特定領域がん拠点病院を対象とする。 ・テーマより参加職種を変えるが、原則、医師、薬剤師、看護師、MSWなどのチーム参加とする。			
39	徳島大学病院	○	1回														平成30年6月27日～1日間	第2回徳島がん治療セミナー	がん診療に関わる医師、看護師、薬剤師、その他様々な医療関係者	研修を行う場所が同じであるため、遠方からの参加が難しい。外部に向けたe-ラーニングのメンテナンスができていない。	がん化学療法の基礎知識やリスクマネジメント、薬剤の有害事象とケアなどの研修資料があれば閲覧したい。	
40	香川大学医学部附属病院		○	4回													未定 昨年度同様の開催予定	未定 昨年度同様の開催予定	保険薬局薬剤師・病院薬剤師			
41	四国がんセンター	○	1回														平成30年9月8日～1日間	Oncology Specialist Meeting 愛媛県病院薬剤師会学術講演会	薬剤師、看護師	恒常的な研修会システム構築に困難を感じる。また、題材から考えてがん診療連携協議会主催で看護師も対象にした研修会に移行したいと思います。	講師や教材とともに費用の支援が必要です。	
42	高知大学医学部附属病院		○																			
43	九州がんセンター		○																			
44	九州大学病院	○	1回														平成31年1月頃	平成30年度 福岡県地域におけるがん化学療法チーム医療研修会	1)福岡県内地域のがん診療連携拠点病院のがん化学療法に携わる医療スタッフ 2)1施設4職種(医師、看護師、薬剤師、MSW)での参加			
45	佐賀大学医学部附属病院		○																			
46	長崎大学病院	○	1回														未定	未定		専門職の医師、看護師が増えている。一方、専門および認定薬剤師がなかなか増えない。	専門および認定薬剤師が多い都道府県においてどのような工夫をしているのか知りたい。	
47	熊本大学医学部附属病院	○	3回														①平成30年7月～1日間 ②平成31年1月～1日間 ③平成31年2月～1日間	①化学療法技術研修 ②第10回熊本がん化学療法セミナー ③化学療法技術研修	①熊本県内の化学療法に携わる医師 ②熊本県内のがん診療に携わる医師、看護師、薬剤師、検査技師 ほか ③熊本県内の化学療法に携わる医師	熊本県は腫瘍内科の認知度が低く、若い世代への腫瘍内科啓蒙が必要な状況です。腫瘍内科医、具体的には、がん薬物療法専門医が存在することの各施設へのアドバンテージがあると望ましいのではないかと感じております。		
48	大分大学医学部附属病院	○	2回														①②未定	①大腸癌の化学療法チーム医療 ②免疫チェックポイント阻害剤の副作用	①若手医師、看護師、MSW ②医学生、研修医			
49	宮崎大学医学部附属病院	○																				
50	鹿児島大学病院	○	2回														①平成30年8月 ②平成31年2月	①がん化学療法の基礎と明日からの実践に役立つセルフケア指導 ②四部門会	①看護師(院内外)			

No	施設	都道府県内の施設に向けた、がん化学療法に関する研修等の人材育成について														都道府県内の施設に向けたがん化学療法の研修・人材育成に関する困りごとなど	都道府県内の施設に向けた研修・人材育成を実施するにあたり必要とする支援など		
		H29年度に未実施の施設																	
		研修未実施の理由(複数選択可)											(あると回答した場合)						
		実施した(回/年間)	過去に実施H29年度は未実施	未実施	都道府県内で話し合う機会がない	担当者がいなかった	時間的に余裕がなかった	必要性を感じていない	どのように研修を実施すればよいかわからない	他の機関主催で実施した	予算が確保できなかった	都道府県内の関係者の協力が得られない	研修生が集まらない	その他	H30年度実施の予定			H30年度の研修開催予定日	研修名
ある	ない												ある	ない					
51	琉球大学医学部附属病院	○		4回										○	平成30年～1日間	拠点病院・診療病院間で開催時期とテーマについて協議中である	拠点病院及び診療病院をはじめとするがん化学療法に携わる医師(それ以外の医療関係者も参加は可能)	がん薬物療法専門医が県内に3名のみで、専従はそのうち2名である。この領域に興味を持ってくれる若い医師がいないため、なかなか後継者が育たない状況が続いている。	(昨年度までの緩和ケア研修会の講義用スライドに準じた)60分の講義に使えるスライド教材(編集可能なもの)があると助かる。例)①薬物療法全般、②分子標的治療全般、③免疫療法全般









No	施設	都道府県のがん診療連携協議会等で、都道府県内の施設へのがん看護の研修について検討する機会		都道府県内の施設に向けた、がん看護に関する研修等の人材育成について														都道府県内の施設に向けたがん化学療法の研修・人材育成に関する困りごとなど	都道府県内の施設に向けた研修・人材育成を実施するにあたり必要とする支援など							
		ある	ない	実施した(回/年間)	過去に実施H29年度は未実施	H29年度に未実施の施設										H30年度実施の予定	(あると回答した場合)									
						研修未実施の理由(複数選択可)											H30年度の研修開催予定日			研修名	対象者					
						都道府県内で話し合う機会がない	担当者がいなかった	時間的に余裕がなかった	必要性を感じていない	どのように研修を実施すればよいかわからない	他の機関主催で実施した	予算が確保できなかった	都道府県内の関係者の協力が得られない	研修生が集まらない	その他							ある	ない			
17	新潟県立がんセンター新潟病院	○		1回														○	①平成30年10月29日～7日間 ②平成30年12月15日～2日間							
18	富山県立中央病院	○		3回														○	①平成30年10月 ②平成30年7月27日～1日間	①がん告知後の精神的支援を考える ②がん患者とその子どもへの支援・理解	①県内看護職員全般 ②県内看護職員全般					
19	金沢大学附属病院	○		回数未記入														○	平成30年7月21日～6日間	平成30年度 専門的看護実践力研修事業(分野別実践看護師養成研修)【がん看護】	実務経験が5年以上の看護師					
20	福井県立病院	○			○	○												○					県内のがん診療連携拠点病院の専門看護師、認定看護師全体で取り組めたら理想的だと思う。			
21	山梨県立中央病院		○		○	○												○					県内の看護師対象の研修は、山梨県看護協会主催のがん看護の研修があるため、行っていません。また、それぞれの施設で認定看護師などが中心となり、学習会を行っています。どの施設でどのような研修をしているかまでは把握できていません。			
22	信州大学医学部附属病院	○		1回														○	平成30年11月3日～2日間	ELNEC-Jコアカリキュラムin信大病院	県内医療関係施設に勤務する看護師			研修の企画・運営のできる人材に限られてきている。指導者育成のための研修枠が拡げられたいと考える。	講師の選択と連絡等、事務的に煩雑なことも多い。予算についても補助があればうれしい。	
23	岐阜大学医学部附属病院	○		2回														○	平成30年9月9日～1日間	がん看護専門看護師WG研修会	岐阜県のがん看護に携わる看護師			・県内のCNSが協力して取り組んでいることは、企画・実施において岐阜の強みだと考えている。 ・参加型の研修が研修効果があると考えるが、そのためには受講人数に限界があり、ファンリレーターも必要となる。 ・看護に対する研修費用は他職種に比較すると少なく感じる。 ・看護のみではなく医療チームで学べる研修も必要。	・講師の育成(スキルアップ) ・研修費用の確保	
24	静岡県立静岡がんセンター	○		41回														○	①平成30年8月～8か月間 ②平成31年3月～3日間 ③平成30年4月～2～3年間 ④平成30年4月1日～1年間 ⑤平成30年10月27日～1日間 ⑥平成30年7月21日～1日間 ⑦平成30年9月6、18日～2日間 ⑧平成30年11月23日～1日間 ⑨平成30年9月29日～1日間	①認定看護師教育課程 ②がん看護エクセレントプログラム ③多職種がん専門レジデント制度(看護師) ④臨床腫瘍学コース等院内研修 ⑤看護師を対象とした緩和ケア研修会 ⑥がん患者リハビリテーション研修会 ⑦がん検診担当者研修会 ⑧がんの医科歯科連携講習会 ⑨がん専門看護研修会「がんの介護実践研修会」	①実務経験5年以上 ②認定看護師 ③3年以上の臨床経験 ④全職員 ⑤県内に勤務する全ての看護師 ⑥医師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、看護師等 ⑦市町、健康福祉センター、市町検診委託医療機関担当者、保健師、看護師等 ⑧歯科医師、歯科衛生士、看護師等 ⑨看護師、介護福祉士等	○		研修生の確保		特になし
25	愛知県がんセンター中央病院	○		5回														○	①平成30年11月17日～8か月間 ②平成30年12月2日～3日間 ③未定	①がんジェネラリスト研修放射線療法看護①②③ ②がんジェネラリスト研修化学療法看護③ ③がんジェネラリスト研修看護実践③	①②③当院と県内のがん診療連携拠点病院のジェネラリスト対象			時間や場所の確保が難しく、またがん看護の研修講師などの負担が大きい。核施設のレディネスの把握など、病院ごとの課題もあり内容等難しい。今後は拠点病院だけでなく、訪問看護ステーションなども多く広げていきたいが、さらにその研修を運営する上での時間や人材が不足すると考える。	研修を企画・運営する人材	
26	三重大学医学部附属病院	○		3回														○	①平成30年7月6日～0.5日間 ②平成30年9月10日～38日間 ③平成30年12月12日～1日間	①平成29年度三重県がんにおける質の高い看護師育成研修フォローアップ研修 ②平成30年度三重県がんにおける質の高い看護師育成研修 ③がん患者の意思決定支援～そのひとらしく生きることを支える～研修	①平成29年度三重県がんにおける質の高い看護師育成研修研修者 ②臨床経験5年以上でがん看護の経験があり、かつ現在がん看護に携わっている看護師。主体的に学習する意欲があり、研修終了後にはリーダーシップを発揮して自施設におけるがん看護の質の向上に取り組める看護師 ③がん看護の経験がある看護師			・患者や家族へのケアを含めた日常業務に加えて研修企画・運営を行うため勤務時間外を使うことも多い ・県内には参加者施設から研修開催地までのアクセスには3時間以上かかる地もある。開催地を移動し自施設のスタッフ(複数)を派遣する案もあるが日常業務への支障を考えると容易ではない。 ・拠点病院に専従者等の要件があることは質を担保するうえで必要なことと考えるが、要件のみあうスタッフが少ない施設では、専従者(研修企画者)が固定される。その者のキャリアデザインに制約が生じることに懸念の声がある。	・講師派遣、研修教材、企画運営にかかわる事務的作業	
27	滋賀県立総合病院	○		1回														○	平成30年11月10日～1日間	せん妄ケア研修～せん妄に悩む看護師のための研修会～	看護経験3年以上の滋賀県内で勤務する看護師					
28	京都府立医科大学附属病院	○		4回														○	①平成30年12月8日～ ②平成30年5月9日～14日間 ③平成30年6月29日～12日間	①がん看護研修会「認知の低下した患者の意思決定支援(仮)」 ②がん看護講座(日程含め別紙参照) ③がん看護レベルアップ講座(日程含め別紙参照)	①②③院内・院外の全職種、一般					



No	施設	都道府県のがん診療連携協議会等で、都道府県内の施設へのがん看護の研修について検討する機会		都道府県内の施設に向けた、がん看護に関する研修等の人材育成について																都道府県内の施設に向けたがん化学療法の研修・人材育成に関する困りごとなど	都道府県内の施設に向けた研修・人材育成を実施するにあたり必要とする支援など					
		ある	ない	実施した(回/年間)	過去に実施H29年度は未実施	未実施	H29年度に未実施の施設											H30年度実施の予定	H30年度の研修開催予定日			研修名	対象者			
							研修未実施の理由(複数選択可)												(あると回答した場合)							
							都道府県内で話し合う機会がない	担当者がいなかった	時間的に余裕がなかった	必要性を感じていない	どのように研修を実施すればよいかわからない	他の機関主催で実施した	予算が確保できなかった	都道府県内の関係者の協力が得られない	研修生が集まらない	その他	ある		ない					H30年度の研修開催予定日	研修名	対象者
43	九州がんセンター	○		2回															○	①30年8月27日～7日間 ②30年10月27日～2日間	①がん看護エキスパートナース研修 ②地域におけるがん化学療法看護研修	①九州内の国立病院機構の施設において、臨床経験5年以上であり、がん看護経験が3年程度 ②がん診療連携拠点病院に勤務している看護師・がん看護の経験が3年以上の看護師・勤務している部署でがん化学療法看護においてリーダー的役割を期待される看護師				
44	九州大学病院		○		○	○													○							
45	佐賀大学医学部附属病院	○		1回															○	平成30年9月11日	佐賀県がん看護研究会	県内に勤務する者で、看護の臨床経験が3年以上あり、かつ、がん看護の臨床経験がある全日程受講可能な者	・県内の拠点病院の医療従事者を中心に講師を依頼しているが、分野によっては講師となれる人材に限られていたり、県内では適切な人材が不足、講師選定に苦慮する場合がある。		・講師の紹介や派遣、参考とできる研修教材の提供。	
	佐賀大学医学部附属病院		○	4回															○	①30年7月14日～0.5日間 ②30年8月18日～0.5日間 ③30年9月8日～0.5日間 ④30年10月27日～0.5日間	①平成30年度 第1回がん看護スキルアップ研修会 ②平成30年度 第2回がん看護スキルアップ研修会 ③平成30年度 第3回がん看護スキルアップ研修会 ④平成30年度 第4回がん看護スキルアップ研修会	①②③④院外・院内看護師 希望者	近隣施設に研修会の案内を出しているが、参加者が少ない			
46	長崎大学病院	○		1回															○	①平成30年8月4日～2日間 ②平成30年10月27日～1日間	①長崎大学病院専門コース「緩和ケア看護」 ②長崎大学病院専門コース「がん化学療法看護」	①②長崎県内看護師				
47	熊本大学医学部附属病院	○		4回															○	①平成30年10月5日～1日間 ②平成30年10月27日～1日間 ③平成30年未定～1日間	①がん看護講演会Ⅰ ②熊本がん看護セミナー「高齢がん患者への看護」 ③がん看護講演会Ⅱ	①②③熊本県内の看護師・医療者	応募方法はホームページ公開、施設への案内状の郵送等併用し、工夫していますが参加者が少ない状況です。	院内の専門・認定看護師による研修と、院外の講師による講演会と両方を企画していますが、院外講師の選定、依頼は、毎年難しさを感じています。		
48	大分大学医学部附属病院	○		1回															○	未定	未定	大分県内がん診療連携拠点病院・協力病院、県内医療施設、訪問看護ステーション	講演会の予算確保(現在製薬会社の協賛を頂いて開催しているが、今後の協賛継続が保障されていない。)		研修内容に応じた、講師の紹介をしていただくと助かります。	
49	宮崎大学医学部附属病院	○		2回															○	平成31年2月2日～3日間	宮崎大学公開講座 ELNEC-J研修 ～生活を支える緩和ケア～	宮崎県内の看護師、看護師経験3年以上で3日間受講できる方	研修受講後のフォローアップ方法をどのように行うか、また講師の確保や講師ができる人をどのように支援するか、困っている		講師紹介やがん看護研修に関する教材の紹介等。WEBで中継できる研修の紹介等。	
50	鹿児島大学病院	○		1回															○	平成30年8月18日、19日の2日間	ELNEC-Jコアカリキュラム 2018看護師教育プログラム					
51	琉球大学医学部附属病院	○																	○	平成30年4.5.6.7.9.10.11.12月～1日間	がん看護スキルアップ研修シリーズ(がん看護概論、患者・家族とのコミュニケーション、身体的苦痛緩和ケア、精神・心理的苦痛緩和ケア、化学療法、放射線療法、意思決定支援、看取り)	県内看護師	研修企画・実施担当の役割分担、事務担当者がいないため、看護師で全て行っている。予算確保難。勤務時間外手当又は、勤務扱いによる活動時間の確保。離島や医療資源の少ないへき地での開催方法。		講師派遣、研修・アンケート教材	

V-4. 都道府県内のがん医療に携わる医療者の研修・人材育成についてのアンケート

薬剤師

No	施設	都道府県のがん診療連携協議会等で、都道府県内の施設へのがん医療に従事する薬剤師の研修について検討する機会		都道府県内の施設に向けた、がん医療に従事する薬剤師の研修等の人材育成について																都道府県内の施設に向けたがん化学療法の研修・人材育成に関する困りごとなど	都道府県内の施設に向けた研修・人材育成を実施するにあたり必要とする支援など				
		ある	ない	実施した(回/年間)	過去に実施H29年度は未実施	未実施	H29年度に未実施の施設											H30年度実施の予定	(あると回答した場合)						
							研修未実施の理由(複数選択可)												H30年度の研修開催予定日			研修名	対象者		
							都道府県内で話し合う機会がない	担当者がいなかった	時間的に余裕がなかった	必要性を感じていない	どのようにかかわらない	他の機関主催で実施した	予算が確保できなかった	都道府県内の関係者の協力が得られない	研修生が集まらない	その他	ある							ない	
1	北海道がんセンター																								
2	青森県立中央病院																								
3	岩手医科大学附属病院	○		3回															○	①平成30年8月～1日間 ②平成30年12月～1日間 ③平成31年2月～1日間	①②③がん緩和セミナー	①②③薬剤師	病院薬剤師と薬局薬剤師の連携を図る機会が不足している。	病院薬剤師・薬局薬剤師合同研修会の開催に向けた支援(情報告知、講師派遣、研修教材)	
4	宮城県立がんセンター		○		○	○														○					
5	東北大学病院	○		5回																○	①平成30年9月11日～2日間 ②平成30年10月9日～2日間 ③平成30年10月30日～2日間 ④平成30年11月6日～2日間 ⑤平成30年11月27日～2日間	①②③④⑤がん薬物療法研修	①②③④⑤医師・薬剤師・看護師	地域病院や保険薬局の薬剤師を対象として、がん薬物療法に関する研修会を開催しようとしたとき苦慮面が苦慮しております。	薬剤部における抗がん薬ミキシング実習で使用する物品は、薬剤部で購入して準備しております。物品購入に関する費用についてご支援を頂けましたら幸いです。
6	秋田大学医学部附属病院		○	1回																○	①平成30年9月3日～50日間 ②平成31.7.3～50日間	①がん薬物療法認定薬剤師研修事業	①県内薬剤師		
7	山形県立中央病院	○		1回																○	未定 1日間	薬剤師のためのがん化学療法講座	薬剤師		
8	福島県立医科大学附属病院		○	2回																○	平成30年11月1日～5日間				
9	茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター	○		1回																○	平成30年10月頃～1日間	茨城県がん診療連携拠点病院研修会	茨城県内の医療機関に勤務する薬剤師		
10	栃木県立がんセンター	○		2回																○	未定		薬剤師	研修会のテーマや提供する情報に偏りが生じていないか不安になる。研修会の資料作成等の負担が大きく、継続的に実施していかないと不安がある。	基本的な内容の講義について、web配信やDVD配布等をおこなっていただきたい。積極的な講師派遣の可能性も可視化していただきたい。
11	群馬大学医学部附属病院	○		1回																○					
12	埼玉県立がんセンター		○	1回																○	平成30年9月2日～0.5日間	第8回 埼玉県立がんセンターがん薬物療法シンポジウム アビランスケアについて	県内の調剤薬局・病院薬剤師		
13	千葉県がんセンター	○			○	○														○	平成30年11月10日	(案)レジメン管理	地域がん診療連携拠点病院薬剤師	今年度は、地域がん診療連携拠点病院薬剤師を対象とした開催を予定していますが、来年度以降、どのような研修会を企画していくか(対象者、内容等)、アドバイスをいただくと助かります。	講師派遣:今年度は国立がん研究センター薬剤師の先生にファンリテーターとしての参加依頼をさせていただき予定ですが、今後も継続してご支援ご指導をお願いします。また、他県の研修事例をご提示いただくと参考になります。
14	東京都立駒込病院																								
15	がん研究会有明病院	○		1回																○	調整中	薬剤師研修会	薬剤師	がん診療連携拠点病院等の中でも、研修・人材育成に対する認識の温度差がある。薬剤師部長等の管理者を対象とした研修会が必要	・管理者等を対象とした基本計画の概要、拠点病院としての責務等を啓発啓蒙するための資料。 ・外部講師を招聘するための予算措置 ・研修内容、資料等を公開・共有するための予算措置
16	神奈川県立がんセンター	○		2回																○	①平成30年9月3日 ②平成30年1月7日	①日本病院薬剤師会がん薬物療法認定薬剤師研修 ②日本病院薬剤師会がん薬物療法認定薬剤師研修	①県内日本病院薬剤師会がん薬物療法認定薬剤師資格取得希望者 ②県内日本病院薬剤師会がん薬物療法認定薬剤師資格取得希望者	場所の確保が難しい、主催者の費用負担と事務作業の負担の増大	研修会の開催などの場所・講師の派遣等に関する費用・事務作業(はがきの送付など)の負担の援助





No	施設	都道府県のがん診療連携協議会等で、都道府県内の施設へのがん医療に従事する薬剤師の研修について検討する機会 ある ない		都道府県内の施設に向けた、がん医療に従事する薬剤師の研修等の人材育成について																		都道府県内の施設に向けたがん化学療法の研修・人材育成に関する困りごとなど	都道府県内の施設に向けた研修・人材育成を実施するに必要とする支援など						
				実施した(回/年間)	過去に実施H29年度は未実施	未実施	H29年度に未実施の施設																	H30年度実施の予定	(あると回答した場合)				
							研修未実施の理由(複数選択可)																		ある	ない	H30年度の研修開催予定日	研修名	対象者
							都道府県内で話し合う機会がない	担当がいなかった	時間的に余裕がなかった	必要性を感じていない	ばよいかわらない	どのように研修を実施すればよいかわらない	他の機関主催で実施した	予算が確保できなかった	都道府県内の関係者の協力が得られない	研修生が集まらない	その他	研修開催予定	研修開催予定日	研修名	対象者								
49	宮崎大学医学部附属病院	○		3回															○	①平成30年5月27日～1日間 ②平成30年7月22日～1日間 ③平成30年11月未定～1日間	①②③宮崎県病院薬剤師会研修会	①②③宮崎県病院薬剤師会会員	研修会を複数回開催したいが、その資金がない。	4に記載した通り、研修会を複数回開催するための資金援助等。					
50	鹿児島大学病院																												
51	琉球大学医学部附属病院	○		1回															○	①②未定	①妊孕性関連について ②抗がん剤曝露対策について	①薬剤師 ②医師、薬剤師、看護師	離島勤務の薬剤師の参加について等	研修教材の支援					











V-6. 都道府県内のがん医療に携わる医療者の研修・人材育成についてのアンケート

都道府県内の施設に向けたがん医療に携わる医療者の研修概要

No	施設	平成29年度に実施した研修					実施した研修会の概要について							参加施設数(施設数)	参加者数(人)	
		化学療法	緩和ケアチーム	看護師	薬剤師	その他(分野)	研修開催日(H〇年〇月〇日～〇日間)	研修名	主催施設	研修企画者(部署・職位)	研修対象者	研修目的	研修内容(プログラムの項目等の概略)			
1	北海道がんセンター															
2	青森県立中央病院															
3	岩手医科大学附属病院	○					H29年11月11日 1日間	「岩手がん看護研修会」がん化学療法薬のアセスメントとセルフケア支援	岩手医科大学附属病院	伊藤薫樹(腫瘍センター・センター長)	看護師	化学療法を安全・安心・安楽に行えるように、化学療法に携わる看護師が知識・技術を向上し看護の質をあげ、患者・家族の支援ができる。	化学療法講義、薬剤のアセスメント法、グループワーク	5	15	
	岩手医科大学附属病院			○			H29年11月11日 2日間	地域におけるがん看護研修 緩和ケアコース・化学療法コース	岩手医科大学附属病院	三浦 一穂(緩和ケアセンター 看護師長) 辻谷 幸子(外来化学療法室 主任看護師)	岩手県内に勤務する看護師	【緩和ケアコース】 ・がん看護におけるコミュニケーションの重要性を理解する ・基本的なコミュニケーションを身に付けることができる 【化学療法コース】 レジメンのアセスメントができる ・薬剤のアセスメントに関する情報を看護師に指導できる	【緩和ケアコース】 1. 講義「がん患者さんのおかれている状況」「基本的なコミュニケーション」「対応が困難な患者・家族とのコミュニケーション」「患者の意思決定支援」 2. ロールプレイ 【化学療法コース】 1. 講義「化学療法概論」「薬剤アセスメント」 2. グループワーク	13	22	
	岩手医科大学附属病院				○		H29年8月26日 1日間	第1回がん緩和セミナー	岩手県病院薬剤師会	薬剤部 薬剤長 岩淵 修	薬剤師	がん治療にかかわる薬剤師の養成	【学術講演】 大腸癌化学療法の最近のTopics 【一般演題】 若手から飛び込む！がんチーム医療の実践 当院におけるがん化学療法適正使用への取り組み 【特別講演】 大腸癌化学療法～evidenceと当科の取組み		57	
	岩手医科大学附属病院				○		H29年12月9日 1日間	第2回がん緩和セミナー	岩手県病院薬剤師会	薬剤部 薬剤長 岩淵 修	薬剤師	がん治療にかかわる薬剤師の養成	【学術講演】 知っておきたいがんの痛みの薬物治療 【一般演題】 県立磐井病院の緩和医療 県立中部病院の緩和医療における現状報告 【特別講演】 「医療用麻薬について～当院での臨床使用の実際～」		56	
	岩手医科大学附属病院				○		H30年2月4日 1日間	第3回がん緩和セミナー	岩手県病院薬剤師会	薬剤部 薬剤長 岩淵 修	薬剤師	がん治療にかかわる薬剤師の養成	【学術講演】 胃癌がん免疫療法と自己免疫関連副作用について がん免疫に関する最新トピックス 【特別講演】 消化器癌の化学療法		40	
	岩手医科大学附属病院				○		H29年5月13日 1日間	がん登録部会研修推進WG自主研修会	岩手県がん診療連携協議会 がん登録部会研修推進WG長 (岩手医科大学附属病院腫瘍センター 事務職員)	岩手県がん診療連携協議会 がん登録部会研修推進WG長 (岩手医科大学附属病院腫瘍センター 事務職員)	岩手県がん診療連携協議会 がん登録部会研修推進WG長 (岩手医科大学附属病院腫瘍センター 事務職員)	拠点病院実務者の基礎固めに重点をおき全体のレベルを向上させる。 新しい人材を育成していく。	新標準登録様式の講義 演習問題	12	37	
	岩手医科大学附属病院				○		H29年12月16日 1日間	岩手県がん登録研修会	岩手医科大学附属病院	岩手県がん診療連携協議会 がん登録部会会長(岩手医科大学附属病院 病理診断学講座 教授)	岩手県内がん診療連携拠点病院がん登録実務者、準備病院を含めたDPC病院および本研修会に参加実績のある病院の院内がん登録実務者、近隣県がん登録実務者	岩手県内の院内がん登録の精度向上および均てん化	肺の解剖 肺癌病期分類 UICC第7版と第8版の違いについて及び演習 造血器腫瘍(総論・各論)について	49	94	
4	宮城県立がんセンター	○					H28年7月1日	第1回宮城県がん化学療法チーム研修会	宮城県立がんセンター	腫瘍内科科長・医療部長	原則としてがん化学療法実務経験3年以上の医師、看護師、薬剤師、MSW(1チーム4名)	・参加者が、施設のある地域の特徴や問題点を把握できる ・参加者が、地域がん診療連携拠点病院の医療スタッフとしての役割を理解できる ・地域におけるがん化学療法研修会の開催計画を立案し、実際に開催することができる	・各医療圏の特徴や問題点、施設の特徴などを施設毎にプレゼンテーション (医療機関数、化学療法件数、ベッド数、スタッフ数、癌種、地域連携など)(事前課題として各施設の現状報告を作成、紹介し、アイスブレイキングとする) ・地域におけるがん化学療法チーム研修会開催の方法(講義) ・地域におけるがん化学療法チーム研修会開催のための計画立案(グループワーク)	4	16	
	宮城県立がんセンター 東北大学病院				○		H29年10月6日 1日間	平成29年度第1回院内がん登録実務者研修会	宮城県がん診療連携協議会がん登録部会	宮城県立がんセンター研究所 がん疫学・予防研究部 部長 金村政輝	県内全病院(院内がん登録を行っているまたは検討している施設)	院内がん登録の推進	①講義「標準登録様式2016年版—その1—」、②演習「標準登録様式2016年版に基づく演習問題」、③講義「院内がん登録の集計と活用—その1—これから始める病院のために」、④グループワーク「登録上の疑問点の解消、日常の困りごとについて」	20	32	
	宮城県立がんセンター 東北大学病院				○		H29年12月11日～1日間	平成29年度第2回院内がん登録実務者研修会	宮城県がん診療連携協議会がん登録部会	宮城県立がんセンター研究所 がん疫学・予防研究部 部長 金村政輝	県内全病院(院内がん登録を行っているまたは検討している施設)	院内がん登録の推進	①講義「標準登録様式2016年版—その2—」 ②演習「標準登録様式2016年版に基づく演習問題」 ③グループワーク1「院内がん登録の集計と活用—その2—全国集計結果の活用」 ④グループワーク2「登録上の疑問点の解消、日常の困りごとについて」	24	37	
	宮城県立がんセンター 東北大学病院				○		H30年2月27日～1日間	平成29年度第3回院内がん登録実務者研修会	宮城県がん診療連携協議会がん登録部会	宮城県立がんセンター研究所 がん疫学・予防研究部 部長 金村政輝	県内全病院(院内がん登録を行っているまたは検討している施設)	院内がん登録の推進	①講義・演習「院内がん登録の集計と活用—その3—相対生存率の計算」 ②グループワーク1「2015年全国集計結果についての比較検討」 ③グループワーク2「登録上の疑問点の解消、日常の困りごとについて」	10	19	
	宮城県立がんセンター 東北大学病院				○		H29年8月23日～1日間	院内周知について～各施設から報告～	宮城県がん診療連携協議会患者相談部会実務者会議	宮城県立がんセンターがん相談支援センター 上席主任看護師 星真紀子	宮城県内がん診療連携拠点病院含むがん相談窓口を有する21施設のがん相談員	地域の療養情報の中でがんに関する相談窓口としてがん診療連携拠点病院のがん相談支援センター7施設とがん相談窓口を有する14施設を紹介している。しかし、がん相談支援センターや相談窓口が十分周知できていないといえない。そこで、がん患者・家族に紹介している21施設において、各施設は、患者・医療者に向けて広報・周知の状況を報告し、各窓口の現状と課題を知り、自施設の周知に活かすことができる。	1. 各施設からパワーポイントにて発表 病院・相談支援センターの写真から現状、自施設の周知の問題点、周知の為に工夫したところ、今後の課題などを発表する。 2. 質疑応答 3. グループごとに院内周知に向けた取り組みとスローガンを考える 4. 発表・全体共有	16	29	
	宮城県立がんセンター 東北大学病院	○	○	○	○		H29年9月26日～2日間	がん薬物療法研修	東北大学病院	石岡千加史 東北大学加齢医学研究所臨床腫瘍学分野 教授	各施設でがん薬物療法を中心的に行う医師、薬剤師及び看護師	講習、実習などによる研修事業を介して、がん薬物療法に関する知識や技術、さらにはシステムなどの技術移転を行い、がん拠点中核病院におけるがん薬物療法ノウハウを地域の病院に伝播し、地域内におけるがん薬物療法の医療水準の均てん化を図る。	質の高いがん薬物療法の遂行のノウハウを伝播するため、講義と実習を実施した。講義については、腫瘍内科医師、薬剤師、看護師、また化学療法のシステムを担うメディカルITセンターがそれぞれの講義を担当して行った。実習は、抗がん剤のミキシング、化学療法プロトコルの模擬審査を行った。また、腫瘍内科の症例検討会に参加し、実臨床における化学療法レジメン選択について学んだ。	2	6	

No	施設	平成29年度に実施した研修					実施した研修会の概要について								参加施設数(施設数)	参加者数(人)
		化学療法	緩和ケアチーム	看護師	薬剤師	その他(分野)	研修開催日(H○年○月○日～○日間)	研修名	主催施設	研修企画者部署・職位	研修対象者	研修目的	研修内容(プログラムの項目等の概略)			
	宮城県立がんセンター 東北大学病院	○	○	○	○		H29年10月10日～2日間	がん薬物療法研修	東北大学病院	石岡千加史 東北大学加齢医学研究所臨床腫瘍学分野 教授	各施設でがん薬物療法を中心的に行う医師、薬剤師及び看護師	講演、実習などによる研修事業を介して、がん薬物療法に関する知識や技術、さらにシステムなどの技術移転を行い、がん拠点中核病院におけるがん薬物療法のノウハウを地域の病院に伝播し、地域内におけるがん薬物療法の医療水準の均てん化を図る。	質の高いがん薬物療法の遂行のノウハウを伝搬するため、講義と実習を実施した。講義については、腫瘍内科医師、薬剤部、看護部、また化学療法システムを担うメディカルITセンターがそれぞれの講義枠を担当して行った。実習は、抗がん剤のミキシング、化学療法プロトコルの模擬審査を行った。また、腫瘍内科の症例検討会に参加し、実臨床における化学療法レジメン選択について学んだ。	2	6	
	宮城県立がんセンター 東北大学病院	○	○	○	○		H29年10月24日～2日間	がん薬物療法研修	東北大学病院	石岡千加史 東北大学加齢医学研究所臨床腫瘍学分野 教授	各施設でがん薬物療法を中心的に行う医師、薬剤師及び看護師	講演、実習などによる研修事業を介して、がん薬物療法に関する知識や技術、さらにシステムなどの技術移転を行い、がん拠点中核病院におけるがん薬物療法のノウハウを地域の病院に伝播し、地域内におけるがん薬物療法の医療水準の均てん化を図る。	質の高いがん薬物療法の遂行のノウハウを伝搬するため、講義と実習を実施した。講義については、腫瘍内科医師、薬剤部、看護部、また化学療法システムを担うメディカルITセンターがそれぞれの講義枠を担当して行った。実習は、抗がん剤のミキシング、化学療法プロトコルの模擬審査を行った。また、腫瘍内科の症例検討会に参加し、実臨床における化学療法レジメン選択について学んだ。	2	6	
	宮城県立がんセンター 東北大学病院	○	○	○	○		H29年11月7日～2日間	がん薬物療法研修	東北大学病院	石岡千加史 東北大学加齢医学研究所臨床腫瘍学分野 教授	各施設でがん薬物療法を中心的に行う医師、薬剤師及び看護師	講演、実習などによる研修事業を介して、がん薬物療法に関する知識や技術、さらにシステムなどの技術移転を行い、がん拠点中核病院におけるがん薬物療法のノウハウを地域の病院に伝播し、地域内におけるがん薬物療法の医療水準の均てん化を図る。	質の高いがん薬物療法の遂行のノウハウを伝搬するため、講義と実習を実施した。講義については、腫瘍内科医師、薬剤部、看護部、また化学療法システムを担うメディカルITセンターがそれぞれの講義枠を担当して行った。実習は、抗がん剤のミキシング、化学療法プロトコルの模擬審査を行った。また、腫瘍内科の症例検討会に参加し、実臨床における化学療法レジメン選択について学んだ。	2	6	
	宮城県立がんセンター 東北大学病院					○	H30年1月27日～1日間	東北大学医学物理セミナー	東北大学病院	角谷倫之・放射線腫瘍学分野・助教	医学物理士・放射線技師	放射線医学物理に関する研修会 国内外の第一人者を講師として招き、情報提供	放射線治療計画装置の特徴や検証作業の問題点とその解決法を学ぶ		204	
5	東北大学病院	○					H29年9月12日～2日間	がん薬物療法研修	東北大学病院	石岡千加史(がんセンター長、化学療法センター長)、大内康太(がんセンター助教)	各施設でがん薬物療法を中心的に行う医師、薬剤師及び看護師	講演、実習などによる研修事業を介して、がん薬物療法に関する知識や技術、さらにシステムなどの技術移転を行い、がん拠点中核病院におけるがん薬物療法のノウハウを地域の病院に伝播し、地域内におけるがん薬物療法の医療水準の均てん化を図る。	質の高いがん薬物療法の遂行のノウハウを伝搬するため、講義と実習を実施した。講義については、腫瘍内科医師、薬剤部、看護部、また化学療法システムを担うメディカルITセンターがそれぞれの講義枠を担当して行った。実習は、抗がん剤のミキシング、化学療法プロトコルの模擬審査を行った。また、腫瘍内科の症例検討会に参加し、実臨床における化学療法レジメン選択について学んだ。	2	6	
	東北大学病院		○				H30年1月28日～1日間	第1回宮城県緩和ケアチーム研修会	仙台医療センター	高橋通規(緩和ケア内科・科長)	宮城県のがん診療連携拠点病院の緩和ケアチームのメンバー(医師、看護師を含み多職種で各施設4名程度)	緩和ケアチーム同士の相互交流、各施設の長所の取り入れ、各施設の課題の共有と解決	セッション1 各施設紹介 セッション2 各施設の困難事例の検討 セッション3 職種別の課題の共有(分科会形式) セッション4 各施設の課題と対策の共有	4	23	
	東北大学病院			○			H29年6月15日～1日間	がん患者の精神的ケア	東北大学病院	東北大学医学系研究科地域がん医療推進センター東北がんプロフェッショナル養成推進プランがんプロフェッショナル担当 看護師 看護部長 畠山 里恵	本教職員 大学院生 研修医 院外医療従事者	本研修会は、東北大学病院がんセミナーの一環として開催され、臨床腫瘍医をはじめとするがんプロフェッショナルを目指す受講者の「がん患者の精神的ケア」に関する学識向上を目的とした。受講者が自らの専門領域に限らず、多職種・多診療領域の最新のがん医療やがん研究の動向を学習することを目的としている。	講師である瑞田百合子先生(東北大学病院看護部 精神看護専門看護師)による講演	1	50	
	東北大学病院			○			H29年10月14日～4日間	AOBANアース・上級1コース「がん看護」	東北大学病院	東北大学病院看護部教育委員会	東北大学病院看護部の院内認定看護師プログラム「がん看護」の修了を目指す宮城県内の施設に所属する看護師	がん看護場面において、全体像を把握して予測行動することができる	研修名4とナラティブワークを3年のうちに受講	2	2	
	東北大学病院				○		H29年9月12日～2日間	がん薬物療法研修	東北大学病院	石岡千加史 腫瘍内科・教授・がんセンター長	医師・薬剤師・看護師	講演、実習などによる研修事業を通して、がん薬物療法に関する知識や技術を習得すると共に、がん診療連携拠点病院におけるがん薬物療法のノウハウや業務運用のシステムを地域の病院に伝播し、地域内におけるがん薬物療法の医療水準の標準化を図ることを目的とする。	①IT講義、②薬剤部講義、③MSWに関する講義、④看護部 化学療法センター講義・実習、⑤腫瘍内科 症例検討会見学、⑥薬剤部 抗がん剤ミキシング実習、⑦腫瘍内科講義、⑧実習(プロトコル審査委員会ビデオ研修)、⑨診療連携について質疑応答	2	6	
	東北大学病院				○		H30年3月17日～1日間	宮城県がん診療連携協議会 放射線治療部会 研修会	東北大学病院	神宮啓一 放射線治療科教授	宮城県がん診療連携協議会参加施設 医師 放射線技師	放射線治療に関する最新情報の収集	例年行っている放射線治療部会研修会は3月に宮城県保健福祉部から小野寺保氏を招き講演を行っていただいた。またその前座として小生が平成30年度の診療報酬改訂の要点と前述の放射線治療部会に所属する施設の現状のまとめを行った。3年前と比べ改善した部分やまだ改善されていない事項の確認を行った。計33名の参加があり関連な意見交換や情報交換が行われた	7	33	
	東北大学病院				○		H30年3月3日～1日間	平成29年度第1回宮城県がん診療連携協議会 患者相談部会がん専門相談員研修会	宮城県がん診療連携協議会患者相談部会	宮城県がん診療連携WG(7拠点病院担当者) 宮城県立がんセンターがん相談支援センター 協理 星真紀子 宮城県立がんセンターがん相談支援センター MSW 小野貴史	宮城県内がん診療連携拠点病院含むがん相談窓口を有する21施設のがん相談員	患者さんや家族を支えるために必要な支援を適切なものにするためのアセスメント力を強化することを目的とする。基本情報は同じでもがんの病期が違う患者の事例を通して、アセスメントと支援内容について検討し、患者にあった支援につなげるためには適切なアセスメントが必要であること理解する。	テーマ:「事例をもとにアセスメントの重要性を再認識しよう」～病期に応じたアセスメントと支援を考える～ 1. グループワーク(事例を題材にアセスメントと支援) 2. 発表・全体共有 3. 意見交換	12	20	
6	秋田大学医学部附属病院	○					H29年12月9日～1日間	がんプロFDワークショップ	秋田大学	柴田浩行・秋田大学医学部・教授	医療者・患者・一般人	がん治療についての知識を啓発する。	1. がん専門薬剤師の養成 2. 次世代シークエンサーとがん医療 3. がんゲノム医療 4. がんリハビリテーション	14	68	
	秋田大学医学部附属病院		○				H29年10月～	平成29年度緩和ケア実地研修	秋田県、秋田県緩和ケア研究会	松尾直樹・外旭川病院・ホスピス医師	緩和ケアに関心のある医療者(医師、看護師、薬剤師、理学療法士、作業療法士・管理栄養士)	緩和ケアチーム活動を実地体験する。	・緩和ケア外来見学 ・緩和ケアチーム回診 ・緩和ケアチームカンファレンス ・各専門職との面談・意見交換	5	2	
	秋田大学医学部附属病院			○			H29年9月23日～1日間	第1回せん妄ケア研修 看護師のアセスメントがせん妄ケアを変える!	秋田大学医学部附属病院	緩和ケアセンター副看護師長、看護部副看護師長	県内のせん妄に関心のある看護師	せん妄ケアのアセスメント能力が向上することで、予防的介入や早期発見・早期対応が可能となる	1. せん妄の病態・症状・予防・治療について(講義) 2. せん妄のアセスメント・対応方法について(講義) 3. ロールプレイ 4. まとめ	12	63	

No	施設	平成29年度に実施した研修					実施した研修会の概要について								参加施設数(施設数)	参加者数(人)
		化学療法	緩和ケアチーム	看護師	薬剤師	その他(分野)	研修開催日(H○年○月○日～○日)	研修名	主催施設	研修企画者部署・職位	研修対象者	研修目的	研修内容(プログラムの項目等の概略)			
	秋田大学医学部附属病院				○		H29年9月1日～50日間	がん薬物療法認定薬剤師研修事業	秋田大学医学部附属病院	薬剤部	県内薬剤師	がん薬物療法認定薬剤師の資格取得のため	抗がん剤調製、がん患者指導、e-learningを使用した講義、カンサーボードへの参画、各種チームへの参画など	1	1	
	秋田大学医学部附属病院				○		H29年10月31日～1日間	第2回秋田県がん就労シンポジウム	秋田大学医学部附属病院	秋田県がん診療連携協議会 がん患者相談部会 就労支援WG	県内企業の事業主・企業労務担当者・医療従事者 がん患者・ご家族・行政・がん相談員	「がんになっても働き続けたい」を応援するために、企業に向けて、治療と仕事の両立について周知を図る。	テーマ:企業側の目線に立って就労支援を考える(講演、パネルディスカッション) 1.秋田県がん患者就労実態調査結果について 2.ハローワークの就労支援(治療中でも仕事をあきらめないために) 3.治療と仕事の両立支援について 4.社会保険労務士による支援(企業と社員のために何が出来るか)	40	約70	
	秋田大学医学部附属病院	○					H30年1月28日～1日間	がんプロFDワークショップ	秋田大学	柴田浩行・秋田大学医学部・教授	医療者・患者・一般人	がん治療についての知識を啓発する。	1. 希少がんの治療 2. 在宅緩和ケア 3. 地域の緩和ケア	14	81	
	秋田大学医学部附属病院	○					H30年3月10日～1日間	がんプロFDワークショップ	秋田大学	柴田浩行・秋田大学医学部・教授	医療者・患者・一般人	がん治療についての知識を啓発する。	1. 小児がんの治療 2. がんゲノム検査 3. がんゲノム研究から臨床応用 4. がん免疫療法	17	83	
	秋田大学医学部附属病院			○			H29年11月27日～1日間	がん看護研修1	秋田大学医学部附属病院	看護部教育委員会・がん関連の認定・専門看護師	院内の1年目の看護師 院外の受講希望する看護師	がん患者の体験を全人的視点(身体的側面・精神的側面)で理解することが可能となる。	1. 講義 2. 事例検討(アセスメント)	1(院外)	3(院外)	
	秋田大学医学部附属病院				○		H29年11月18日～1日間	平成29年度地域相談支援フォーラムin秋田	秋田大学医学部附属病院	秋田県がん診療連携協議会 がん患者相談部会	東北6県のがん診療施設を中心に、がん相談支援センターやがん相談窓口を有する施設の相談員(医師・看護師・MSW・事務等)	がん相談における地域の特性や先駆的な事例について情報共有することや、患者相談プロセスにおける共同作業について理解を深めることなど、今後のがん相談支援活動に活用して行くことを目的とする。	1. 各県のがん相談支援における先駆的な取り組みを発表(宮城県、福島県、岩手県、秋田県、青森県、山形県) 2. 講義(「困った」の扉を開けるアセスメントを学ぼう)グループワーク・セルフマッサージ講座	48	109	
	秋田大学医学部附属病院				○		H30年1月26日～1日間	平成29年度がん相談員就労支援研修会	秋田大学医学部附属病院	秋田県がん診療連携協議会 がん患者相談部会 就労支援WG、研修企画WG	がん患者相談支援に従事する相談員、一般の方	がん相談員及び相談支援に携わる者が、就労(両立)支援に必要な知識とスキルを身に付ける。	1.講演(秋田労働局で立ち上げた両立支援チームについて) 2.講演(ハローワーク秋田における治療と仕事の両立指導の実践について) 3.演習(企業側の雇用ニーズを理解した就労支援・両立支援について学ぶ) 4.評価(ポストテストアンケートによる理解度の確認)	9	32	
7	山形県立中央病院	○					H30年1月27日～1日間	がん化学療法における地域連携研修会	山形県立中央病院	薬剤部 薬剤主幹	地域がん診療連携拠点病院及び山形県がん診療連携指定病院における医師、薬剤師、看護師、MSW	各地域の特性を活かした、がん化学療法の研修会を円滑かつ効果的に実施するために、地域の問題点の抽出ができ、それを踏まえた研修会の企画立案並びに実際に研修会を開催することができる	・オリエンテーション(研修内容説明) ・参加施設の自己紹介(地域の問題点を発表) ・説明「山形県におけるがん化学療法の現状」 ・講義「がん化学療法研修会を開催するための研修企画とプレゼンテーション」 ・グループワーク(各施設で企画書まとめ) ・全体発表(施設ごとに発表)	4	15	
	山形県立中央病院		○				H29年1月25日～1日間	緩和ケアチーム実地研修	山形県立中央病院	緩和医療科 医長	がん診療連携拠点病院の緩和ケアチーム	緩和ケアチームの医療従事者を受け入れて実地研修を提供することにより、緩和ケアチームの質を向上させる。	・病棟回診 情報収集 ・緩和ケアチームミーティング ・苦痛のスクリーニングの実施状況と活用状況 ・退院支援 ・緩和ケアセンター会議 ・意見交換	1	5	
	山形県立中央病院			○			H29年6月9日～13日間	山形県立中央病院エキスパート看護師育成研修「がん看護」研修	山形県立中央病院	看護部教育委員会	看護師(助産師)としての実務経験を5年以上有する者	・がん患者・家族を取り巻く状況を理解し、その支援を考える上で必要な知識及び技術を習得する。 ・がんという病を軌跡として捉え、がん治療(緩和ケアを含む)を受ける患者及び家族をシームレスに援助して能力を養う。	・がん薬物療法総論 ・胃がん、肺がん、大腸がんの化学療法、乳がん治療と看護 ・主な抗がん剤の特徴と副作用、抗がん剤の安全な取扱い、レジメンの理解 ・放射線療法看護、がん化学療法看護 ・セルフケアの実践と症状マネジメント、ペインコントロールと症状マネジメント ・がんの症状緩和治療、終末期の看護 など	4	16	
	山形県立中央病院			○			H30年1月21日～1日間	薬剤師のためのがん化学療法講座	山形県立中央病院	薬剤部 薬剤主幹	薬剤師	がん化学療法に携わる薬剤師の専門的な知識及び技術の向上	講演 「免疫関連有害事象に対するチーム医療 ～薬剤師の役割～」 「免疫チェックポイント阻害剤を使いこなすために薬剤師が知るべきこと」	11	59	
	山形県立中央病院				○		H29年12月2日～1日間	がん患者相談員スキルアップ研修会	山形県立中央病院	山形県がん診療連携協議会がん患者相談室部会	がん相談業務に従事している医療関係者、がん相談に関心のある医療関係者	がん相談支援業務に携わる上で必要となる知識と技術を習得し、相談支援の質の向上を図るとともに、相談員同士の情報交換の機会を設けること	・講演「治療と職業生活の両立支援について」 ・グループワークと事例検討 ・発表、講評	5	27	
	山形県立中央病院	○					H29年9月15日～5日間	化学療法セミナー	山形県立中央病院	化学療法管理委員会	医師、薬剤師、看護師、医療機関従事者	がん化学療法に携わる医療従事者の専門的な知識及び技術の向上	・骨髄抑制のマネジメント、免疫チェックポイント阻害剤の内分泌学的副作用 ・当院におけるB型肝炎再活性化対策の現状、発熱性好中球減少症 ・骨髄損傷の初期対応について、悪心・嘔吐 ・腫瘍崩壊症候群、がん化学療法における口腔機能管理についてなど		155	
	山形県立中央病院				○		H30年3月3日～1日間	放射線治療担当放射線技師研修	山形県立中央病院	中央放射線部 診療放射線専門員	山形県内の医療機関において放射線治療に携わる診療放射線技師	放射線治療の品質管理(QA/QC)の向上に資すること	テーマ「電位計のガイドラインと不確かさの評価について」 ・講義 ・実習	7	27	
8	福島県立医科大学附属病院	○					H26年11月15日50分間	がん診療に携わる医療従事者のための研修会	福島県がん診療連携協議会研修教育部会	福島県がん診療連携協議会研修教育部会 福島労災病院副院長 武藤淳	県内医療施設の医療従事者に対して、各医療テーマに係る現状と今後の展望について情報を共有することにより、受講者の意識を高め各現場での業務推進を進める。	「大腸癌化学療法の実践」 東京女子医科大学 板橋道明先生による講演	28	70		
	福島県立医科大学附属病院		○				H29年8月5日1日間	福島県緩和医療研究会	福島県立医科大学附属病院	福島県立医科大学附属病院麻酔疼痛緩和科・講師	緩和ケアに関わる医師、看護師、薬剤師、相談員等	緩和ケアが必要ながん患者のQOLの向上のために必要なケアの知識と技術の向上のための情報交換と啓蒙活動	1. 各病院からの発表 ・「緩和ケア病棟におけるアドバンス・ケア・プランニングに関する取り組み」 ・若年成人がん患者の在宅移行から看取りまで支援した1例 ・都心から転院してきた肺がん終末期医療 ・アピランスケアを通じた医師決定支援の関わり 2. 特別講演 ・医療者によるアピランスケア-患者さんの「生きる」を支援する-	13	40	

No	施設	平成29年度に実施した研修					実施した研修会の概要について								参加施設数(施設数)	参加者数(人)
		化学療法	緩和ケアチーム	看護師	薬剤師	その他(分野)	研修開催日(H○年○月○日～○日間)	研修名	主催施設	研修企画者部署・職位	研修対象者	研修目的	研修内容(プログラムの項目等の概略)			
	福島県立医科大学附属病院			○			H30年2月14～20日7日間	平成29年度福島県がん看護研修(東北地域)	公立大学法人福島県立医科大学附属病院	副院長兼看護部長 黒文字	がん看護の診療機能を有する医療機関に勤務する保健師、助産師、看護師で実務経験が5年以上ある者	がん医療を中核的に担っている医療機関において、専門的な臨床実務研修を行うことにより、がん分野における臨床実践能力の高い看護師等の育成を図る。	講義・演習(がん医療・看護の現状と課題、化学療法、放射線療法、リンパ浮腫ケア、がん患者に起こりえる精神症状のアセスメントとケア、がん患者リハビリテーション、がん患者の摂食・嚥下の看護、地域連携と社会資源、在宅緩和ケア、ELNEC-Jコアカリキュラム)と実習(訪問看護ステーション、病院)	12	15	
	福島県立医科大学附属病院				○		H30年3月5日～9日まで	福島県立医科大学附属病院 調剤薬局薬剤師研修	公立大学法人福島県立医科大学附属病院	薬剤部・薬剤部長	福島県内調剤薬局に勤務中の薬局薬剤師	福島県内に従事する調剤薬局薬剤師のがん治療に関する理解を深め、調剤薬局薬剤師による地域のがん医療の質の向上を図る。	添付資料①の通り	4	4	
	福島県立医科大学附属病院				○		H29年7月15日2時間	がん診療に携わる医療従事者のための研修会	福島県がん診療連携協議会研修教育部会	福島県がん診療連携協議会研修教育部会長 福島労災病院副院長 武藤淳	県内医療関係施設の医療従事者	県内医療施設の医療従事者に対して、各医療テーマに係る現状と今後の展望について情報を共有することにより、受講者の意識を高め各現場での業務推進を進める。	1.「子宮頸がん撲滅にむけて」いわき市立総合磐城共立病院産婦人科 本多つよし先生による講演 2.「がん登録の現在」JA長野厚生連佐久総合病院総合医療センター長 西本 寛先生による講演	16	66	
	福島県立医科大学附属病院				○		H29年11月18日2時間	がん診療に携わる医療従事者のための研修会	福島県がん診療連携協議会研修教育部会	福島県がん診療連携協議会研修教育部会長 福島労災病院副院長 武藤淳	県内医療関係施設の医療従事者	県内医療施設の医療従事者に対して、各医療テーマに係る現状と今後の展望について情報を共有することにより、受講者の意識を高め各現場での業務推進を進める。	1.「肝臓診療の現状～高齢化と最近の進歩について～」福島県立医科大学会津医療センター 齋藤拓朗先生による講演 2. がん患者に対するリハビリテーションの実際」静岡県立静岡がんセンター 田沼 明先生による講演	12	60	
	福島県立医科大学附属病院			○			H29年11月22日～1日間	平成29年度福島県がん看護臨床実務研修フォローアップ研修	公立大学法人福島県立医科大学附属病院	副院長兼看護部長 黒文字	平成19年～28年度(23年度除く)がん看護研修修了者	がん看護臨床実務研修受講後の看護実践を振り返るとともに、さらに必要な知識及び技術を身につけ、地域のがん看護の質向上のために活用できる看護職員を育成する。	・研修後の活動報告 ・シンポジウム(テーマ:福島県がん看護臨床実務研修受講後のがん看護の質向上のための活動) ・グループワーク、全体討議	17	23	
	福島県立医科大学附属病院				○		H30年3月10日～1日間	がん診療連携拠点病院の調剤薬局薬剤師研修支援事業報告会「がん医療における薬薬連携に関する講習会」	公立大学法人福島県立医科大学附属病院	薬剤部・薬剤部長	調剤薬局・病院勤務薬剤師	調剤薬局やがん拠点病院等に勤務する薬剤師に対して、がん薬物療法の対応等について履修してもらい、がん診療の質の向上を目指す	添付資料②の通り		46	
9	茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター	○					H28年6月30日～1日間	～免疫抑制・化学療法により発症する、B型肝炎の再活性化対策～	茨城県立中央病院	事務局 企画情報室 係長	茨城県内の地域がん診療連携拠点病院、中核病院のがん診療に従事する医療従事者	B型肝炎の再活性化対策を目的とする。	・免疫抑制下におけるHBV再活性化対策ガイドラインの解説 ・「ウイルス性肝炎のリスクマネジメント」-de novo肝炎の撲滅に向けて-	5	87	
	茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター			○			H29年6月2日～1日間	がん看護におけるコミュニケーション研修	小山記念病院	茨城県立中央病院 看護部長 鯉沼とも子 副部長 角 智美	コミュニケーション研修受講者はラダーII(臨床経験3年以上)以上の看護師	①コミュニケーションの重要性を理解できる ②具体的なコミュニケーションスキルを習得できる ③ロールプレイにより自身のコミュニケーション技法を客観視できる ④各場面における具体的なコミュニケーションスキルの活用方法を知ることができる	・コミュニケーション講義 ・ロールプレイを行う	1	18	
	茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター				○		H29年12月10日～1日間	茨城県がん診療連携拠点病院研修会	茨城県立中央病院	薬剤局 薬剤科 副薬剤科長	茨城県内の医療機関に勤務する薬剤師	薬剤師による多施設共同臨床研究に向けて、研究計画の作成方法を学ぶ。	臨床研究に関する講演の後、グループワークにて、持ち寄ったクリニカルクエスションの検討を行った。	12	29	
	茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター				○		H30年3月1日～1日間	平成29年度がん診療連携拠点病院強化事業がん医療従事者研修会	茨城県立中央病院	臨床検査技術科 専門員	茨城県内医療機関の臨床検査技師及び院内職員	県内臨床検査技師の知識向上	「臓器細胞診の基礎」臓器細胞診の基本的な内容について、細胞像をまじえて学ぶ	1	18	
	茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター				○		H29年12月23日～0.5日間	平成29年度茨城県がん診療連携拠点病院研修会(放射線治療研修会)	茨城県立中央病院	放射線技術科 専門員	各医療機関の診療放射線技師及び医学物理士	がん医療従事者の専門的知識の習得を目的に、県内医療機関に勤務する主として放射線治療機器を有する施設の診療放射線技師や医学物理士等を対象とした研修会を開催する。	「AAPM report Task Group 142 に基づいた被ばく線量測定」 1.被ばく線量の評価 2.AAPM TG-142について 3.被ばく線量(2D/3D)の具体的な測定法(実習)	6	14	
	茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター				○		H29年8月1日～1日間	院内がん登録研修会	茨城県立中央病院	企画情報室(診療情報室) 係長	拠点病院及び県指定病院のがん登録実務者	院内がん登録について基礎的知識・技能の習得を目指すこと	(1)都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会がん登録部会の報告 (2)2014年診断症例がん登録全国集計(茨城版)について (3)がん登録の最新情報について (4)その他	18	28	
	茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター			○			H29年6月27日～7日間	看護師に対する緩和ケア教育	茨城県立中央病院	緩和ケアセンター 看護師長	院内外の看護師	がんと診断された時から、質の高い緩和ケアを提供できるように、基本的緩和ケアを担う看護師に求められる役割を理解し、実践能力を向上させる。	プログラムは別添のとおり	9	[1日目]28人 [2日目]26人 [3日目]22人 [4日目]24人 [5日目]21人 [6日目]16人 [7日目]18人	
	茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター			○			H29年8月25日～1日間	茨城県央地域・緩和ケアネットワーク「症例検討会」	茨城県立中央病院	緩和ケアセンター 看護師長	院内外の医師、看護師、薬剤師及びコメディカル	がん医療に携わる医療者との情報交換及び地域連携における関係構築	志村フロイデグループ・エーデルワイス病棟における患者・家族ファーストの実践と課題(開催時間 1時間30分)	28	80	
	茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター			○			H30年2月16日～1日間	茨城県央地域・緩和ケアネットワーク「症例検討会」	茨城県立中央病院	緩和ケアセンター 看護師長	院内外の医師、看護師、薬剤師及びコメディカル	がん医療に携わる医療者との情報交換及び地域連携における関係構築	笠間市立病院の役割と地域連携(開催時間 1時間30分)	14	41	
	茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター			○			H30年7月8日～2日間	ELNEC-J	茨城県立中央病院	看護教育支援室 副看護師長	エンド・オブ・ライフ・ケアにたずさわる看護師	患者・家族に質の高いエンド・オブ・ライフ・ケアを提供するため	プログラムは別添のとおり	19	31	
	茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター			○			H29年10月28日～1日間	がん看護におけるコミュニケーション研修	友愛記念病院	茨城県立中央病院 看護部長 鯉沼とも子 副部長 角 智美	コミュニケーション研修受講者はラダーII(臨床経験3年以上)以上の看護師	①コミュニケーションの重要性を理解できる ②具体的なコミュニケーションスキルを習得できる ③ロールプレイにより自身のコミュニケーション技法を客観視できる ④各場面における具体的なコミュニケーションスキルの活用方法を知ることができる	・コミュニケーション講義 ・ロールプレイを行う	不明	27	

No	施設	平成29年度に実施した研修					実施した研修会の概要について							参加施設数(施設数)	参加者数(人)
		化学療法	緩和ケアチーム	看護師	薬剤師	その他(分野)	研修開催日(H○年○月○日～○日間)	研修名	主催施設	研修企画者 部署・職位	研修対象者	研修目的	研修内容(プログラムの項目等の概略)		
	茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター			○			H29年11月30日～1日間	がん看護におけるコミュニケーション研修	日立製作所 日立総合病院	茨城県立中央病院 看護局 師長 鯉沼とも子 副師長 角 智美	茨城県立中央病院 看護受講者はラダーII(臨床経験3年以上)以上の看護師	①コミュニケーションの重要性を理解できる ②具体的なコミュニケーションスキルを習得できる ③ロールプレイにより自身のコミュニケーション技法を客観視できる ④各場面における具体的なコミュニケーションスキルの活用方法を知ることができる	・コミュニケーション講義 ・ロールプレイを行う	1	46
	茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター				○		H30年1月27日～0.5日間	平成29年度茨城県がん診療連携拠点病院研修会(放射線治療研修会)	茨城県立中央病院	河島通久 放射線技術科専門員	各医療機関の診療放射線技師及び医学物理士	がん医療従事者の専門的知識の習得を目的に、県内医療機関に勤務する主として放射線治療機器を有する施設の診療放射線技師や医学物理士等を対象とした研修会を開催する。	「PET/CT放射線治療計画について - 基礎からBTVまで -」 1.放射線治療におけるPET/CTの役割 2.シーメンスBGR solutionについて	3	10
	茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター				○		H29年8月30日～1日間	院内がん登録研修会	茨城県立中央病院	企画情報室(診療情報室)・係長	県内医療機関のがん登録実務者	院内がん登録について基礎的知識・技能の習得を目指すこと	(1)院内がん登録システム論 (2)院内がん登録標準登録様式2016年版についての解説と演習 (3)全国がん登録について	56	91
	茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター				○		H30年2月24日～1日間	院内がん登録研修会	茨城県立中央病院	企画情報室(診療情報室)・係長	県内医療機関のがん登録実務者	院内がん登録について基礎的知識・技能の習得を目指すこと	院内がん登録の基礎について	27	35
10	栃木県立がんセンター			○			H29年8月31日～2日間	地域におけるがん看護研修がん化学療法看護コース	栃木県立がんセンター	看護部 看護師長	看護師	県内のがん看護の現状や課題を把握し、県内で求められるがん化学療法看護の課題解決や質向上を図る。	がん化学療法看護について、講義、演習及びグループワークを実施。	15	26
	栃木県立がんセンター			○			H29年9月30日～1日間	がん看護研修会	栃木県立がんセンター	看護部 副部長	看護師等医療従事者	県内のがん看護の質の向上と均てん化を図るとともに、研修会を通し県内各施設とのコミュニケーションを円滑にし、スムーズな診療体制を構築する。	肺がんについて、講義形式のほか体験学習を実施。	26	52
	栃木県立がんセンター			○			H29年12月9日～1日間	がん看護研修会	栃木県立がんセンター	看護部 副部長	看護師等医療従事者	県内のがん看護の質の向上と均てん化を図るとともに、研修会を通し県内各施設とのコミュニケーションを円滑にし、スムーズな診療体制を構築する。	胃がんについて、講義形式のほか体験学習を実施。	14	23
	栃木県立がんセンター			○			H30年1月13日～1日間	地域におけるがん看護研修(緩和ケア)	栃木県立がんセンター	看護部 主査	看護師	県内の看護師が緩和ケアの知識や技術を習得することで、県内における看護の質の向上と均てん化を図る。	緩和ケアについて、講義及び演習を実施。	13	21
	栃木県立がんセンター			○			H29年12月12日～1日間	がん医療における医薬連携に関する研修会	栃木がん診療連携協議会地域連携・研修部会 一般社団法人栃木県薬剤師会	地域連携センター 主任(薬剤師)	薬剤師	病院医師・薬剤師と薬局薬剤師が連携し、がん医療の質の向上を図る。	在宅医療における医薬連携について、講義の後、パネルディスカッションを実施。	27	41
	栃木県立がんセンター			○			H30年3月28日～1日間	がん医療における医薬連携に関する研修会	栃木がん診療連携協議会地域連携・研修部会 一般社団法人栃木県薬剤師会	地域連携センター 主任(薬剤師)	薬剤師	病院医師・薬剤師と薬局薬剤師が連携し、がん医療の質の向上を図る。	在宅医療における医薬連携について、グループディスカッションを実施。	7	9
	栃木県立がんセンター					放射線治療	H29年10月14日～1日間	県内放射線治療施設における診療放射線技師を対象とした研修	栃木県立がんセンター	放射線治療科 副科長	診療放射線技師	県内放射線治療施設における治療技術の向上及び従事する診療放射線技師のスキルアップ。	県内放射線治療施設における治療技術の向上及び従事する診療放射線技師のスキルアップ。	6	17
	栃木県立がんセンター					相談支援	H29年5月20日～1日間	がん相談員研修	栃木県がん診療連携協議会相談支援部会	がん相談支援センター相談員指導者研修修了者	がん相談員等	相談者の相談内容を把握し、潜在的な課題や問題を明らかにする方法を取得することによって、相談者自身が解決に結び付けられるような支援方法を学ぶ。	がん専門相談員の役割や相談支援のプロセスについての講義のほか、がん患者への相談支援に関するグループワークを実施。	15	48
	栃木県立がんセンター					コミュニケーション技術	H29年10月21日～2日間	がん医療に携わる医師に対するコミュニケーション技術研修会(とちぎCST)	栃木県立がんセンター	放射線治療科 副科長 地域がん診療連携拠点病院 緩和ケア科 医師	医師	医師が医療面接で「悪い知らせ」を伝える際のコミュニケーション技術の向上を目指す。	がん患者への「悪い知らせ」を伝える際のコミュニケーション技術について、講義、グループワーク及びロールプレイを実施。	3	3
	栃木県立がんセンター					放射線治療	H30年3月21日～1日間	放射線治療の推進に関する研修	栃木県立がんセンター	放射線治療科 副科長	栃木県がん診療連携協議会加盟施設の医師その他の医療従事者	がんの状態に応じた適切で質の高いがん医療の提供に資するため。	BSC(バランスト・スコアカード)を用いた放射線治療の業務改善について、発表及び意見交換を実施。	7	16
11	群馬大学医学部附属病院	○					H29年7月6日～1日間	化学療法について	群馬大学医学部附属病院	群馬大学医学部附属病院 腫瘍センター長 塚本憲史	職種・専門を問わず、すべての医療従事者	がん化学療法への理解と知識を深める。	講演1 化学療法について(がん薬物療法専門医による講演) 講演2 がん化学療法と看護(がん化学療法看護認定看護師による講演)	20	112
	群馬大学医学部附属病院		○				H29年10月12日～1日間	緩和ケア	群馬大学医学部附属病院	群馬大学医学部附属病院 腫瘍センター長 塚本憲史	職種・専門を問わず、すべての医療従事者	緩和ケアの理解と知識を深める。	講演1 緩和ケア-特に痛みとopioidについて-(医師による講演) 講演2 疼痛マネジメントにおける看護師の役割(緩和ケア認定看護師による講演)	13	97
	群馬大学医学部附属病院			○			H29年9月12日～15日間	がん分野における中堅看護師実務研修	群馬大学医学部附属病院 他17施設	群馬大学医学部附属病院 看護部 副看護師長 高田幸子	県内の病院等に勤務する、看護師経験5年以上かつがん看護経験3年以上であり、リーダー的な役割を發揮できるもの	がん分野における専門的知識・技術の習得と、アセスメント能力向上と、がん看護実践ができる看護師の育成をはかる	講義:別添 募集要項を参照 見学実習:緩和ケア病棟・訪問看護ステーションのいずれか1ヶ所を見学 施設実習:1人患者を受け持ち、アセスメントから看護計画の立案・実施まで行う 演習:リンパ浮腫のセルフケア、ポートの取り扱い、ELNEC-Jコアカリキュラム看護師教育プログラム	18	22
	群馬大学医学部附属病院			○			H30年1月23日～1日間	Meeting of Oncology Pharmacy Experts ~ がん薬物療法における薬剤師の役割 ~	小野薬品工業株式会社	群馬県立がんセンター 薬剤部 主幹 藤田 行代 志 群馬大学医学部附属病院 薬剤部 薬剤主任 大島 宗平	群馬県内のがん薬物療法に従事しているまたは興味のある方	模擬症例をベースに症例検討を行い、臨床推論力を向上させる	基調講演「がん患者における臨床推論」 グループディスカッション(胃がん患者緊急入院) 特別講演「臨床副作用フィードバックに対する受け答え」	5	10
	群馬大学医学部附属病院					放射線療法と看護	H29年9月7日～1日間	放射線療法と看護	群馬大学医学部附属病院	腫瘍センター長 塚本憲史	職種・専門を問わず、すべての医療従事者	放射線治療の理解と知識を深める。	講演1 放射線療法の看護(重粒子線医学センター医師による講演) 講演2 疼痛マネジメントにおける看護師の役割(重粒子線医学センター看護師による講演)	11	82

No	施設	平成29年度に実施した研修					実施した研修会の概要について								
		化学療法	緩和ケアチーム	看護師	薬剤師	その他(分野)	研修開催日 (H○年○月○日～○日間)	研修名	主催施設	研修企画者 部署・職位	研修対象者	研修目的	研修内容 (プログラムの項目等の概略)	参加施設数(施設数)	参加者数(人)
	群馬大学医学部附属病院					がん相談	H29年11月18日～1日間	地域相談支援フォーラム in 北関東甲信越「どうしていますか？患者が自分の最期を考えたとき～事前意思指示書と共に考える～」	群馬県がん診療連携協議会	塚本 憲史 腫瘍センター長・診療教授	北関東甲信越地区のがん診療連携拠点病院および県認定がん診療病院等におけるがん相談支援センター医療従事者	【研修の主旨】 北関東甲信越地区のがん診療連携拠点病院および県認定がん診療病院のがん相談支援業務を行う相談員が、患者自身がどのような最期を迎えたいか考える機会をつくり、今後の治療や療養について話し合うプロセス(ACP)やその際の相談員の役割について学ぶ。	【シンポジウム】 各県における事前意思表示の取り組みについて  【特別講演】 終末期医療に関する法と倫理～やりたいこと&できることを考えるために、正しく知る&理解する  【グループディスカッション】 相談員として意思決定支援に必要な知識や技術について事前意思指示書に関する相談員の対応について	48	121
	群馬大学医学部附属病院					大腸がん	H29年11月2日～1日間	大腸がんの手術療法と手術療法の看護	群馬大学医学部附属病院	群馬大学医学部附属病院 腫瘍センター長 塚本憲史	職種・専門を問わず、すべての医療従事者	大腸がん治療の理解と知識を深める。	講演1 大腸がんの治療(医師による講演) 講演2 大腸がん患者の意思決定支援(がん看護専門看護師による講演)	14	89
12	埼玉県立がんセンター			○			H29年11月11日～2日間	ELNEC-Jコアカリキュラム看護師教育プログラム	埼玉県立がんセンター	緩和ケアセンター 認定看護師 主査 (緩和ケア認定看護師)	県内地域がん診療連携拠点病院、がん診療指定病院に勤務する看護師	がん診療連携拠点病院緩和ケアセンターの看護師研修事業の一環としてがん終末期の緩和ケアに関する看護実践能力の充実および地域連携の強化を図り、がん緩和ケアの均てん化を目指す	モジュール1: エンド・オブ・ライフ・ケアにおける看護 モジュール2: 痛みのマネジメント モジュール3: 症状マネジメント モジュール4: エンド・オブ・ライフ・ケアにおける倫理的問題 モジュール5: エンド・オブ・ライフ・ケアにおける文化への配慮 モジュール6: コミュニケーション モジュール7: 喪失・悲嘆・死別 モジュール8: 臨死期のケア モジュール9: 高齢者のエンド・オブ・ライフ・ケア モジュール10: 質の高いエンド・オブ・ライフ・ケアの達成	8	31
	埼玉県立がんセンター				○		H29年11月26日～0.5日間	第7回 埼玉県立がんセンターがん薬業連携シンポジウム	埼玉県立がんセンター	薬剤部 部長	埼玉県薬剤師会会員 埼玉県病院薬剤師会会員 地域がん診療連携拠点病院 埼玉県がん診療指定病院	埼玉県内の病院・薬局薬剤師を対象として、相互の情報共有の場とする	疑義照会簡素化プロトコルの取り組みについて	30	82
13	千葉県がんセンター	○					H29年12月22日～1日間	新規薬剤研修会(乳がん)	千葉県がんセンター	関根佳代・薬剤部・主任 上席専門員	がん化学療法に携わる医師、薬剤師、看護師	新規に認可された分子標的薬(イブランス)の特徴と、代表的な有害事象、およびその対処法を学ぶことにより、安全な化学療法の実施に寄与する。	新薬の概要と毒性について、講義形式での研修を実施した。講師は、千葉県がんセンターの医師が担当した。	7	27
	千葉県がんセンター		○				H29年11月5日～1日間	平成29年度第1回地域緩和ケア研修会	千葉県がんセンター	緩和ケアセンター 診療部長 藤原正規	緩和ケアに携わる医師、看護師、薬剤師等 医療従事者	在宅緩和ケアを担う医療者、介護職種に対して緩和ケアの啓発及び相談支援を行うと共に、地域における顔の見える関係を構築する。	せん妄、便秘などを中心に、がんの症状マネジメントを学ぶ。	41	50
	千葉県がんセンター		○				H30年1月14日～1日間	平成29年度第2回地域緩和ケア研修会	千葉県がんセンター	緩和ケアセンター 診療部長 藤原正規	緩和ケアに携わる医師、看護師、薬剤師等 医療従事者	在宅緩和ケアを担う医療者、介護職種に対して緩和ケアの啓発及び相談支援を行うと共に、地域における顔の見える関係を構築する。	終末期患者とのコミュニケーション(エンドオブライフケア)について学ぶ。	57	75
	千葉県がんセンター		○				H30年3月10日～1日間	平成29年度第3回地域緩和ケア研修会	千葉県がんセンター	緩和ケアセンター 診療部長 藤原正規	緩和ケアに携わる介護職	在宅緩和ケアを担う医療者、介護職種に対して緩和ケアの啓発及び相談支援を行うと共に、地域における顔の見える関係を構築する。	介護職のための緩和ケアについて学ぶ。	69	91
14	東京都立駒込病院														
15	がん研究会有明病院	○					H30年2月17日～1日間	がんの薬物療法研修会	(公財)がん研究会有明病院	総合腫瘍科 部長	医師、薬剤師、看護師	がんの薬物療法における問題点を共有し、これに関する知識を身につける	◇テーマ:1. 新規薬剤について、2. ゲノム医療について ◇プログラム: *テーマ:1. 新規薬剤について ・乳がんに対する新規治療薬(CDK阻害薬など) ・血液腫瘍に対する新規治療薬(プロテアソーム阻害薬、抗体薬など) *肺癌に対する分子標的薬の現状と展望 *総合討論 *テーマ:2. ゲノム医療について ・順天堂大学におけるクリニカルシークエンスMSK-IMPACT検査の導入経験 ・遺伝性がんの臨床とカウンセリング ・遺伝子パネル検査の臨床実装における課題と今後の展開について *総合討論 *閉会	22	68
	がん研究会有明病院		○				H29年11月19日～1日間	がん看護研修会	(公財)がん研究会有明病院	看護部・部長	看護師	がん化学療法において、昨今注目されているトピックスに関して、基礎知識を確認するとともに、多施設における看護師の活動を知り、それらを所属施設のがん看護に生かすための方策を考える。	◇テーマ:「化学療法に関する注目トピックス —免疫チェックポイント阻害薬・認知症・精神疾患・妊産婦—」 ◇プログラム: *講演 ・免疫チェックポイント阻害薬治療を受ける患者の看護 ・アピランスケア ・がん化学療法と認知症 ・がん化学療養と精神疾患 ・がんが各療法と妊産婦 *総合ディスカッション	36	139
	がん研究会有明病院			○			H29年11月18日～1日間	薬剤師研修会	(公財)がん研究会有明病院	薬剤部・部長	薬剤師研修会		◇テーマ:1. 「がん診療連携拠点病院が周辺施設の薬剤師を対象とした薬剤師研修の実施報告と課題分析」、2. 「薬剤師外来の進め方」 ◇プログラム: *オープニングリマーク ・テーマ:1「がん診療連携拠点病院が周辺施設の薬剤師を対象とした薬剤師研修の実施報告と課題分析」 1) 各ブロックからの研修会各ブロック実施報告 課題と分析評価 ・中央ブロック、城北ブロック、城南ブロック、城東ブロック、多摩西ブロック、多摩東ブロック 2) 基調講演「研修企画を通じて拠点病院の役割を考える」 ・テーマ:2「薬剤師外来の進め方」 ① 薬剤師外来の意図と成果 ② 実例1: ATCにおける薬剤師 ③ 実例2: Rash外来 ④ ディスカッション *アンケート実施 *クロージングリマーク	36	72
	がん研究会有明病院			○			H30年1月13日～1日間	放射線腫瘍医研修会	(公財)がん研究会有明病院	放射線治療部・部長	医師	放射線治療における問題点を共有し、これに関する知識を身につける。	◇プログラム: 講演 ・医学物理 ・放射線治療と人工知能 ・Clinical trial sessionより ・ASTROダイジェスト ・看護師から見た海外の放射線治療 ・ExacTrac X-Rayの使用経験  教育講演 ・前立腺癌の放射線治療 ・症例検討会 ・直腸癌	26	70

No	施設	平成29年度に実施した研修					実施した研修会の概要について								参加施設数(施設数)	参加者数(人)
		化学療法	緩和ケアチーム	看護師	薬剤師	その他(分野)	研修開催日(H○年○月○日～○日間)	研修名	主催施設	研修企画者部署・職位	研修対象者	研修目的	研修内容(プログラムの項目等の概略)			
	がん研究会有明病院					○	H30年3月3日～1日間	放射線技師等研修会	(公財)がん研究会有明病院	放射線治療部・技師長	診療放射線技師、医学物理士	放射線治療技師等が日常業務において治療計画や照射技術を行っていく上で必要な腫瘍学の知識を習得のため。	◇テーマ:「放射線治療技術に必要な腫瘍学Ⅰ」 ◇プログラム: 講演・・・ ・中枢神経 ・頭頸部 ・乳腺 ・食道 ・緩和 意見交換他	35	190	
	がん研究会有明病院					○	H30年2月24日～1日間	がん医療従事者多職種合同研修会	(公財)がん研究会有明病院	研修部会長	医師、看護師、管理栄養士、歯科医師、歯科衛生士、理学療法士等	放射線治療技師等が日常業務において治療計画や照射技術を行っていく上で必要な腫瘍学の知識を習得のため。	◇テーマ:「がんリハビリテーション」 対象:拠点病院、協力病院 ◇プログラム: ●講演 ・がん患者とサルコペニアについて ・がん患者のリハビリテーション(総論) ・2病棟の、がんリハの取組 ●グループワーク ・各施設の取組について	11	55	
16	神奈川県立がんセンター			○			H30年2月27日～1日間	訪問看護師のための緩和ケア研修会	神奈川県立がんセンター	神奈川県立がんセンター緩和ケアセンター ジェネラルマネージャー	県内の訪問看護師	神奈川県内の緩和ケアに従事する訪問看護師の質の向上	1.オピオイド鎮痛剤使用中に使用する下剤について講義 2.社会福祉士・臨床心理士による講義「利用者に怒りを向けられたとき」 3.セルフケアの体験「静のワーク・動のワーク」	25	47	
	神奈川県立がんセンター			○			H29年9月13日～1日間	看護師のための緩和ケア研修会	神奈川県立がんセンター	神奈川県立がんセンター緩和ケアセンター ジェネラルマネージャー	地域の病院・訪問看護ステーションに勤務する看護師	地域の病院・訪問看護ステーションに勤務する、緩和ケアに従事する看護師の質の向上	「がん性疼痛看護について」講義	1	42	
	神奈川県立がんセンター			○			H30年1月19日～1日間	看護師のための緩和ケア研修会	神奈川県立がんセンター	神奈川県立がんセンター緩和ケアセンター ジェネラルマネージャー	地域の病院・訪問看護ステーションに勤務する看護師	地域の病院・訪問看護ステーションに勤務する、緩和ケアに従事する看護師の質の向上	職員のメンタルヘルス 生き生きと働き続けるために	1	41	
	神奈川県立がんセンター			○			H29年12月4日～1日間	がん診療連携拠点病院薬剤師講習会	神奈川県立がんセンター	神奈川県立がんセンター薬剤科 原田 知彦	県内のがんに関わる薬剤師	がん診療に携わる薬剤師の現状や課題を把握し、求められる資質の向上と相互連携を目的とする	①がん診療連携拠点病院の役割について ②埼玉がん薬物療法研究会の活動内容について	36	47	
	神奈川県立がんセンター			○			H30年1月9日～5日間	がん薬物療法認定薬剤師研修	日本病院薬剤師会	日本病院薬剤師会がん薬物療法認定薬剤師研修事業部	県内日本がん薬物療法認定薬剤師資格取得希望者	がん薬物療法認定薬剤師資格取得のための認定施設研修	日本病院薬剤師会規程のコアカリキュラムに準拠	4	4	
	神奈川県立がんセンター			○			H29年2月9日～1日間	院内がん登録部会研修会	神奈川県立がんセンター	小池真紀子 企画調査室 主査	拠点病院、県認定病院内のがん登録実務者	拠点病院、県認定病院内のがん登録の精度向上	1)内容:「頭頸部(耳鼻科)の解剖について」 2)講師:神奈川県立がんセンター 頭頸部外科医長 古川 まどか先生 3)対象者:神奈川県内のがん診療連携拠点病院および神奈川県がん診療連携指定病院のがん登録実務者	30	64	
	神奈川県立がんセンター			○			H30年1月6日～2日間	神奈川県がんのリハビリテーション研修会	昭和大学医療保健学科	昭和大学藤が丘病院リハビリテーション部 理学療法士黒岩澄志	がんのリハビリテーションに従事する医師・看護師・言語聴覚士・作業療法士・理学療法士	がん患者リハビリテーションの施設基準に規定されたがんのリハビリテーションに関する多職種研修会。	がん診療の概要、がんのリハビリテーションの概要、がん患者リハビリテーションの安全管理、がん患者への心理的関わりなどの座学 がんのリハビリテーションの問題点、がんのリハビリテーションケーススタディ、がんのリハビリテーションカンファレンスのグループワーク	12	80	
	神奈川県立がんセンター				総合がんセンターボード		H30年3月14日～1日間	平成29年度 総合がんセンターボード	神奈川県立がんセンター	酒井リカ(がんセンターボード運営会議議長、腫瘍内科 部長)	院内全職種、院外全職種(参加希望者。院外より看護師、医師、MSW参加)	1)平成29年度に開催した院内臨時がんセンターボード事例の振り返りをおこない、診断・治療選択が困難な事例の診療科・職種横断的対応とその経過を共有することで、希少がん、難治がんの診療を学ぶ。 2)ゲノム医療の現状と課題を共有する(院内講師および院外講師による講演)	テーマ1 2017年臨時CB事例経過報告 ①小腸癌に対する2時以降の治療について(3例) ②尿管癌に対する化学療法について(3例) ③陰茎癌に対する化学療法(2例) その他事例経過報告(進行期外陰がん、進行期胃癌、原発不明がん、早期食道がん) テーマ2 ゲノム医療関連 ①当院の現状と課題 ②井出遠視診療の現状と課題	5	64	
	神奈川県立がんセンター				院内がん登録		H29年7月13日～2日間	院内がん登録(全国がん登録)研修会	神奈川県立がんセンター	小池 真紀子 企画調査室 主査	神奈川県立病院機構 院内がん登録担当者	院内がん登録および全国がん登録の進め方と登録方法を学ぶ	研修内容 院内がん登録と全国がん登録の仕組み 院内がん登録 標準登録様式 2016年版の解説 ICD-O-3の概論・コーディングルール、UICC病期分類について	5	7	
	神奈川県立がんセンター				がん専門相談員		H29年6月1日～1日間	平成29年度第1回神奈川県がん相談員研修会	相談支援部会(事務局:神奈川県立がんセンター)	相談支援部会 部会長および教育企画担当者(部会構成員)	県内のがん診療連携拠点病院およびがん診療連携指定病院のがん専門相談員	1. 相談員同士の意見交換を通して、相談および共同のスキルアップを目指す 2. がん相談に必要な情報共有を行う 3. 語り合いを通じたピアサポートの場とする	PDCAのための情報交換会	29	57	
	神奈川県立がんセンター				がん専門相談員		H29年9月4日～1日間	平成29年度第2回神奈川県がん相談員研修会	横浜市立大学附属病院主催 相談支援部会共催(事務局:神奈川県立がんセンター)	相談支援部会 部会長および教育企画担当者(部会構成員)	県内のがん診療連携拠点病院およびがん診療連携指定病院のがん専門相談員	1. 相談員同士の意見交換を通して、相談および共同のスキルアップを目指す 2. がん相談に必要な情報共有を行う 3. 語り合いを通じたピアサポートの場とする	クリニカルシークエンスおよび周手術期口腔管理について	28	49	
	神奈川県立がんセンター				がん専門相談員		H29年12月2日～1日間	平成29年度第3回神奈川県がん相談員研修会	相談支援部会(事務局:神奈川県立がんセンター)	相談支援部会 部会長および教育企画担当者(部会構成員)	県内のがん診療連携拠点病院およびがん診療連携指定病院のがん専門相談員	1. 相談員同士の意見交換を通して、相談および共同のスキルアップを目指す 2. がん相談に必要な情報共有を行う 4. 語り合いを通じたピアサポートの場とする	がん相談対応表の活用を学ぶ	17	28	
	神奈川県立がんセンター				がん専門相談員		H30年2月15日～1日間	平成29年度第4回神奈川県がん相談員研修会	相談支援部会(事務局:神奈川県立がんセンター)	相談支援部会 部会長および教育企画担当者(部会構成員)	県内のがん診療連携拠点病院およびがん診療連携指定病院のがん専門相談員	1. 相談員同士の意見交換を通して、相談および共同のスキルアップを目指す 2. がん相談に必要な情報共有を行う 5. 語り合いを通じたピアサポートの場とする	PDCA評価に関する研修会	29	48	
17	新潟県立がんセンター新潟病院			○			H29年10月30日～6日間	がん看護専門研修Ⅰ	新潟県立がんセンター新潟病院	看護副部長 丸山 美香	新潟県内のがん看護実践者	がん看護に関する専門的知識を深め、がん患者・家族のQOLの維持・向上における看護師の役割を理解し、実践にむずびつけることができる。		13	15	
	新潟県立がんセンター新潟病院			○			H22年5月10日～6日間	2010年度 第1期がん薬物療法認定薬剤師研修事業	新潟県立がんセンター新潟病院	薬剤部 薬剤科長	伊藤 仁(新潟労災病院)	がん薬物療法認定薬剤師の養成	講義および実務実習(別紙参照)	1	1	

No	施設	平成29年度に実施した研修					実施した研修会の概要について								参加施設数(施設数)	参加者数(人)
		化学療法	緩和ケアチーム	看護師	薬剤師	その他(分野)	研修開催日(H○年○月○日～○日間)	研修名	主催施設	研修企画者 部署・職位	研修対象者	研修目的	研修内容(プログラムの項目等の概略)			
	新潟県立がんセンター新潟病院					○	H30年2月3日～1日間	第4回 新潟県がん相談支援センター相談員研修	新潟県立がんセンター新潟病院	新潟県がん診療連携協議会 情報連携部会長 竹之内辰也	がん診療連携拠点病院、準拠点病院及び地域がん診療病院のがん相談支援センター現任相談員	講義、グループワークを通して地域連携に関する知識・情報・問題点を学習し、今後の相談支援業務で相談者への適切な情報提供・支援に活かす。	1「新潟県地域医療構想の基本方針について」 2「高齢者の療養生活支援について」 3「グループワーク」	7	16	
	新潟県立がんセンター新潟病院					○	H29年11月10日～1日間	がん拠点病院放射線治療研修会	新潟県立がんセンター新潟病院	中央放射線部 診療放射線副技師長 本多一男	県内医療従事者	都道府県がん診療連携拠点病院として放射線治療における、がん医療の専門的な知識及び技能の情報発信を行う。	「頭頸部癌に対するIMRTの実験～当院での経験～」というタイトルで新潟大学医学総合病院の放射線治療科助教の太田篤先生より御講演をいただいた。	5	43	
	新潟県立がんセンター新潟病院					○	H29年7月14日～H29年10月31日～2日間	平成29年度 第1回訪問看護師研修会 平成29年度 第2回訪問看護師研修会	新潟県立がんセンター新潟病院	新潟県立がんセンター新潟病院 地域連携・相談支援センター 副センター長 若井麗子	近隣の訪問看護ステーション職員	在宅療養を支える地域スタッフと共にスキルアップを目指し、連携強化をはかる。研修受講により日頃の疑問を解消し、今後の患者ケアに活かすことができる。	第1回 講義「医療用麻薬について」「つらさを理解しアセスメントするための思考の過程」 グループワーク「事例を基に疼痛アセスメントについて考える」 第2回 講義「がんリハビリの理学療法の実践について」「嚥下訓練の実践について」	10	21/18	
	新潟県立がんセンター新潟病院					リハビリテーション	H29年10月31日～1日間	第2回訪問看護研修会 がんリハビリの研修会	新潟県立がんセンター新潟病院	地域連携・相談支援センター	訪問看護ステーションスタッフ	在宅療養を支える地域スタッフと共にスキルアップを目指し、連携強化を図る。	講義①「病期に合わせたリハビリテーション ～当院での取り組み」 講師：リハビリ科 理学療法士 講義②「がんリハビリテーションに必要な基礎知識」 講師：リハビリ科 言語聴覚士		18	
18	富山県立中央病院	○					H29年7月1日～1日間	第1回富山県がん化学療法チーム研修会	富山県立中央病院	富山県がん診療連携協議会会長 富山県立中央病院院長 清水 康一	がん診療連携拠点病院の化学療法担当医師・看護師・薬剤師・MSW	・がん診療連携拠点病院の医療レベル向上に寄与する	・免疫チェックポイント阻害剤を使用する患者への対応についての講義 ・グループワーク	3	9	
	富山県立中央病院					○	H29年7月22日～1日間	がん相談員研修	富山県立中央病院	緩和ケアセンター・主任 長戸 陽子	がん診療拠点病院のがん専門相談員	がん相談に携わる者のスキルアップを図る	がん相談で活用できるコミュニケーションスキル	9	18	
	富山県立中央病院					○	H29年7月1日～1日間	第1回富山県がん化学療法チーム研修会	富山県立中央病院	富山県がん診療連携協議会会長 富山県立中央病院院長 清水 康一	がん診療連携拠点病院の化学療法担当医師・看護師・薬剤師・MSW	新薬への対策を通じて施設間・化学療法チーム間の連携を図る	・免疫チェックポイント阻害薬の講義 ・各施設での問題点抽出と対応策(グループワーク)	3	9	
	富山県立中央病院					○	H29年7月11日～1日間	公開がんセミナー がん患者とその子どもへの支援	富山県立中央病院	専門・認定看護師会	県内看護職員全般	がん患者とその子どもへの支援・理解	講義・事例紹介	8	48	
	富山県立中央病院					○	H30年1月19日～1日間	公開がん看護セミナー 明日から現場で活かせるコミュニケーション	富山県立中央病院	専門・認定看護師会	県内看護職員全般	コミュニケーションスキルの向上	コミュニケーションスキルについての講義、ロールプレイ	3	12	
19	金沢大学附属病院	○					H29年6月29日～	第37回石川県がん診療連携拠点病院研修会	金沢大学附属病院	がんセンター	がんセンター診療に携わる医療従事者	がん診療に携わる医療従事者に対して、がん治療や精度の高い化学療法の知識、理解を深めてもらうため	①大腸がん化学療法の現状と展望 ②乳がん治療の最前線	13	66	
	金沢大学附属病院					○	H29年7月22日～6日間	平成28年度 専門的看護実践力研修事業(分野別実践看護師養成研修)【がん看護】	金沢大学附属病院	看護部管理室 看護部長 小藤 幹恵	実務経験が5年以上の看護師	がん看護について専門的知識を習得し、がん看護の臨床実践能力の高い看護師を育成する	講義・グループワーク 最新のがん治療と看護、がん看護におけるチーム医療、緩和ケアセルフケア、意思決定支援、がんとせん妄、在宅支援 危機理論、臨床倫理	16	42	
	金沢大学附属病院		○	○	○	○	H30年3月25日～1日間	石川県地域緩和ケア研究会	石川県地域緩和ケア研究会、金沢大学病院緩和ケアセンター	緩和ケア研究会代表：大和太郎 緩和ケアセンター長：山田圭輔	緩和ケアに興味のある医師、看護師、介護士、薬剤師等	神経難病患者に対する症状緩和、意思決定支援、家族のケアを知る	1)講義(慢性呼吸器疾患看護認定看護師と神経内科医)	多数	100	
	金沢大学附属病院		○	○	○	○	H29年11月19日～1日間	第27回金沢がん哲学外来 北陸三県合同シンポジウム	金沢がん哲学外来、金沢大学病院緩和ケアセンター	緩和ケアセンター長：山田圭輔	緩和ケアに興味のある医師、看護師、介護士、薬剤師等	医療者と患者の信頼関係の構築、コーピング、終末期に備えたケア	①講義 ②シンポジウム	多数	65	
	金沢大学附属病院					○	H29年11月9日～1日間	第38回石川県がん診療連携拠点病院研修会	金沢大学附属病院	がんセンター	がん診療に携わる医療従事者	がん診療に携わる医療従事者に対し、がん治療等の知識や理解を深めてもらうため	①医療の質保証に向けた効率的・効果的なパスの運用 ②乳がん治療としての乳房再建～広がる選択肢～	4	97	
	金沢大学附属病院					○	H30年3月1日～1日間	第39回石川県がん診療連携拠点病院研修会	金沢大学附属病院	がんセンター	がん診療に携わる医療従事者	がん診療に携わる医療従事者に対し、がん治療等の知識や理解を深めてもらうため	①がん患者の就労について ②小線源治療 ③長期生存が可能になった免疫チェックポイント阻害薬による肺がん治療	9	87	
20	福井県立病院		○				H29年7月17日～0.5日間	第1回福井県緩和ケアチーム研修会	福井大学医学部附属病院	がん診療推進センター長 片山 寛次	県内医療機関の緩和ケアチーム	県内医療機関の緩和ケアチーム活動についてPDCAサイクルを回し、お互いの課題と目標が整理・共有できる。	・基調講演「緩和ケアチームの機能と役割」 ・施設緩和ケア活動における課題と改善計画について(セルフチェックプログラムをもとに)	7	48	
	福井県立病院					○	H30年3月29日～1日間	がん化学療法の副作用による苦痛や不安への対応～社会復帰を目指して～	福井県がん診療連携協議会	情報・連携部会 がん相談員ワーキング	福井県がん診療連携拠点病院のがん相談員およびがん相談に関わる全ての職種	・がん専門相談員およびがん相談に携わる医療スタッフとして必要ながん医療に関する知識を深め、相談支援技術の自己研鑽につなげる ・化学療法の基本と副作用に関する知識を深める	講義：がん相談に活かすがん化学療法の基本と副作用の理解 グループワーク：抗がん剤治療中の副作用で仕事に支障がある患者	7	15	
	福井県立病院					○	H29年12月13日～1日間	平成29年度NST勉強会	福井県立病院	NST医師・NST事務局	医師・看護師・薬剤師・管理栄養士・言語聴覚士等(院内外)	栄養管理の知識向上を図り、栄養管理への理解を深める	・がん終末期患者の経口摂取とQOLについて ・経口補助食品 新製品の紹介	3	28	

No	施設	平成29年度に実施した研修					実施した研修会の概要について								参加施設数(施設数)	参加者数(人)
		化学療法	緩和ケアチーム	看護師	薬剤師	その他(分野)	研修開催日(H○年○月○日～○日間)	研修名	主催施設	研修企画者部署・職位	研修対象者	研修目的	研修内容(プログラムの項目等の概略)			
	福井県立病院					○	H30年度1月21日～1日間	相談対応のQA(Quality Assurance)を学ぶ	福井県がん診療連携協議会	情報・連携部 がん相談員ワーキング	がん専門相談員もしくは来年度以降がん専門相談員として従事される予定の方	がん相談支援センターにおけるPDCAサイクル確保の一環として、相談対応の質の向上のための観点を学ぶ	講義:「がん相談対応評価表」～目的・意義・ルールを理解する～グループディスカッション:評価表を利用しての意見交換 講義:「がん相談支援の質」を考える グループディスカッション:自施設や地域での取り組める内容についての意見交換	5	13	
21	山梨県立中央病院		○				H29年10月29日～1日間	平成29年度山梨県緩和ケアチーム研修会	山梨県立中央病院	緩和ケアセンター 統括部長 阿部 文明	山梨県内のがん診療連携拠点病院の緩和ケアチーム(多職種)十公募で希望があった病院	山梨県内の緩和ケアチームの交流と相互理解、および各病院チームの質の向上を目指した	山梨県緩和ケアチーム研修会の概要 山梨県のがん対策について 緩和ケアチームの質の評価について 各緩和ケアチームの活動状況報告 グループワーク今後の緩和ケアチームの活動立案	6	32	
	山梨県立中央病院			○	○		H26年9月12日～1日間	平成26年度 第1回がん医療従事者研修会	山梨県立中央病院	山梨県立中央病院 薬剤部 主任薬剤師	山梨県内の薬剤師、医師、看護師等	がん治療に関わる薬剤師の資質向上	・当院におけるがん化学療法への薬剤師の関わり ・がん治療における薬剤師業務の現状とこれから	不明	44	
	山梨県立中央病院					○	H29年5月13日～1日間	県民のためのがんセミナー	山梨県立中央病院	副院長	一般市民・医療従事者	がん患者を含めた県民が、がんを知り、がんと向き合い、がんを負けることのない社会を実現するために、「県民に分かっていただけるセミナー」をモットーに、「県民のための「がん」セミナー」を開催している。	講演「がんになった時、あなたは？がん患者さんの心の変化」		43	
	山梨県立中央病院					○	H29年9月30日～1日間	県民のためのがんセミナー	山梨県立中央病院	副院長	一般市民・医療従事者	がん患者を含めた県民が、がんを知り、がんと向き合い、がんを負けることのない社会を実現するために、「県民に分かっていただけるセミナー」をモットーに、「県民のための「がん」セミナー」を開催している。	講演会「がんの手術療法～新しい手術療法の導入～」		80	
	山梨県立中央病院					○	H29年11月25日～1日間	県民のためのがんセミナー	山梨県立中央病院	副院長	一般市民・医療従事者	がん患者を含めた県民が、がんを知り、がんと向き合い、がんを負けることのない社会を実現するために、「県民に分かっていただけるセミナー」をモットーに、「県民のための「がん」セミナー」を開催している。	講演会「がん共に歩む力を」		59	
	山梨県立中央病院					○	H30年2月3日～1日間	県民のためのがんセミナー	山梨県立中央病院	副院長	一般市民・医療従事者	がん患者を含めた県民が、がんを知り、がんと向き合い、がんを負けることのない社会を実現するために、「県民に分かっていただけるセミナー」をモットーに、「県民のための「がん」セミナー」を開催している。	講演会「もし、あなたが進行がんになったら～新しい治療の夜明け～」		104	
	山梨県立中央病院					○	H29年4月17日～1日間	総合がんセンターボード	山梨県立中央病院	がんセンター局長	医師、看護師、コメディカルスタッフ等	山梨県内においてより質の高いがん医療を提供するため	講演「統計からみた当院のがん医療」		73	
	山梨県立中央病院					○	H29年5月23日～1日間	総合がんセンターボード	山梨県立中央病院	がんセンター局長	医師、看護師、コメディカルスタッフ等	山梨県内においてより質の高いがん医療を提供するため	講演「H.pylori感染胃腸炎の自然史tp胃がん発生」		66	
	山梨県立中央病院					○	H29年6月21日～1日間	総合がんセンターボード	山梨県立中央病院	がんセンター局長	医師、看護師、コメディカルスタッフ等	山梨県内においてより質の高いがん医療を提供するため	講演「消化器がんに対する外科治療の現状と今後」		100	
	山梨県立中央病院					○	H29年7月18日～1日間	総合がんセンターボード	山梨県立中央病院	がんセンター局長	医師、看護師、コメディカルスタッフ等	山梨県内においてより質の高いがん医療を提供するため	講演「山梨県におけるPET診療の現状と課題」		48	
	山梨県立中央病院					○	H29年9月19日～1日間	総合がんセンターボード	山梨県立中央病院	がんセンター局長	医師、看護師、コメディカルスタッフ等	山梨県内においてより質の高いがん医療を提供するため	講演「ロボット手術導入から～3年間の展開～」		37	
	山梨県立中央病院					○	H29年10月5日～1日間	総合がんセンターボード	山梨県立中央病院	がんセンター局長	医師、看護師、コメディカルスタッフ等	山梨県内においてより質の高いがん医療を提供するため	講演「難治性癌 克服に向けて～免疫チェックポイント阻害剤～」		44	
	山梨県立中央病院					○	H29年11月21日～1日間	総合がんセンターボード	山梨県立中央病院	がんセンター局長	医師、看護師、コメディカルスタッフ等	山梨県内においてより質の高いがん医療を提供するため	講演「肝臓局所療法 —30年を超えて—」		57	
	山梨県立中央病院					○	H29年12月12日～	総合がんセンターボード	山梨県立中央病院	がんセンター局長	医師、看護師、コメディカルスタッフ等	山梨県内においてより質の高いがん医療を提供するため	講演「血液がんに挑んで」		37	
	山梨県立中央病院					○	H30年1月23日～1日間	総合がんセンターボード	山梨県立中央病院	がんセンター局長	医師、看護師、コメディカルスタッフ等	山梨県内においてより質の高いがん医療を提供するため	講演「胃癌:早期から晩期の完全治療を目指して」		135	
	山梨県立中央病院					○	H29年7月8日～1日間	市民公開講座	山梨県立中央病院	教育研修部会長	一般県民	県民への情報提供・普及啓発	講演「最新のがん医療について」		40	
	山梨県立中央病院					○	H30年3月10日～1日間	がん相談員研修会	山梨県立中央病院	がん相談支援部会長	がん医療従事者	山梨県内においてより質の高いがん相談を提供するため	講演「がん患者・家族の心理と医療者のコミュニケーションについて」 グループワーク「がん相談の場面を通じて」	11	25	
22	信州大学医学部附属病院	○			○		H30年3月4日～1日間	都道府県がん診療連携拠点病院医療者研修会「信大病院におけるがんゲノム医療推進の試み」	信州大学医学部附属病院	信州大学医学部附属病院 信州がんセンター 小泉知展教授	県内医療従事者	・医療従事者を対象に、信州大学医学部附属病院におけるがんゲノム医療推進の試みと体制作りを紹介し、国内のがんゲノム医療の推進の動向について研修を行う。 ・信州大学医学部附属病院におけるがんゲノム医療推進の現状や試みについて理解を深める	講義形式 信大病院におけるクリニカルシーケンスの導入 LC-SCRUM Japanについて 遺伝性乳がん卵巣癌症候群 がん遺伝カウンセリングの役割と育成	16	40	
	信州大学医学部附属病院		○				H30年3月21日～1日間	長野県緩和ケアアドバンス研修会2017	信州大学医学部附属病院	信州大学医学部附属病院緩和ケアセンター	県内の緩和ケアに携わる医療者	H29年度は、地域ごとのグループワークを行い、自分の地域の課題や困りごとを明確にし、今後の活動計画を立案していく。 職種ごとのグループワークを設定し、施設を越えた連携を目標とする。	埼玉県立がんセンター余宮きのみ先生講演 昨年度の研修課題のふり返り 近隣地域ごとのグループワーク(自分の地域のふり返り、課題、目標と今後の行動計画) 同職種毎の意見交換会(グループワーク)	23	72	
	信州大学医学部附属病院			○			H29年12月9日～2日間	ELNEC-Jアカリキュラムin信大病院2017	信州大学医学部附属病院	信州大学医学部附属病院緩和ケアセンター	県内医療関係施設に勤務する看護師	各施設でのエンドオブライフケアを向上させる	エンドオブライフケアにおける看護	12	30	
	信州大学医学部附属病院					○	H29年6月4日～1日間	長野県がん相談員スキルアップ研修2017	長野県がん診療連携協議会情報連携部	情報連携部研修企画ワーキンググループ	長野県内がん相談員	長野県におけるがん患者の就労支援の現状を知り、多職種との連携方法、相談支援のあり方を学ぶ	事前アンケート結果報告 講義「がん患者の就労支援における社労士の役割と多職種連携」 自己紹介 事例検討 全体共有 リソース紹介(産業保健総合支援センター、ハローワーク就労支援ナビゲーター)	11	30	

No	施設	平成29年度に実施した研修					実施した研修会の概要について								参加施設数(施設数)	参加者数(人)
		化学療法	緩和ケアチーム	看護師	薬剤師	その他(分野)	研修開催日(H○年○月○日～○日間)	研修名	主催施設	研修企画者部署・職位	研修対象者	研修目的	研修内容(プログラムの項目等の概略)			
23	岐阜大学医学部附属病院	○					H29年11月2日～1日間	癌治療戦略検討会(拡大がんセンターボードミーティング)&副作用対応を含めた放射線治療・化学療法の推進に関する研修会	岐阜大学医学部附属病院	岐阜大学医学部附属病院がんセンター がん医療に携わる医師、薬剤師、放射線技師、看護師、その他	岐阜県内の病院でがん医療に携わる医師、薬剤師、放射線技師、看護師、その他	地域におけるがん診療連携の円滑な実施を図り、質の高いがん医療の提供体制を確立する。	1.演題:放射線治療・化学療法に関するレクチャー 2.演題:血液感染症内科の症例検討「気道閉塞のリスクが生じた縦隔原発高悪性リンパ腫」	5	67	
	岐阜大学医学部附属病院					○	H29年11月29日～1日間	岐阜県院内がん登録勉強会	岐阜大学医学部附属病院	岐阜県がん診療連携拠点病院協議会がん情報専門部会	岐阜県内の院内がん登録実施医療機関の実務者	院内がん登録実施施設の実務者の個々のスキルアップを目的と、がん登録勉強会を毎年開催し、岐阜県全体の院内がん登録の登録精度向上を目指す。	テーマ:肺癌・大腸癌について ～疫学・解剖・病理・治療法まで幅広い知識の習得を目指して～	10	24	
	岐阜大学医学部附属病院					○	H29年9月8日～H30年2月9日～2日間	QGISを利用したがん登録データ分析研修会	岐阜大学医学部附属病院	岐阜県がん診療連携拠点病院協議会がん情報専門部会	岐阜県がん診療連携拠点病院がん登録実務担当者 岐阜県がん登録室全国がん登録実務担当者 岐阜県がん情報センター員	地理情報システム「QGIS」を用いて視覚効果の高い地図資料を作成することを習得することにより、がん登録データの患者の傾向、受領動向の集約等の分析スキルを向上させ、地域の方々へがんに関する情報をわかりやすく提供することを目的とする。	QGISを利用したがん登録データ分析研修会 1. 医療圏ポリゴンと医療圏別罹患数データのテブ結合と表示 2. 病院施設の住所データを用いたアドレスマッチによる点データの作成・表示 3. 複数データ(グラフ等)を組み合わせた統計地図作成方法やその活用方法の習得	6	24	
	岐阜大学医学部附属病院					○	H29年7月1日～1日間	岐阜県がん相談員研修会	高山赤十字病院	岐阜県がん診療連携拠点病院協議会患者相談専門部会	岐阜県内の病院でがん相談に携わる医師、看護師、ソーシャルワーカー、事務などの医療関係者	病院におけるがん相談の職務の遂行に必要な知識、技能等を深め、がん相談員の質の向上に資することを目的とする。	1.岐阜県のがん対策 2.当院における乳房再建の取り組み 3.乳がん患者の意思決定支援～真のニーズと価値観を引き出すために～ 4.化学療法の副作用に対する脱毛ケアについて	15	67	
	岐阜大学医学部附属病院					○	H29年7月27日～1日間	岐阜県がん相談員実務者研修会	岐阜大学医学部附属病院	岐阜県がん診療連携拠点病院協議会患者相談専門部会	岐阜県がん診療連携拠点病院がん相談支援センター相談実務者	がん診療連携拠点病院におけるがん相談の職務の遂行に必要な知識、技能等を深め、がん相談員の質の向上に資することを目的とする。	1.講義:心理的側面から相談者をアセスメントする方法を学ぶ 2.グループワーク(カウンセリングのスキルを得る) 3.質疑応答	6	12	
	岐阜大学医学部附属病院					○	H29年7月22日～2日間	ELNEC-Jコアカリキュラム看護師教育プログラム	岐阜県総合医療センター	岐阜県がん診療連携拠点病院協議会教育研修専門部会	日本看護協会のクリニカルラダーIIIに相当し、患者の看取りのケアにたずさわる看護師	県内の看護師がエンド・オブ・ライフ・ケアを習得することにより、看護の質のベースアップを図る。	モジュール1 エンド・オブ・ライフ・ケアにおける看護 モジュール2 痛みのマネジメント モジュール3 症状マネジメント モジュール4 エンド・オブ・ライフ・ケアにおける倫理的問題 モジュール5 エンド・オブ・ライフ・ケアにおける文化への配慮 モジュール6 コミュニケーション モジュール7 喪失・悲嘆・死別 モジュール8 臨死期のケア モジュール9 高齢者のエンド・オブ・ライフ・ケア モジュール10 質の高いエンド・オブ・ライフ・ケアの達成		33	
	岐阜大学医学部附属病院					○	H29年11月25日～1日間	End-of-Life-Care研修会	岐阜県立看護大学 岐阜大学医学部附属病院	岐阜県立看護大学 岐阜県がん診療連携拠点病院協議会教育研修部WG	ELNEC-Jコアカリキュラム受講者	A県で実施したELNEC-Jコアカリキュラム看護師教育プログラムの受講者を対象とした調査結果をもとに、「A県のEnd-of-Life-Care充実に向けた研修会」を企画・実施し評価すること	1.講義:家に帰りたいを支えるCareを倫理的視点で講義 2.グループワーク(在宅療養継続に困難をきたしている患者の事例) 3.発表		22	
24	静岡県立静岡がんセンター	○					H29年4月1日～1～2年間	医師レジデント(がん薬物療法専攻修練医)	静岡がんセンター	静岡がんセンター	卒後5年目以上の医師	がん薬物療法専門医の養成	日本臨床腫瘍学会の「がん薬物療法専門医のための研修カリキュラム」に沿って研修		1	
	静岡県立静岡がんセンター		○				H29年8月3日～1日間	緩和ケアチーム実地研修(受入)	静岡がんセンター	国	医師、看護師、薬剤師	緩和ケアチームの質の向上	実地研修	1	3	
	静岡県立静岡がんセンター			○			H29年8月～8か月間	認定看護師教育課程(認定看護師教育機関)	静岡がんセンター	静岡がんセンター	実務経験5年以上	専門性の高い看護技術の習得	講義、演習及び病院実習		58	
	静岡県立静岡がんセンター					○	H29年4月1日～1年間	多職種がん専門レジデント(薬剤師)	静岡がんセンター	静岡がんセンター	薬剤師免許取得者等	がん専門の優秀な薬剤師の養成	実際に業務に従事しながら最先端のがん医療の全体像や多職種チーム医療を学ぶ		0※28年度から2年間の受講者1名	
	静岡県立静岡がんセンター					○	H29年7月14日～1日間	がん予防教育指導者研修会	静岡がんセンター	静岡がんセンター	市町・健康福祉センター、がん相談支援センター、がん検診受診率向上の協定を締結している企業の担当者、看護師等	県内の対策型検診に係る精度管理の質の向上を図る	大腸がん検診・子宮頸がん検診の精度管理	48	65	
	静岡県立静岡がんセンター	○					H29年9月、3月～2日間	臨床腫瘍学コース(化学療法に関する回は2回)	静岡がんセンター	静岡がんセンター	全職員	医療サービス提供に関わる共通した認識・目標を醸成し、職種を超えて必要な知識・技術を習得する。	講義(抗がん剤(化学療法)、がん化学療法の看護)		54 ※2回合計	
	静岡県立静岡がんセンター		○				H29年8月24日～1日間	緩和ケアチーム実地研修(受入)	静岡がんセンター	国	医師、看護師、薬剤師、心理士	緩和ケアチームの質の向上	実地研修	1	4	
	静岡県立静岡がんセンター		○				H29年11月30日～1日間	緩和ケアチーム実地研修(受入)	静岡がんセンター	国	医師、看護師、薬剤師	緩和ケアチームの質の向上	実地研修	1	4	
	静岡県立静岡がんセンター		○				H29年8月4日～1日間	臨床腫瘍学コース(緩和ケアに関する回は1回)	静岡がんセンター	静岡がんセンター	全職員	医療サービス提供に関わる共通した認識・目標を醸成し、職種を超えて必要な知識・技術を習得する。	講義(痛みの緩和で大切なこと)		41	
	静岡県立静岡がんセンター			○	○		H29年4月1日～1年間	臨床腫瘍学コース等院内研修	静岡がんセンター	静岡がんセンター	全職員	医療サービス提供に関わる共通した認識・目標を醸成し、職種を超えて必要な知識・技術を習得する。	講義		1007	

No	施設	平成29年度に実施した研修					実施した研修会の概要について								参加施設数(施設数)	参加者数(人)
		化学療法	緩和ケアチーム	看護師	薬剤師	その他(分野)	研修開催日(H○年○月○日～○日間)	研修名	主催施設	研修企画者部署・職位	研修対象者	研修目的	研修内容(プログラムの項目等の概略)			
	静岡県立静岡がんセンター			○			H29年4月1日～2～3年間	多職種がん専門レジデント制度(看護師)	静岡がんセンター	静岡がんセンター	3年以上の臨床経験	がん専門の優秀な看護師の養成	実際に業務に従事しながら最先端のがん医療の全体像や多職種チーム医療を学ぶ。		0	
	静岡県立静岡がんセンター			○			H29年10月14日～1日間	看護師を対象とした緩和ケア研修会	静岡がんセンター	静岡がんセンター	県内に勤務する全ての看護師	県内の看護師及び緩和ケアチームの質の向上を図る	講義(症状マネジメントと看護展開)	85	189	
	静岡県立静岡がんセンター			○	○		H29年7月22日～1日間	静岡県がんのリハビリテーション研修会	静岡がんセンター	静岡がんセンター	医師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、看護師等	がん患者へのリハビリテーションの質を高めることにより、がん患者の早期社会復帰や療養生活の質の向上を図る。	講義 がんのリハビリテーション総論 がんのリハビリテーションの実際(周術期の対応、がん患者の社会復帰)	145	305	
	静岡県立静岡がんセンター			○	○		H29年12月10日～1日間	がんの医科歯科連携講習会	静岡がんセンター	静岡がんセンター	歯科医師、歯科衛生士、看護師等	支持療法を県内に普及させることにより、がん治療による患者の負担軽減を図る。がんの医科歯科連携の拡大と充実を図る。	講義 血液がん・支持療法と口腔ケア	92	148	
	静岡県立静岡がんセンター			○	○		H29年8月19日～1日間	がん専門看護研修会「がんの介護実践研修会」	静岡がんセンター	静岡がんセンター	看護師、介護福祉士等	県内のがん介護の質の向上を図る	講義 最期のときを支える介護のポイント	127	227	
	静岡県立静岡がんセンター			○			H29年7月14日～1日間	がん予防教育指導者研修会	静岡がんセンター	静岡がんセンター	市町・健康福祉センター、がん相談支援センター、がん検診受診率向上の協定を締結している企業の担当者、看護師等	県内の対策型検診に係る精度管理の質の向上を図る	大腸がん検診・子宮頸がん検診の精度管理	48	65	
	静岡県立静岡がんセンター				○		H29年7月8日～H30年1月13日～2日間	相談員を対象とした研修会(相談員ワークショップ)	静岡がんセンター	静岡がんセンター	県内外相談支援センター等で相談業務を担当する者	相談対応の質の向上	講義、グループワーク(テーマ「がん患者の最期に寄り添うために」等)		75※2回の合計	
	静岡県立静岡がんセンター				○		H29年4月1日～2～3年間	医師レジデント(医師レジデント、チーフレジデント)	静岡がんセンター	静岡がんセンター	卒後3年目以降の医師 卒後7年目以上の医師	がん専門の優秀な医師の養成	実際に業務に従事しながら最先端のがん医療の全体像や多職種チーム医療を学ぶ。		54※在籍者ベース	
	静岡県立静岡がんセンター				○		H29年4月1日～1～3年間	医師レジデント(特別修練コース(がん薬物療法を除く))	静岡がんセンター	静岡がんセンター	卒後3年以上の医師	がん専門の優秀な医師の養成	実際に業務に従事しながら最先端のがん医療の全体像や多職種チーム医療を学ぶ。		7※在籍者ベース	
	静岡県立静岡がんセンター				○		H29年4月1日～0.5～年間	医師レジデント(短期研修コース)	静岡がんセンター	静岡がんセンター	卒後3年目以降の医師	がん専門の優秀な医師の養成	実際に業務に従事しながら最先端のがん医療の全体像や多職種チーム医療を学ぶ。		7 ※在籍者ベース	
	静岡県立静岡がんセンター				○		H29年4月1日～2～3年間	歯科医師レジデント(レジデント・チーフレジデント)	静岡がんセンター	静岡がんセンター	卒後3年目以降の歯科医師 卒後5年目以降の歯科医師	がん専門の優秀な歯科医師の養成	実際に業務に従事しながら最先端のがん医療の全体像や多職種チーム医療を学ぶ。		5 ※在籍者ベース	
	静岡県立静岡がんセンター				○		H29年4月1日～2～3年間	多職種がん専門レジデント(看護師、薬剤師を除く)	静岡がんセンター	静岡がんセンター	臨床検査技師免許取得者で3年以上の臨床経験等	がん専門の優秀な者の養成	実際に業務に従事しながら最先端のがん医療の全体像や多職種チーム医療を学ぶ。		8 ※採用者ベース	
	静岡県立静岡がんセンター				○		H30年1月21日～1日間	がん患者を支える歯科衛生士のための講習会	静岡がんセンター	静岡がんセンター	歯科衛生士	支持療法を県内に普及させることにより、がん治療による患者の負担軽減を図る。	がん周術期口腔機能管理における歯科衛生士の役割 抗がん剤治療を受ける乳がん患者への口腔ケア等	77	128	
	静岡県立静岡がんセンター				○		H29年4月1日～4年間	慶應義塾大学連携大学院	静岡がんセンター、慶應義塾大学	静岡がんセンター、慶應義塾大学	医師等	がん専門家の養成	薬理学等の基礎研究の講義及び研究の遂行		2 ※入学者	
	静岡県立静岡がんセンター				○		H29年4月1日～3年間	大阪大学連携大学院	静岡がんセンター、大阪大学	静岡がんセンター、大阪大学	看護師等	がん専門家の養成	多職種チーム医療に基づく看護学		0 ※入学者	
	静岡県立静岡がんセンター				○		H29年9月9日～H29年11月25日～H30年1月20日～3日間	病理医養成研修	静岡がんセンター	静岡がんセンター(病理診断科)	医師等	病理専門医の養成	講義(「細胞診」等)		163	
	静岡県立静岡がんセンター				○		H29年9月16日～2日間	がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会	静岡がんセンター	静岡がんセンター	医師等	緩和ケアについての基本的な知識の習得	講義(「緩和ケア概論」等)およびワークショップ		14	
25	愛知県がんセンター中央病院	○					H29年9月1日～1日間	各施設におけるPDCAサイクルによる取り組み	愛知県がん診療連携協議会	愛知県がんセンター中央病院 副院長 室 圭	愛知県内の拠点病院 医師・看護師・薬剤師	PDCAサイクルを適切に運営することにより、効果的に安全活動を推進し、継続的な改善をはかる。	各施設での取り組み内容の共有	26	142	
	愛知県がんセンター中央病院	○					H30年2月2日～1日間	免疫チェックポイント阻害薬について	愛知県がん診療連携協議会	愛知県がんセンター中央病院 副院長 室 圭	愛知県内の拠点病院 医師・看護師・薬剤師	PDCAサイクルを適切に運営することにより、効果的に安全活動を推進し、継続的な改善をはかる。	各施設での取り組み内容の共有	26	127	
	愛知県がんセンター中央病院		○				H29年11月21日～1日間	緩和ケアチーム実地研修	愛知県がんセンター中央病院	緩和ケアセンター長 兼 緩和ケア部長	がん診療連携拠点病院の緩和ケアチームメンバー (医師及び看護師のチームメンバーが合同して参加)	当院の緩和ケアチームの活動・工夫を見学することで、自院における緩和ケアチームの活動に役立てる。	・緩和ケアチームの活動の実際 ・緩和ケアセンターの役割 ・緩和ケアリンクナースとの連携 ・チーム活動の見学 ・明日への課題について ・総合討論	3	9	
	愛知県がんセンター中央病院		○				H30年1月31日～1日間	緩和ケアチーム実地研修	愛知県がんセンター中央病院	緩和ケアセンター長 兼 緩和ケア部長	がん診療連携拠点病院の緩和ケアチームメンバー (医師及び看護師のチームメンバーが合同して参加)	当院の緩和ケアチームの活動・工夫を見学することで、自院における緩和ケアチームの活動に役立てる。	・緩和ケアチームの活動の実際 ・緩和ケアセンターの役割 ・緩和ケアリンクナースとの連携 ・チーム活動の見学 ・明日への課題について ・総合討論	2	8	
	愛知県がんセンター中央病院		○				H30年1月11日～1日間	緩和ケアチーム実地研修	愛知県がんセンター中央病院	緩和ケアセンター長 兼 緩和ケア部長	がん診療連携拠点病院の緩和ケアチームメンバー (医師及び看護師のチームメンバーが合同して参加)	当院の緩和ケアチームの活動・工夫を見学することで、自院における緩和ケアチームの活動に役立てる。	・緩和ケアチームの活動の実際 ・緩和ケアセンターの役割 ・緩和ケアリンクナースとの連携 ・チーム活動の見学 ・明日への課題について ・総合討論	3	10	

No	施設	平成29年度に実施した研修					実施した研修会の概要について								参加施設数(施設数)	参加者数(人)
		化学療法	緩和ケアチーム	看護師	薬剤師	その他(分野)	研修開催日(H○年○月○日～○日間)	研修名	主催施設	研修企画者部署・職位	研修対象者	研修目的	研修内容(プログラムの項目等の概略)			
	愛知県がんセンター中央病院		○				H29年12月26日～1日間	緩和ケアチーム実地研修	愛知県がんセンター中央病院	緩和ケアセンター長 兼緩和ケア部長	がん診療連携拠点病院の緩和ケアチームメンバー(医師及び看護師のチームメンバーが合同して参加)	当院の緩和ケアチームの活動・工夫を見学することで、自院における緩和ケアチームの活動に役立てる。	・緩和ケアチームの活動の実際 ・緩和ケアセンターの役割 ・緩和ケアリンクナースとの連携 ・チーム活動の見学 ・明日への課題について ・総合討論	2	6	
	愛知県がんセンター中央病院		○				H29年12月19日～1日間	緩和ケアチーム実地研修	愛知県がんセンター中央病院	緩和ケアセンター長 兼緩和ケア部長	がん診療連携拠点病院の緩和ケアチームメンバー(医師及び看護師のチームメンバーが合同して参加)	当院の緩和ケアチームの活動・工夫を見学することで、自院における緩和ケアチームの活動に役立てる。	・緩和ケアチームの活動の実際 ・緩和ケアセンターの役割 ・緩和ケアリンクナースとの連携 ・チーム活動の見学 ・明日への課題について ・総合討論	2	6	
	愛知県がんセンター中央病院			○			H29年7月31日～H29年8月28日～2日間	がんジェネラリスト研修 放射線療法看護①	愛知県がんセンター中央病院	看護部 教育担当副看護部長 山崎祥子	愛知県がんセンター中央病院のジェネラリスト及び愛知県内のがん診療連携拠点病院のジェネラリスト	愛知県内のがん専門病院やがん診療連携拠点病院のジェネラリストが、知識や技術を習得し、臨床の場での活用によってより豊かで質の高い看護実践ができる。目的:放射線治療の目的・方法・治療の流れが理解できる。主な急性有害事象のアセスメントとケアに必要な知識を習得し、実践に活かすことができる。	1日目 講義:放射線治療の実際 講義:放射線治療の概要 2日目 講義:有害事象に対する対処方法	18	75	
	愛知県がんセンター中央病院			○			H29年9月25日～H29年10月28日～2日間	がんジェネラリスト研修 放射線療法看護②	愛知県がんセンター中央病院	看護部 教育担当副看護部長 山崎祥子	当院と愛知県内のがん診療連携拠点病院のジェネラリスト	愛知県内のがん専門病院やがん診療連携拠点病院のジェネラリストが、知識や技術を習得し、臨床の場での活用により豊かで質の高い看護実践ができる。目的:安全活動安楽に治療完遂するための看護支援が理解できる。	1日目 講義:急性有害事象に対するケア・対処方法② 2日目 晩期有害事象に対するケア・対処方法 治療過程に沿ったアセスメント	13	44	
	愛知県がんセンター中央病院			○			H29年11月8日～H29年11月24日～2日間	がんジェネラリスト研修 化学療法看護コース③	愛知県がんセンター中央病院	看護部 教育担当副看護部長 山崎祥子	当院と愛知県内のがん診療連携拠点病院のジェネラリスト	愛知県内のがん専門病院やがん診療連携拠点病院のジェネラリストが、知識や技術を習得し、臨床の場での活用によってより豊かで質の高い看護実践ができる。1)がん化学療法に伴う社会的・心理的問題について考えることができる 2)抗がん薬の臨床試験について習得した知識を実践に活用できる。	講義と演習 講義:アピランスケア 講義:妊孕性 講義:患者サポート体制 講義:臨床試験	18	75	
	愛知県がんセンター中央病院			○			H29年11月27日～	がんジェネラリスト研修 放射線療法看護③	愛知県がんセンター中央病院	看護部 教育担当副看護部長 山崎祥子	当院と愛知県内のがん診療連携拠点病院のジェネラリスト	愛知県内のがん専門病院やがん診療連携拠点病院のジェネラリストが、知識や技術を習得し、臨床の場での活用により豊かで質の高い看護実践ができる。目的:有害事象を予測し、個別性のあるケアや教育に活かすことができる。	講義:看護視点での放射線治療計画の理解	9	25	
	愛知県がんセンター中央病院			○			H29年12月21日～H29年12月22日～2日間	がんジェネラリスト研修 緩和ケアコース③	愛知県がんセンター中央病院	看護部 教育担当副看護部長 山崎祥子	当院と愛知県内のがん診療連携拠点病院のジェネラリスト	愛知県内のがん診療連携拠点病院のジェネラリストが、知識や技術を習得し、臨床の場での活用によってより豊かで質の高い看護実践ができる。1)がん患者と家族をケアの対象とし、意思決定支援、アドバンスケアプランニングができる。	緩和ケアに必要な専門知識を理解し、科学的な根拠に基づいた技術を用いた看護実践ができ、実践モデルになれる。目標:がん患者と家族をケアの対象とし、意思決定支援、アドバンスケアプランニングができる。 講義:アドバンスケアプランニング 演習:アドバンスケアプランニングについて、グループワーク	14	53	
	愛知県がんセンター中央病院			○			H29年10月14日～1日間	平成29年度愛知県がん診療連携拠点病院薬剤師研修会	愛知県がんセンター中央病院	薬剤部 部長 水野靖也	地域がん診療拠点病院薬剤師 県内医療施設のがん専門薬剤師、がん薬物療法認定薬剤師	薬剤師が知っておくべき画像読影の基礎を学ぶ。さらに参加者が得た知識を自院で他の薬剤師に伝達することにより、がん診療拠点病院の薬剤師のレベルアップに寄与する。	①講義「薬剤師も知っておくべき読影のポイント(胸部)」 ②グループワーク ③講義「薬剤師も知っておくべき読影のポイント(腹部)」 ④グループワーク ⑤アンケート記入	20	31	
	愛知県がんセンター中央病院			○			H30年1月18日～1日間	平成29年度がん診療連携拠点病院臨床検査技師研修会	愛知県がんセンター中央病院	臨床検査部 部長 谷田部 恭	愛知県内がん拠点病院およびその他の施設に従事する臨床検査技師	がん診療における最近の知見や技術の紹介および臨床検査技術の進歩等を愛知県下の拠点病院に勤務する臨床検査技師に共有させることを目的とする。	コメディカル部門における精度管理の状況 1.放射線技師の精度管理について 2.JCI受審における検査室の取り組み 3.病理検査手順施設間相互チェックの試み	29	40	
	愛知県がんセンター中央病院			○			H29年7月14日～1日間	平成29年度第2回院内がん登録研修会	愛知県がんセンター中央病院	医療情報管理部・主査 仲村逸郎	愛知県内の院内がん登録実施施設または今後実施を検討している施設	県内の院内がん登録における精度向上	食道がんについて	23	35	
	愛知県がんセンター中央病院			○			H29年9月26日～1日間	平成29年度第3回院内がん登録研修会	愛知県がんセンター中央病院	医療情報管理部・主査 仲村逸郎	愛知県内の院内がん登録実施施設または今後実施を検討している施設	県内の院内がん登録における精度向上	子宮がん(頸部・体部)、卵巣がんについて	23	33	
	愛知県がんセンター中央病院			○			H29年12月9日～1日間	平成29年度院内がん登録臨時研修会	愛知県がんセンター中央病院	医療情報管理部・主査 仲村逸郎	愛知県内の院内がん登録実施施設または今後実施を検討している施設	県内の院内がん登録における精度向上	UICC第8版について	79	154	
	愛知県がんセンター中央病院			○			H30年2月16日～1日間	平成29年度第4回院内がん登録臨時研修会	愛知県がんセンター中央病院	医療情報管理部・主査 仲村逸郎	愛知県内の院内がん登録実施施設または今後実施を検討している施設	県内の院内がん登録における精度向上	愛知のがん登録について。軟部組織・骨組織のがんについて	41	57	
26	三重大学医学部附属病院	○					H29年9月11日～5日間	三重県がんにおける質の高い看護師育成研修	三重大学医学部附属病院		看護師	三重県がんにおける質の高い看護師育成	化学療法以外の緩和治療、放射線治療なども含む		16	
	三重大学医学部附属病院		○				H30年1月8日～1日間	平成29年度三重大学緩和ケアフォローアップ研修会	三重大学医学部附属病院	がんセンター緩和医療部 がんセンター 緩和ケアセンター助教 松原貴子	緩和ケア基本研修会を修了した医療者 2. 医師(緩和ケア基本研修会を修了した医師)を含む多職種(歯科医師、看護師、薬剤師、栄養士、ケアマネージャー、MSW、リハビリ関連職など)からなるチーム	・講義やグループワークによりEnd of Life Care に関するメッセージや知識・技術の習得 ・上記を、多職種チームで学ぶことを通じて、施設における「多職種チームによる協働」のあり方を習得 ・地域で緩和ケアを提供している人材・施設が集合することによる関係構築	緩和ケア基本研修会の内容の不足部分を補うことを目的として開発された「追加モジュール」を使用 ・講義:「倦怠感」「輸液と栄養」 ・グループワーク「苦痛緩和のための鎮静」「死が近づいたとき」 ・意思決定の支援(治療・ケアのゴールを話し合う、アドバンスケア・プランニング)	18	58	

No	施設	平成29年度に実施した研修					実施した研修会の概要について								参加施設数(施設数)	参加者数(人)
		化学療法	緩和ケアチーム	看護師	薬剤師	その他(分野)	研修開催日(H○年○月○日～○日間)	研修名	主催施設	研修企画者部署・職位	研修対象者	研修目的	研修内容(プログラムの項目等の概略)			
	三重大学医学部附属病院				○		H29年8月6日～1日間	平成29年度第1回がん薬物療法における薬業連携研修会	三重大学医学部附属病院	三重大学医学部附属病院・薬剤部・教授、准教授、薬剤主任	保険薬局薬剤師、病院薬剤師	三重大学医学部附属病院では、2015年5月より、院外処方箋の備考欄に化学療法レジメン名を表記しており、この情報を患者指導に有効活用し薬業連携を深めるため。	1) 当院でのがん薬業連携に関する取り組み(30分) 三重大学医学部附属病院 薬剤部 教授・薬剤部長 奥田 真弘 2) がん薬物療法における処方意図と処方監査のポイント(1-1)レジメンの院外処方箋への印字を活かすため(45分) - 胃がん治療患者への処方箋を例に - 三重大学医学部附属病院薬剤部 がん専門薬剤師 日置 三紀 (1-2) 胃がんの治療における病院薬剤師の介入(35分) 三重大学医学部附属病院薬剤部 がん専門薬剤師 山田 真帆 3) 保険薬局薬剤師に知ってほしい、胃がん薬物療法(70分) 三重大学医学部附属病院 消化管・小児外科 助教 吉山 繁幸 先生	不明	123	
	三重大学医学部附属病院				○		H29年9月24日～1日間	医科歯科連携推進人材養成研修会	三重大学歯科口腔外科、三重大学がんセンター、伊勢赤十字病院歯科口腔外科部長、田所泰・三重県歯科医師会・会長	新井直也・三重大学歯科口腔外科・教授、中瀬一則・三重大学がんセンター・センター長、野村城二・伊勢赤十字病院歯科口腔外科部長、田所泰・三重県歯科医師会・会長	医師、歯科医師、歯科衛生士、薬剤師、看護師	がん治療時の口腔ケアの重要性を認識し、院内での多職種連携である医科歯科連携を効果的に推進できる人材を養成することを目的としている。	Opening Remarks(13:00～13:15) 三重大学医学部附属病院 がんセンター長 中瀬 一則 三重県健康福祉部 医療対策局 局長 松田 克巳 三重大学大学院医学系研究科 口腔・顎顔面外科学 教授 新井直也 一般演題(13:15～13:45) 座長:三重県歯科衛生士会 会長 近田 紀子 ①「がん化学療法における薬剤師の関わり」 伊勢赤十字病院 薬剤部 化学療法課 中西 由衣 ②「がん集学的治療の一貫としての、がん在宅療養支援入院プログラムの導入」 伊賀市立上野総合市民病院 栄養管理課 管理栄養士 白井由美 教育講演(13:45～14:25) 座長:三重県歯科医師会 理事 蛭川 幸史 「固形腫瘍に対する薬物療法」 三重大学医学部附属病院 外来化学療法部 部長 水野 聡朗 特別講演(14:40～15:40) 座長 三重大学大学院医学系研究科口腔・顎顔面外科学 教授 新井直也 「がん化学療法時の口腔管理の意義と実際」 岡山大学病院 医療支援歯科治療部 部長 曾我 賢彦 Closing Remarks(15:40～15:45) 三重県歯科医師会 会長 田所 泰	45	108	
	三重大学医学部附属病院			○			H29年7月7日～0.5日間	平成28年度三重県がんにおける質の高い看護師育成研修フォローアップ研修	三重県 事業委託先:三重大学医学部附属病院	看護師・緩和ケアセンター 看護師長(がん看護専門看護師)	平成28年度三重県がんにおける質の高い看護師育成研修修了者	研修で得た学びをいかし自部署での課題に取り組み、その内容と成果を共有する	研修終了時に、研修で得た学びをいかし、自部署の課題解決にむけた計画を立てる。 研修終了8ヶ月後に取り組みの内容と成果についてパワーポイントを用いて1人15分程度で発表し意見交換を行う。	11	11	
	三重大学医学部附属病院			○			H29年7月21日～1日間	がん患者の意思決定支援～そのひとらしく生きることを支える～研修	三重大学医学部附属病院がんセンター	看護師部・緩和ケアセンター 看護師長(がん看護専門看護師)	がん看護の経験がある看護師	がん患者および家族への理解を深め、看護実践に活かす	意思決定支援についての講義90分、 意思決定場面のシナリオをもとにしたロールプレイ100分、 参加者が体験した意思決定支援の事例検討90分	18	34	
	三重大学医学部附属病院			○			H29年9月11日～38日間	平成29年度三重県がんにおける質の高い看護師育成研修	三重県 事業委託先:三重大学医学部附属病院	看護師部・緩和ケアセンター 看護師長(がん看護専門看護師)	臨床経験5年以上でがん看護の経験があり、かつ現在がん看護に携わっている看護師。主体的に学習する意欲があり、研修終了後にはリーダーシップを発揮して自施設におけるがん看護の質の向上に取り組める看護師	集学的がん治療におけるがん看護の充実を目指し、専門知識の修得ならびに質の高い看護実践能力の向上を図る	講義と演習、実習で構成され、実習中では研修生と研修担当で毎日1時間のカンファレンスを行い、研修生の自主性を養うと共に講義で得た知識を臨床での活用に繋ぐための時間となるように計画している。研修終了時は、実習中に受け持った患者に提供した看護を振り返り、研修担当者の指導のもとにケースレポートにまとめ、発表を行っている。	7	7	
	三重大学医学部附属病院				○		H30年1月28日～1日間	平成29年度第1回がん薬物療法における薬業連携研修会	三重大学医学部附属病院	三重大学医学部附属病院・薬剤部・教授、准教授、薬剤主任	保険薬局薬剤師、病院薬剤師	三重大学医学部附属病院では、2015年5月より、院外処方箋の備考欄に化学療法レジメン名を表記しており、この情報を患者指導に有効活用し薬業連携を深めるため。	1) 当院でのがん薬業連携に関する取り組み(30分)口 三重大学医学部附属病院 薬剤部 教授・薬剤部長 奥田 真弘 2) がん薬物療法における処方意図と処方監査のポイント(1-1)レジメンと臨床検査値の院外処方箋への印字を活かすために(45分) 三重大学医学部附属病院薬剤部 がん専門薬剤師 日置 三紀 (1-2) 乳がんの治療における病院薬剤師の介入-症例-(仮)(35分) 三重大学医学部附属病院薬剤部 11階病棟担当薬剤師 佐藤 亮 3) 保険薬局薬剤師に知ってほしい、乳がん薬物療法(仮)(60分) 三重大学医学部附属病院 乳腺センター副センター長・腫瘍内科助教 齋藤 佳菜子 先生	不明	108	
27	滋賀県立総合病院		○				H29年9月9日～1日間	第1回滋賀県緩和ケアチーム研修会	滋賀県立総合病院	緩和ケア科 科長	がん診療連携拠点病院と支援病院の緩和ケアチームに所属する医師、看護師、薬剤師、MSW(各施設4名まで)	滋賀県内の緩和ケアチームの活動の質向上を通して、県内のがん患者とその家族が苦痛なく、質の高い療養生活が過ごせるような緩和ケアの提供体制を整備すること。	緩和ケアの行政の計画(講義) 緩和ケアチームの機能と役割(講義) ワールドカフェの進め方(講義) 自施設の課題と解決策の共有(グループワーク) チームの課題への解決策(ワールドカフェ) 課題の解決策の再検討(グループワーク) 成人病センター緩和ケアチームの現状と課題(講義)	7	28	
	滋賀県立総合病院		○				H29年7月1日～1日間	地域におけるがん化学療法看護研修	滋賀県立総合病院	外来・主査・がん化学療法認定看護師	各医療機関の外来・病棟等でがん化学療法を受ける患者・家族にがん化学療法看護を実践している看護師	滋賀県内のがん化学療法看護に携わる看護師に対して、経口・点滴 抗がん薬療法に対する曝露対策と、がん化学療法を受ける患者・家族のセルフケア支援について知識を深め、各施設におけるがん化学療法看護を実践することを目的に開催した。	1. がん薬物療法の基礎知識の確認 2. がん薬物療法の種類と作用・有害事象・有害事象の判定基準 3. 曝露対策、ガイドラインと実際 4. がん患者・家族の社会的支援・意思決定支援について 5. がん患者・家族の身体的セルフケア支援について等	12	22	
	滋賀県立総合病院				○		H29年10月13日～1日間	滋賀県がん診療連携協議会相談支援部会平成29年度がん相談支援センター相談員スキルアップ研修会	滋賀県がん診療連携協議会相談支援部会	がん専門相談員指導者等	がん診療連携拠点病院および地域がん診療連携支援病院の相談支援に携わる相談員のスキルアップを図るとともに、相談員の研修参加により施設間・相談員間の連携を強化することを目的とする。	全国および滋賀県の内職の現状と自殺対策について学ぶ 精神疾患と自殺について学ぶ ワークショップを通して自殺危機への初期介入スキルを学ぶ	12	15		
	滋賀県立総合病院				○		H29年12月8日～1日間	滋賀県がん診療連携協議会相談支援部会平成29年度がん相談支援センター相談員スキルアップ研修会	滋賀県がん診療連携協議会相談支援部会	滋賀県がん診療連携協議会相談支援部会	がん専門相談員指導者等	がん診療連携拠点病院および地域がん診療連携支援病院の相談支援に携わる相談員のスキルアップを図るとともに、相談員の研修参加により施設間・相談員間の連携を強化することを目的とする。	高齢者の特性について理解する 高齢者の特性を理解し、意思決定支援の大切さに気づくことができる 相談支援プロセスに基づいてグループワークができる グループワークに積極的に参加し、メンバーの意見を尊重する 研修での学びを相談支援に活用できる	11	13	
	滋賀県立総合病院				○		H29年5月25日～5日間	緩和ケアミニ講座	滋賀県立総合病院	緩和ケアセンター副センター長 吉田智美	主に二次医療圏内の医療従事者	地域全体の「切れ目のない緩和ケア」について考える。	年間5回開催(別紙参照)	19	のべ93	
	滋賀県立総合病院				○		H29年5月13日～3日間	滋賀県立成人センター平成29年度 看護師の対する緩和ケア研修	滋賀県立総合病院	緩和ケアセンター副センター長 吉田智美	県内 がん看護に関心のある看護師等	都道府県がん診療連携拠点病院として、がん医療に携わる看護職に対して、全国で統一された研修プログラムを活用し、がん対策推進計画で推奨される診断の時期からの緩和ケア(がん看護)の充実を図るために、看護師等による県内の緩和ケアの質向上を図ることを目的として、標記研修会を開催する。	別添資料(チラシ)のとおり 13項目	12	のべ119(院内73名・院外46名)全3回出席者24名(含む院内がんリンクナース13名)には総長・病院長名での修了証書授与	

No	施設	平成29年度に実施した研修					実施した研修会の概要について									参加施設数(施設数)	参加者数(人)
		化学療法	緩和ケアチーム	看護師	薬剤師	その他(分野)	研修開催日(H○年○月○日～○日間)	研修名	主催施設	研修企画者 部署・職位	研修対象者	研修目的	研修内容(プログラムの項目等の概略)				
	滋賀県立総合病院					○	H29年10月31日～1日間	第3回滋賀県緩和ケア病棟意見交換会	滋賀県立総合病院	緩和ケアセンター副センター長 吉田智美	県内各緩和ケア病棟病棟長等	緩和ケア病棟における現状、課題について病院間で意見交換を行う機会を設け、県全体の緩和ケアの質の向上に資することを目的とする。	実施時間:16時～17時半(90分) 事前に課題等について事前照会し、資料として当日配布 日程概要:1.挨拶(当院緩和ケア科科長)、2.各職種別グループでの意見交換、3.各グループより発表、4.閉会あいさつ	4	13		
28	京都府立医科大学附属病院	○					H29年7月15日～1日間	呼吸器アドバンスセミナー	京都府立医科大学附属病院	呼吸器内科	医師、歯科医師、看護師、薬剤師	がん化学療法等呼吸器診療のスキルアップのため	・肺がん診療のアプローチからガイドラインについて ・進行期薬物療法の変遷 等				
	京都府立医科大学附属病院					○	H29年5月12日～27日間	緩和ケアを推進する看護師養成プログラム	京都府立医科大学附属病院		京都府内の病院、訪問看護ステーション	がんと診断された時から、患者の療養場所に関わらず、質の高い緩和ケアが実践でき、かつ緩和ケアの教育を行う看護師を育成し、がん治療における緩和ケアの充実、終末期医療における緩和ケアの充実を行うことにより、府内各地域で暮らすがん患者・家族のQOL・QODの向上を図る。	【講義(50時間)】 附属病院看護部研修 組織分析:6時間 ELNEC-Jコアカリキュラム看護教育:16時間 附属病院がん看護グループ主催 がん看護講座:5時間 緩和ケアレベルアップ講座:15時間 大学院保健看護学研究所 看護倫理:8時間 【実習・演習(78時間)】 実習 緩和ケア病棟・訪問看護ステーション:64時間 化学療法センター:8時間 演習 緩和ケアチームのミーティングに参加:2時間 実践報告会:4時間	6	6		
	京都府立医科大学附属病院					○	H29年9月9日～2日間	京都府緩和ケア部会ELNEC-Jコアカリキュラム看護師研修プログラム	京都府がん医療戦略推進会議 緩和ケア部会	京都府緩和ケア部会ELNEC-Jコアカリキュラム看護師研修プログラム	京都府内の施設に勤務する看護師 ①がん看護に3年以上携わっている看護師 ②研修終了後のアンケートに御協力いただける方	質の高いエンド・オブ・ライフ・ケアを提供するために、必要な基本的知識を学び、看護師の役割について考える	エンド・オブ・ライフ・ケアにおける看護 痛みのマネジメント 症状マネジメントの事例検討 エンド・オブ・ライフ・ケアにおける倫理的問題 エンド・オブ・ライフ・ケアにおける文化への配慮 まとめと評価 コミュニケーション 喪失・悲嘆・死別 コミュニケーションロールプレイ 臨死期のケア 高齢者のエンド・オブ・ライフ・ケア 質の高いエンド・オブ・ライフ・ケアの達成	39	53		
	京都府立医科大学附属病院					○	H29年10月13日～	がん看護研修会	京都府立医科大学がん征圧センター・がん看護推進センター	がん看護推進センター	院内・院外の全職種、一般		「がん患者のACPIにおける看護師の役割」 京都大学医学部附属病院 看護部 がん看護専門看護師 大内紗也子 京都府立医科大学附属病院 看護部 がん看護専門看護師 吉岡とも子		206		
	京都府立医科大学附属病院					○	H30年3月10日～	がん看護研修会(緩和ケアを推進する看護師養成プログラム実践報告会と共催)	京都府立医科大学がん征圧センター・がん看護推進センター	がん看護推進センター	院内・院外の全職種、一般		「認知症と共に生きる人の理解とケアの基本」 京都府立医科大学附属病院 看護部 認知看護認定看護師 安里智洋		85		
	京都府立医科大学附属病院					○	H30年3月22日～	薬剤師のためのイブニングセミナー(座学)	京都府立医科大学附属病院 薬剤部(京都府薬剤師会共催)	京都府立医科大学附属病院薬剤部・薬剤部長	病院薬剤師・薬局薬剤師・薬学部学生	京都府立医科大学附属病院薬剤部では2015年度より、年に6回、「薬剤師のためのイブニングセミナー」を開催しており、そのうち1回以上は「がん」をテーマにした研修会にしている。 京都府下の病院薬剤師、薬局薬剤師に広く案内するために京都府薬剤師会と連携するとともに、会場も京都府立医科大学附属北部医療センターにも中継し、より多くの施設・薬剤師に参加を呼び掛けている。	「免疫チェックポイント阻害薬のリスク管理」 key Word: がん免疫療法の歴史と仕組み がんによる免疫抑制とその解除 注意すべき副作用とその対策	35	69		
	京都府立医科大学附属病院					○	H30年3月29日～1日間	平成29年度 第7回京都府がん医療戦略推進会議 相談支援部会 研修会	京都府がん医療戦略推進会議相談支援部会	京都山城総合医療センター 地域医療連携室 主任 中嶋 庸介 京都市立病院 地域医療連携室 大原 千明 京都中部総合医療センター 副看護部長 碓井 寛子	がん相談支援業務に従事する相談員	・講義を通じて就労支援に必要な知識を習得する。 ・具体的な事例検討とグループワークを通じて、講義で得た学びを実際の相談現場において活用できるようにする。	講義①「がん患者さんの就労支援の実際」(京都府立医科大学附属病院 がん相談支援センター 清水裕美子) 講義②「がん患者の就労支援に係る制度について」(特定社会保険労務士 たかはし事務所 高橋朱美先生) 事例検討(グループワーク)全体共有(グループ発表)	15	31		
	京都府立医科大学附属病院					○	H29年5月12日～	がん看護講座	京都府立医科大学附属病院	がん看護専門看護師・認定看護師	学外・学内の全職種	「がん患者と家族の理解(がん患者の喪失と危機)を深め看護に生かす」 がん患者が危機に陥る過程や喪失体験を理解し、必要な援助を理解する。	「がん患者と家族の理解(がん患者の喪失と危機)を深め看護に生かす」	23	42(学外31人、学内11人)		
	京都府立医科大学附属病院					○	H29年6月2日～	がん看護講座	京都府立医科大学附属病院	がん看護専門看護師・認定看護師	学外・学内の全職種	がん患者にとっての症状マネジメントの重要性を理解し、必要な援助を理解する。	「がん患者の症状マネジメントの考え方を深め看護に生かす」	26	47(学外36人、学内11人)		
	京都府立医科大学附属病院					○	H29年6月16日～	がん看護講座	京都府立医科大学附属病院	がん看護専門看護師・認定看護師	学外・学内の全職種	がん患者の痛みの特徴とマネジメントについて理解する。	「がん疼痛看護 概論」	25	50(学外36人、学内14人)		
	京都府立医科大学附属病院					○	H29年6月29日～	がん看護講座	京都府立医科大学附属病院	がん看護専門看護師・認定看護師	学外・学内の全職種	「がん化学療法の概論」	「がん化学療法の概論」	24	45(学外33人、学内12人)		
	京都府立医科大学附属病院					○	H29年7月14日～	がん看護講座	京都府立医科大学附属病院	がん看護専門看護師・認定看護師	学外・学内の全職種	副作用の機序や特徴を理解し、症状を軽減、緩和できるセルフケアについて学びを深める。	「抗がん剤の副作用とその症状のマネジメント」	20	38(学外20人、学内18人)		
	京都府立医科大学附属病院					○	H29年7月21日～	がん看護講座	京都府立医科大学附属病院	がん看護専門看護師・認定看護師	学外・学内の全職種	がん患者の痛みのマネジメントの必要性と看護師の役割、痛みの病態生理、アセスメントの方法について理解する。	「がん疼痛看護 痛みのアセスメント」	29	68(学外39人、学内29人)		
	京都府立医科大学附属病院					○	H29年8月25日～	がん看護講座	京都府立医科大学附属病院	がん看護専門看護師・認定看護師	学外・学内の全職種	がん患者の痛みを緩和するために必要な薬物療法の基本と使用する薬物について理解する。	「がん疼痛看護 薬物療法1」	32	64(学外45人、学内19人)		
	京都府立医科大学附属病院					○	H29年9月7日～	がん看護講座	京都府立医科大学附属病院	がん看護専門看護師・認定看護師	学外・学内の全職種	職業性曝露の重要性、曝露対策の必要性と具体策について知る。	「抗がん剤の取り扱い 曝露対策」	26	62(学外34人、学内28人)		

No	施設	平成29年度に実施した研修					実施した研修会の概要について								参加施設数(施設数)	参加者数(人)
		化学療法	緩和ケアチーム	看護師	薬剤師	その他(分野)	研修開催日(H○年○月○日～○日間)	研修名	主催施設	研修企画者部署・職位	研修対象者	研修目的	研修内容(プログラムの項目等の概略)			
	京都府立医科大学附属病院			○			H29年10月6日～	がん看護講座	京都府立医科大学附属病院	がん看護専門看護師・認定看護師	学外・学内の全職種	がん患者の痛みを緩和するために必要な薬物療法、薬物以外の治療法、患者・家族への説明について理解する。	「がん疼痛看護 薬物療法2」	32	51(学外38人、学内13人)	
	京都府立医科大学附属病院			○			H29年10月18日～	がん看護講座	京都府立医科大学附属病院	がん看護専門看護師・認定看護師	学外・学内の全職種	放射線療法を受ける患者を理解するために必要な、放射線の作用と放射線治療の原理について理解する。	「放射線療法の種類と放射線の作用」	22	35(学外23人、学内12人)	
	京都府立医科大学附属病院			○			H29年11月10日～	がん看護講座	京都府立医科大学附属病院	がん看護専門看護師・認定看護師	学外・学内の全職種	緩和ケアの定義や概念、緩和ケアにおける看護師の役割を理解する。	「緩和ケア概論」	24	34(学外24人、学内10人)	
	京都府立医科大学附属病院			○			H29年11月15日～	がん看護講座	京都府立医科大学附属病院	がん看護専門看護師・認定看護師	学外・学内の全職種	放射線療法を受ける患者を看護するために大切なこと、中でも特に重要な有害事象の予防とケアについて理解する。	「放射線療法を受ける患者の看護・有害事象の予防とケア」	18	27(学外18人、学内9人)	
	京都府立医科大学附属病院			○			H29年12月6日～	がん看護講座	京都府立医科大学附属病院	がん看護専門看護師・認定看護師	学外・学内の全職種	がん患者に対する症状マネジメントについて理解する。	「緩和ケア 症状マネジメント」	27	31(学外27人、学内4人)	
	京都府立医科大学附属病院			○			H29年12月13日～	がん看護講座	京都府立医科大学附属病院	がん看護専門看護師・認定看護師	学外・学内の全職種	放射線被曝から患者と自分を守るための知識と方法を理解する。	「放射線防護」	11	16(学外11人、学内5人)	
	京都府立医科大学附属病院			○			H30年1月19日～	がん看護講座	京都府立医科大学附属病院	がん看護専門看護師・認定看護師	学外・学内の全職種	小児患者の痛みの特徴と、成長発達に合わせた看護師の介入方法について理解する。	「小児患者の痛みについて」	6	13(学外6人、学内7人)	
29	京都大学医学部附属病院			○			H29年10月31日～3日間	レベルアップ研修 がん看護コース	京都大学医学部附属病院	京都大学医学部附属病院 井沢知子看護師長 大内紗也子副看護師長 古谷和紀副看護師長	看護師経験5年目以上でクリニカルリーダー以上を取得している者、同等条件に該当する院外の看護師	がん患者に対する看護ケアの質向上のために、院内及び関連施設のがん看護シナリオ・看護師の臨床実践能力を養う。	がん治療と診断時からの緩和ケアの両側面に着目し、国内外で広く行われている「ELNEC-Jコアカリキュラム看護師教育プログラム」と、日本看護協会が推奨している診断時からの緩和ケアの推進を目的とした「厚生労働省委託がん医療に携わる看護師研修」のプログラムを合わせた研修を企画し、実施した。	8	20	
	京都大学医学部附属病院			○			H29年11月22日～1日間	第2回 2025年に向けた薬剤師業務研修会 in 京都	主催: 日本化学株式会社 後援: 京都府薬剤師会 京都大学医学部附属病院 薬剤部 教授・薬剤部長 松原 和夫	京都大学医学部附属病院 薬剤部 教授・薬剤部長 松原 和夫	がん薬物療法を担う病院薬剤師及び保険薬局薬剤師	京大病院がんセンターにおけるがんチーム医療のシステムとがん薬物療法に関する知識や技術を、研修全体を通じて修得いただき、「患者とスタッフのための医療安全」に対する参加施設の取り組みをご提供の上、各々の施設の今後の対策を立案し、最終的にはH30年9月8日開催のフォローアップミーティングで達成度を評価する。	2025年問題が迫ってくる上で、地域包括ケアシステムにおいて病院・診療所・保険薬局・在宅医療の連携を如何に構築していくべきかを、先進的な取り組み事例から学ぶ。竹田総合病院 薬剤科 木本真司 先生をお招きして、「薬剤師力による地域医療への貢献 ～地域全体でがん患者を支えるために～」の演題で講演いただいた。		60	
	京都大学医学部附属病院	○			○		H29年10月31日～2日間	第39回京大病院がんセンターがんチーム医療研修 「患者とスタッフのための医療安全～分子標的薬・免疫チェックポイント阻害剤のマネージメントを中心に～」	京都大学医学部附属病院がんセンター	松本繁巳 腫瘍内科 准教授	がん薬物療法に携る医師・薬剤師・看護師の3職種チームでの参加	京大病院がんセンターにおけるがんチーム医療のシステムとがん薬物療法に関する知識や技術を、研修全体を通じて修得いただき、「患者とスタッフのための医療安全」に対する参加施設の取り組みをご提供の上、各々の施設の今後の対策を立案し、最終的にはH30年9月8日開催のフォローアップミーティングで達成度を評価する。	・新規分子標的薬、免疫チェックポイント阻害剤の副作用マネージメントにおける各職種の役割・連携についての講義 ・京大病院がんセンター施設等見学/曝露対策、投与や調製段階での安全管理のご紹介 ・がん患者の精神的・身体的リスクマネジメントの取り組み ・大腸がんユニットカンファレンス参加 ・職種別のグループワーク ・参加施設の現状評価と問題点に関して情報共有し、解決法を検討・立案 ・京大病院がんセンターの資料を参考とした、自施設用の説明文書や学習資料の作成	4	12	
	京都大学医学部附属病院	○			○		H29年11月28日～2日間	第40回京大病院がんセンターがんチーム医療研修 「患者とスタッフのための医療安全～分子標的薬・免疫チェックポイント阻害剤のマネージメントを中心に～」	京都大学医学部附属病院がんセンター	松本繁巳 腫瘍内科 准教授	がん薬物療法に携る医師・薬剤師・看護師の3職種チームでの参加	京大病院がんセンターにおけるがんチーム医療のシステムとがん薬物療法に関する知識や技術を、研修全体を通じて修得いただき、「患者とスタッフのための医療安全」に対する参加施設の取り組みをご提供の上、各々の施設の今後の対策を立案し、最終的にはH30年9月8日開催のフォローアップミーティングで達成度を評価する。	・新規分子標的薬、免疫チェックポイント阻害剤の副作用マネージメントにおける各職種の役割・連携についての講義 ・京大病院がんセンター施設等見学/曝露対策、投与や調製段階での安全管理のご紹介 ・がん患者の精神的・身体的リスクマネジメントの取り組み ・大腸がんユニットカンファレンス参加 ・職種別のグループワーク ・参加施設の現状評価と問題点に関して情報共有し、解決法を検討・立案 ・京大病院がんセンターの資料を参考とした、自施設用の説明文書や学習資料の作成	4	12	
	京都大学医学部附属病院	○			○		H29年12月12日～2日間	第41回京大病院がんセンターがんチーム医療研修 「患者とスタッフのための医療安全～分子標的薬・免疫チェックポイント阻害剤のマネージメントを中心に～」	京都大学医学部附属病院がんセンター	松本繁巳 腫瘍内科 准教授	がん薬物療法に携る医師・薬剤師・看護師の3職種チームでの参加	京大病院がんセンターにおけるがんチーム医療のシステムとがん薬物療法に関する知識や技術を、研修全体を通じて修得いただき、「患者とスタッフのための医療安全」に対する参加施設の取り組みをご提供の上、各々の施設の今後の対策を立案し、最終的にはH30年9月8日開催のフォローアップミーティングで達成度を評価する。	・新規分子標的薬、免疫チェックポイント阻害剤の副作用マネージメントにおける各職種の役割・連携についての講義 ・京大病院がんセンター施設等見学/曝露対策、投与や調製段階での安全管理のご紹介 ・がん患者の精神的・身体的リスクマネジメントの取り組み ・大腸がんユニットカンファレンス参加 ・職種別のグループワーク ・参加施設の現状評価と問題点に関して情報共有し、解決法を検討・立案 ・京大病院がんセンターの資料を参考とした、自施設用の説明文書や学習資料の作成	4	12	
	京都大学医学部附属病院	○			○		H30年1月16日～2日間	第42回京大病院がんセンターがんチーム医療研修 「患者とスタッフのための医療安全～分子標的薬・免疫チェックポイント阻害剤のマネージメントを中心に～」	京都大学医学部附属病院がんセンター	松本繁巳 腫瘍内科 准教授	がん薬物療法に携る医師・薬剤師・看護師の3職種チームでの参加	京大病院がんセンターにおけるがんチーム医療のシステムとがん薬物療法に関する知識や技術を、研修全体を通じて修得いただき、「患者とスタッフのための医療安全」に対する参加施設の取り組みをご提供の上、各々の施設の今後の対策を立案し、最終的にはH30年9月8日開催のフォローアップミーティングで達成度を評価する。	・新規分子標的薬、免疫チェックポイント阻害剤の副作用マネージメントにおける各職種の役割・連携についての講義 ・京大病院がんセンター施設等見学/曝露対策、投与や調製段階での安全管理のご紹介 ・がん患者の精神的・身体的リスクマネジメントの取り組み ・大腸がんユニットカンファレンス参加 ・職種別のグループワーク ・参加施設の現状評価と問題点に関して情報共有し、解決法を検討・立案 ・京大病院がんセンターの資料を参考とした、自施設用の説明文書や学習資料の作成	3	9	
	京都大学医学部附属病院	○			○		H30年2月6日～2日間	第43回京大病院がんセンターがんチーム医療研修 「患者とスタッフのための医療安全～分子標的薬・免疫チェックポイント阻害剤のマネージメントを中心に～」	京都大学医学部附属病院がんセンター	松本繁巳 腫瘍内科 准教授	がん薬物療法に携る医師・薬剤師・看護師の3職種チームでの参加	京大病院がんセンターにおけるがんチーム医療のシステムとがん薬物療法に関する知識や技術を、研修全体を通じて修得いただき、「患者とスタッフのための医療安全」に対する参加施設の取り組みをご提供の上、各々の施設の今後の対策を立案し、最終的にはH30年9月8日開催のフォローアップミーティングで達成度を評価する。	・新規分子標的薬、免疫チェックポイント阻害剤の副作用マネージメントにおける各職種の役割・連携についての講義 ・京大病院がんセンター施設等見学/曝露対策、投与や調製段階での安全管理のご紹介 ・がん患者の精神的・身体的リスクマネジメントの取り組み ・大腸がんユニットカンファレンス参加 ・職種別のグループワーク ・参加施設の現状評価と問題点に関して情報共有し、解決法を検討・立案 ・京大病院がんセンターの資料を参考とした、自施設用の説明文書や学習資料の作成	4	12	

No	施設	平成29年度に実施した研修					実施した研修会の概要について							参加施設数(施設数)	参加者数(人)
		化学療法	緩和ケアチーム	看護師	薬剤師	その他(分野)	研修開催日(H○年○月○日～○日間)	研修名	主催施設	研修企画者部署・職位	研修対象者	研修目的	研修内容(プログラムの項目等の概略)		
	京都大学医学部附属病院	○		○	○		H30年3月6日～2日間	第44回京大病院がんセンターがんチーム医療研修「患者とスタッフのための医療安全～分子標的薬・免疫チェックポイント阻害剤のマネジメントを中心に～」	京都大学医学部附属病院がんセンター	松本繁巳 腫瘍内科 准教授	がん薬物療法に携る医師・薬剤師・看護師の3職種チームでの参加	京大病院がんセンターにおけるがんチーム医療のシステムとがん薬物療法に関する知識や技術を、研修全体を通じて修得いただき、「患者とスタッフのための医療安全」に対する参加施設の取り組みをご提供の上、各々の施設の今後の対策を立案し、最終的にはH30年9月8日開催のフォローアップミーティングで達成度を評価する。	・新規分子標的薬、免疫チェックポイント阻害剤の副作用マネージメントにおける各職種の役割・連携についての講義 ・京大病院がんセンター施設等見学・曝露対策、投与や調製段階での安全管理のご紹介 ・がん患者の精神的・身体的リクスマネジメントの取り組み ・大腸がんユニットカンファレンス参加 ・職種別のグループワーク ・参加施設の現状評価と問題点に関して情報共有し、解決法を検討・立案 ・京大病院がんセンターの資料を参考とした、自施設用の説明文書や学習資料の作成	4	12
	京都大学医学部附属病院	○					H29年9月5日～1日間	京都府がん医療戦略推進会議 外来化学療法部会 研修会	京都大学医学部附属病院	京都府がん医療戦略推進会議 外来化学療法部会 部会長 武藤 学 (京都大学医学部附属病院 腫瘍内科 教授)	部会構成員(主に京都府内がん拠点病院の医師、看護師、薬剤師)	免疫チェックポイント阻害剤の副作用対策として京都大学医学部附属病院で構築した診療科を横断する対応体制を紹介し、各医療機関での取り組みに役立ててもらうことを目的とする。 【後日、構成員限定で動画を公開し、当日欠席者も視聴できるようにした】	免疫チェックポイント阻害剤の副作用対策について	10	34
	京都大学医学部附属病院			○			H30年1月13日～1日間	近畿ブロック小児がん拠点病院看護連合会主催小児がん看護研修	京都大学医学部附属病院	京都大学医学部附属病院 関口まゆみ看護師長、川勝和子副看護師長	小児がん看護経験1年から3年目の看護師もしくは小児がん患者にかかわる他職種	近畿ブロックの小児がん看護の専門的知識の習得をはかり看護実践能力の向上を目指すとともに、近畿ブロックの小児がん看護の連携強化をはかる	小児がん看護経験1年から3年目の看護師向けの基本的な小児がん看護(代表的な疾患と治療、家族ケア、症状マネジメント)についての知識と、京大病院としての特色でもあるがん妊孕性に関する講義、グループワークを行った。	10	33
	京都大学医学部附属病院				○		H29年9月30日～1日間	第44回京都放射線腫瘍研究会	京都大学医学部附属病院 放射線治療科	京都大学医学部附属病院 放射線治療科	全職種	多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材(ガンプロフェッショナル)養成プラン <高度がん医療を先導するがん医療人養成>	「骨転移を有する前立腺癌に対する治療戦略」「非小細胞肺癌に対する根治的放射線治療の治療成績」「深呼吸呼吸停止下照射の初期経験」「前立腺癌根治照射の評価(第一報)」「婦人科癌に対するIMRTの初期経験」「グリオーマに対する診断・治療の up to date」ほか	91	
	京都大学医学部附属病院				○		H30年3月3日～1日間	第45回京都放射線腫瘍研究会	京都大学医学部附属病院 放射線治療科	京都大学医学部附属病院 放射線治療科	全職種	多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材(ガンプロフェッショナル)養成プラン <高度がん医療を先導するがん医療人養成>	「小児AML髄外腫瘍に対する緩和照射を行った一例」「転移性脳腫瘍に対しVMATを用いたSRSの治療成績」「有痛性骨病変に対して放射線療法を行った食道癌の一例」「単発性脳転移に対して定位照射を施行後、壊死を疑った症例」ほか	90	
	京都大学医学部附属病院				○		H30年2月17日～	第1回 地域がん医療における病院-薬局-在宅の連携強化・推進に取り組む薬剤師養成コース	京都大学医学部附属病院	薬剤部 教授・薬剤部長 松原 和夫	病院薬剤師 保険薬局薬剤師 大学教員 大学院生	京都府下の地域がん医療における病院-薬局-在宅の連携強化とともに、最新のがん化学療法・緩和ケア・支持療法に関する理解を深め、より質の高い薬学的介入の普及を目指すことを目的とする。	1)メラノーマのがん薬物療法について (皮膚科学 特別研究員中嶋 千紗 先生) 2)ゲノム情報に基づく個別化医療について (腫瘍内科 特定准教授 金井 雅史 先生) 3)がん薬物療法における抗生物質の臨床薬理学的解析 (薬剤部 准教授・副薬剤部長 米澤 淳 先生)	200	
	京都大学医学部附属病院				○		H30年3月29日～1日間	平成29年度 第7回 京都府がん医療戦略推進会議 相談支援部会 研修会	京都府がん医療戦略推進会議相談支援部会	京都山城総合医療センター 地域医療連携室 主任 中嶋 庸介 京都市立病院 地域医療連携室 大原 千明 京都中部総合医療センター 副看護師長 碓井 寛子	がん相談支援業務に従事する相談員	・講義を通じて就労支援に必要な知識を習得する。 ・具体的な事例検討とグループワークを通じて、講義で得た学びを実際の相談現場において活用できるようにする。	講義①「がん患者さんの就労支援の実例」(京都府立医科大学附属病院 がん相談支援センター 清水裕美子) 講義②「がん患者の就労支援に係る制度について」(特定社会保険労務士 たかはし事務所 高橋朱美先生) 事例検討(グループワーク)/全体共有(グループ発表)	15	31
30	大阪国際がんセンター		○				H30年3月1日～1日間	緩和ケアチーム研修会	大阪国際がんセンター	飯島正平・緩和ケアセンター長	大阪府拠点病院緩和ケアチームメンバー	緩和ケアチーム研修会フォローアップ研修会	せん妄の基礎知識(講義) せん妄の誘因となったりやすい薬剤(講義) せん妄における看護師の役割(講義) 各チームでの現状の確認と今後の取り組み(グループワーク) がん医療におけるベンゾジアゼピン系薬物を再考する(講義) 総合討論	10	30
	大阪国際がんセンター			○			H29年6月15日～1日間	One-Peaceの会(大阪国際がんセンターと訪問看護ステーションとの勉強会)	大阪国際がんセンター、訪問看護ステーションしほう	看護師部、副看護師長 藤井 照代	大阪府下にある訪問看護ステーションの医療従事者	地域医療機関の医療従事者のがん治療、がん看護、がんリハビリ等の基礎知識と実践を学び、在宅療養を受ける患者、家族へのケアに活かす	テーマ:これだけは知っておきたい骨転移 内容:様々な骨転移を知りQOLを維持できるか 講師:大阪国際がんセンター リハビリテーション科 部長 大島 和也	122	
	大阪国際がんセンター				○		H29年11月18日～1日間	平成29年度 大阪府におけるがん化学療法に関わる薬剤師の地域リーダー養成研修会	大阪国際がんセンター	角川幸男 薬局 主査	大阪府の地域がん連携拠点病院に所属している中堅以上の薬剤師	都道府県がん診療連携拠点病院(17施設)とが連携し、リーダー養成研修を実施する。 さらに、受講したリーダーが地域に共有情報を還元出来るシステムを構築する。事前アンケートにて要望が多かった、「閉鎖式接続器具導入についての課題」を今回の研修テーマとした。	今年度の研修目標 地域がん診療連携拠点病院の中堅薬剤師が、自施設あるいは周辺施設に研修会を開催する方法を体験してもらう。 来年度以降の目標 地域がん診療連携拠点病院の担当者が輪番制にして今回と同様の研修会を開いていく。研修会で学んだリーダーが自施設または周辺施設の薬剤師に研修会を実際に行う。	15	15
	大阪国際がんセンター				○		H30年2月10日～	平成29年度大阪国際がんセンター-医科歯科連携フォーラム	大阪国際がんセンター	大阪国際がんセンター 総長松浦成昭(歯科部長 石橋美樹)	府内歯科医療従事者 医療従事者	がん診療における口腔支持療法の進歩により、がん診療に因る合併症率の低下、ケアの質の向上、さらに在院期間の短縮化が可能となってきた昨今、地域のかかりつけ歯科施設とがん拠点病院との連携の重要性はますます高まっている。しかしその連携方法や手段は未熟で、連携体制の構築には数多くの問題点が指摘されているため、まずは本研修で連携に関わる様々な立場の方から現状報告を頂き、情報共有することで、新たな連携方法を模索することを目的とした	周術期から緩和期までのがん口腔機能管理の現状について、大阪国際がんセンターの取り組み(病棟看護師および歯科衛生士より)、在宅看護の立場から、大阪府歯科医師会から、大学病院口腔外科医師の立場から、それぞれ講演および討論を行った	322	
	大阪国際がんセンター				○		H29年4月13日～1日間	全国がん登録実務者研修	大阪国際がんセンター	宮代 勲 がん対策センター 所長	がん登録実務者(初心者向け)	がん登録の実務についての理解を深める	講義:がん登録制度、診断日の求め方 演習:促成・原発部位・病理診断・診断根拠の求め方など	74	88
	大阪国際がんセンター				○		H29年5月26日～1日間	第1回 がん登録実務者研修会	大阪国際がんセンター	宮代 勲 がん対策センター 所長	がん登録実務者	病理医からみたがん登録のポイントについて	講義:多重がん(SEER2007)の定義について、肺がんの病期分類	84	144
	大阪国際がんセンター				○		H29年11月2日～1日間	第2回 がん登録実務者研修会	大阪国際がんセンター	宮代 勲 がん対策センター 所長	がん登録実務者	がん登録の現在を知る	講義:がん登録の現在 演習:標準登録様式2016(胃、肺、乳房、前立腺、膵臓)	95	159
	大阪国際がんセンター				○		H28年3月26日～1日間	第5回関西高精度放射線治療計画研究会	国家公務員共済組合 大手前病院	宮崎 正義 放射線腫瘍科 副診療放射線技師長	関西で放射線治療に従事する医師、診療放射線技師、医学物理士、看護師	局所制御率向上、有害事象の低減が可能である高精度放射線治療(Intensity Modulated Radiotherapy, Volumetric Modulated Arc Therapy)を普及させるための技術的手法、体制などを構築する	頭頸部癌VMATの経験、頭頸部がんVMATの計画手法、各施設の頭頸部癌の治療(症例検討(Contouring),再照射)、がん診療連携拠点病院で放射線治療装置更新は病院収益を圧排するか?	19	61

No	施設	平成29年度に実施した研修					実施した研修会の概要について							参加施設数(施設数)	参加者数(人)
		化学療法	緩和ケアチーム	看護師	薬剤師	その他(分野)	研修開催日(H○年○月○日～○日間)	研修名	主催施設	研修企画者部署・職位	研修対象者	研修目的	研修内容(プログラムの項目等の概略)		
	大阪国際がんセンター					○	H28年10月28日～1日間	がん相談員のための「就労」に関する基礎講座V	大阪府がん診療連携協議会相談支援センター部会	東山 聖彦 (部会長、大阪国際がんセンター副院長)	がん相談員、医療従事者	がん患者の就労支援、両立支援に関し、今回は事業主側の取り組みに関して企業サイド2人、がん患者サバイバー1名による講演	中外製薬、松下産業などより、企業側の就労・両立支援の取り組みなどについて講演	49	108
	大阪国際がんセンター		○	○		○	H30年3月25日～1日間	大阪府がん診療連携協議会 PDCAサイクル研修会	大阪府がん診療連携協議会相談支援センター部会・緩和ケア部会合同	東山聖彦(部会長、大阪国際がんセンター副院長)・飯島正平(部会長、大阪国際がんセンター主任部長)	緩和ケア医療従事者、がん相談員、医療従事者	大阪府がん診療連携協議会相談支援センター部会、緩和ケア部会が取り組んでいるPDCAサイクルの紹介と情報共有	1. 基調講演:がん診療の質向上に必要なPDCAサイクル確保の取り組み(国がんより) 2. 大阪府各部会のPDCAサイクルの取り組み 3. 他府県の取り組み紹介(滋賀県より)など	37	79
	大阪国際がんセンター					○	H30年2月17日～1日間	平成29年度「地域相談支援フォーラム in 近畿」	近畿6府県がん診療連携協議会相談支援・情報提供連携部会	奈良県立医科大学がん診療対策プロジェクトリーダー 長谷川正俊先生	近畿6府県がん相談員、医療従事者	「より良い相談支援のための院内連携と協働」をテーマに、1)患者や家族に、各支援部門の存在の周知及び機能の理解と促進、より効果的に利用していただくための方策について紹介、情報共有 2)患者や家族に対し、より期待に添える相談支援を行うための、院内の診療部門や支援部門間の連携と協働の在り方を紹介、情報共有	1. 基調講演 診療医からみた「がん相談支援センター」に期待すること 緩和医みだ「がん相談支援センター」に期待すること 2. 6府県における院内の連携・協働の現状報告 3. GW 院内連携・協働におけるがん相談支援センター・相談員がなすべきこととは など		134
	大阪国際がんセンター					○	H30年1月16日～1日間	大阪国際がんセンターがん専門薬剤師研修	大阪国際がんセンター	坂上 嘉浩(薬局長)	府内のがん拠点病院等の病院及び近隣保険薬局等に勤務する薬剤師など	各がん種の特異性・病態・治療法について、がん領域における最新の知見の習得、日本病院薬剤師会がん薬物療法認定薬剤師研修認定要件	放射線治療		55
	大阪国際がんセンター					○	H30年1月19日～1日間	大阪国際がんセンターがん専門薬剤師研修	大阪国際がんセンター	坂上 嘉浩(薬局長)	府内のがん拠点病院等の病院及び近隣保険薬局等に勤務する薬剤師など	各がん種の特異性・病態・治療法について、がん領域における最新の知見の習得、日本病院薬剤師会がん薬物療法認定薬剤師研修認定要件	骨・軟部肉腫		47
	大阪国際がんセンター					○	H30年1月22日～1日間	大阪国際がんセンターがん専門薬剤師研修	大阪国際がんセンター	坂上 嘉浩(薬局長)	府内のがん拠点病院等の病院及び近隣保険薬局等に勤務する薬剤師など	各がん種の特異性・病態・治療法について、がん領域における最新の知見の習得、日本病院薬剤師会がん薬物療法認定薬剤師研修認定要件	乳がん		52
	大阪国際がんセンター					○	H30年1月25日～1日間	大阪国際がんセンターがん専門薬剤師研修	大阪国際がんセンター	坂上 嘉浩(薬局長)	府内のがん拠点病院等の病院及び近隣保険薬局等に勤務する薬剤師など	各がん種の特異性・病態・治療法について、がん領域における最新の知見の習得、日本病院薬剤師会がん薬物療法認定薬剤師研修認定要件	肺がん		48
	大阪国際がんセンター					○	H30年1月26日～1日間	大阪国際がんセンターがん専門薬剤師研修	大阪国際がんセンター	坂上 嘉浩(薬局長)	府内のがん拠点病院等の病院及び近隣保険薬局等に勤務する薬剤師など	各がん種の特異性・病態・治療法について、がん領域における最新の知見の習得、日本病院薬剤師会がん薬物療法認定薬剤師研修認定要件	皮膚がん		30
	大阪国際がんセンター					○	H30年1月29日～1日間	大阪国際がんセンターがん専門薬剤師研修	大阪国際がんセンター	坂上 嘉浩(薬局長)	府内のがん拠点病院等の病院及び近隣保険薬局等に勤務する薬剤師など	各がん種の特異性・病態・治療法について、がん領域における最新の知見の習得、日本病院薬剤師会がん薬物療法認定薬剤師研修認定要件	肝臓がん		37
	大阪国際がんセンター					○	H30年1月30日～1日間	大阪国際がんセンターがん専門薬剤師研修	大阪国際がんセンター	坂上 嘉浩(薬局長)	府内のがん拠点病院等の病院及び近隣保険薬局等に勤務する薬剤師など	各がん種の特異性・病態・治療法について、がん領域における最新の知見の習得、日本病院薬剤師会がん薬物療法認定薬剤師研修認定要件	胃がん		47
	大阪国際がんセンター					○	H30年2月2日～1日間	大阪国際がんセンターがん専門薬剤師研修	大阪国際がんセンター	坂上 嘉浩(薬局長)	府内のがん拠点病院等の病院及び近隣保険薬局等に勤務する薬剤師など	各がん種の特異性・病態・治療法について、がん領域における最新の知見の習得、日本病院薬剤師会がん薬物療法認定薬剤師研修認定要件	婦人科がん		50
	大阪国際がんセンター					○	H30年2月5日～1日間	大阪国際がんセンターがん専門薬剤師研修	大阪国際がんセンター	坂上 嘉浩(薬局長)	府内のがん拠点病院等の病院及び近隣保険薬局等に勤務する薬剤師など	各がん種の特異性・病態・治療法について、がん領域における最新の知見の習得、日本病院薬剤師会がん薬物療法認定薬剤師研修認定要件	胆膵がん		41
	大阪国際がんセンター					○	H30年2月6日～1日間	大阪国際がんセンターがん専門薬剤師研修	大阪国際がんセンター	坂上 嘉浩(薬局長)	府内のがん拠点病院等の病院及び近隣保険薬局等に勤務する薬剤師など	各がん種の特異性・病態・治療法について、がん領域における最新の知見の習得、日本病院薬剤師会がん薬物療法認定薬剤師研修認定要件	大腸がん		45
	大阪国際がんセンター					○	H30年以下記載無し	大阪国際がんセンターがん専門薬剤師研修	大阪国際がんセンター	坂上 嘉浩(薬局長)	府内のがん拠点病院等の病院及び近隣保険薬局等に勤務する薬剤師など	各がん種の特異性・病態・治療法について、がん領域における最新の知見の習得、日本病院薬剤師会がん薬物療法認定薬剤師研修認定要件	がんの疼痛緩和		37
31	兵庫県立がんセンター	○					H29年9月23日～1日間	平成29年度第3回チーム医療研修会	兵庫県がん診療連携協議会(兵庫県立がんセンター)	兵庫県立がんセンター診療部 腫瘍内科 科長	県拠点病院の医師・看護師・薬剤師・MSWからなるチーム	各拠点病院での化学療法の安全かつ有効な実施に資する、チーム医療を推進する。	免疫チェックポイント阻害薬の有害事象対策をテーマに、当院の医師・看護師・薬剤師・MSWから短い講義の後、仮想症例を用いて各病院で対応についてプレゼン、ディスカッションを行った。	5	20
	兵庫県立がんセンター		○				H29年11月11日～1日間	第8回兵庫県緩和ケアチーム研修会	兵庫県がん診療連携協議会 緩和ケア部会	拠点病院緩和ケアチーム 緩和ケア部会コメンター	兵庫県下拠点病院緩和ケアチームメンバー	緩和ケアに関する知識の習得、各病院のPDCAサイクルを用いた緩和ケアの推進(ヒアレビューを含む)	予後予測について社会的苦痛への対応 PDCAサイクルで進める	27	79

No	施設	平成29年度に実施した研修					実施した研修会の概要について							参加施設数(施設数)	参加者数(人)
		化学療法	緩和ケアチーム	看護師	薬剤師	その他(分野)	研修開催日(H○年○月○日～○日間)	研修名	主催施設	研修企画者部署・職位	研修対象者	研修目的	研修内容(プログラムの項目等の概略)		
	兵庫県立がんセンター			○			H29年5月30日～9月8日 平成30年2月19日 36日間	がん看護実務研修	兵庫県立がんセンター	看護管理室・副院長兼看護部長 看護部次長 緩和ケアセンター・看護師長	1. がん看護の専門性を高めたい人 2. がん看護の経験があり、かつ、兵庫県内でがん医療に携わっている施設に勤務している人 3. 所属施設の施設長もしくは看護部長の推薦のある人	がん患者に対する看護ケアの質向上のために、県内のがん看護の均てん化の発展に資する	1. 最近のがん医療、政策、がん看護の動向(看護管理の視点)、がん細胞生物学、がん拠点病院の役割(がん登録、看護外来の役割) 2. がん手術療法(消化器、頭頸部、泌尿器科、婦人科、呼吸器)と看護 3. 緩和ケア(概論・各論) 4. がん化学療法、がん化学療法看護 5. Let's高齢者の看護、栄養管理、摂食嚥下障害患者の支援 6. せん妄(病態生理と薬理、対応策とコミュニケーション) 7. 症状のメカニズムと薬の理解、症状マネジメントとケア 8. 看護倫理、免疫チェックポイント阻害剤、遺伝性腫瘍総論、遺伝カウンセリング 9. 訪問看護師が行うEnd of Life Careの実際、退院調整・地域連携における緩和ケア 10. がん治療中のスキンケア、がん患者とコミュニケーション 11. リンパ浮腫ケアについて、放射線療法①、オンコロジックエマージェンシー 12. がん患者の心理的サポートと家族看護、診療報酬 13. 放射線療法②、放射線療法看護 14. 事例検討技法、事例検討① 15. がんと感染症看護、がんのリハビリテーション、マネジメントとリーダーシップ 16. がんサバイバーの支援、事例検討② 17. ファシリテーション 18. 事例報告 19. フォローアップ研修会 計19日間 病棟・地域・看護外来等での実習 17日間(計36日間) *36日間全て受講または、各々の講義を単発で受講できる	32	延べ 466
	兵庫県立がんセンター				○		H30年1月20日～1日間	第10回 薬剤師セミナー	兵庫県がん診療連携協議会(兵庫県立がんセンター)	兵庫県立がんセンター薬剤部 レジメン担当	薬剤師	「がん対策推進基本計画」及び「がん対策推進計画」において、質の高いがん医療体制の確保方策の1つとして、がんの専門的な知識・技能を有する医師、メディカルスタッフによるチーム医療の推進が謳われ、これを支える人材の養成が求められている。兵庫県がん診療連携協議会では、がん医療に精通した薬剤師の養成を目的とし、薬剤師セミナーを開催している。	「胃がん治療の最新の話題」及び「薬剤師からのエビデンスの発信」をテーマとした医師・薬剤師による講演。	46	172
	兵庫県立がんセンター				○		H29年11月25日～1日間	第5回 放射線セミナー	兵庫県がん診療連携協議会(事務局:兵庫県立がんセンター)	(※前院長)北播磨総合医療センター健康センター長兼がん相談支援センター長	医師、薬剤師、看護師、放射線技師、その他医療従事者、一般市民	医師、薬剤師、看護師、放射線技師など、チーム医療に関わる医療従事者の観点からセミナーを行い、医療レベルの向上と一般市民への広報活動	テーマ:前立腺がんの診断と治療—update— 第1部 診断 講演1「前立腺MRI検査で知っておきたいこと-T2WI・DWIの特徴を生かして」 講演2「知らぬが仏。早期発見・早期治療が通用しない前立腺がん画像診断の非常識」 第2部 治療 講演3「泌尿器科医が提供する最新の前立腺がん治療について～手術、薬物療法を中心に」 講演4「前立腺がんの放射線治療」	49	108
	兵庫県立がんセンター				○		H30年1月13日～1日間	検査セミナー 乳がん検査と治療 up to date	兵庫県がん診療連携協議会(公社)兵庫県臨床検査技師会	兵庫県立がんセンター検査技師長 芳賀由美 公社 兵庫県臨床検査技師会会長 中町祐司	臨床検査技師・医師・看護師・放射線技師・薬剤師・事務職・学生など	・兵庫県のがん対策を学ぶ ・知り最新の乳がんの診断と治療を学ぶ	講演1 兵庫県のがん対策 講演2 ゲノム解析に基づくがんのプレジジョンメディスンの展開 講演3 乳がんの診断と治療	50	131
32	奈良県立医科大学附属病院	○					H29年11月26日～1日間	平成29年度 奈良県がん化学療法チーム研修会 「副作用の悩み、チームで解決!」	奈良県立医科大学附属病院	神野 正敏 腫瘍センター・センター長	奈良県内のがん化学療法チーム (医師・薬剤師・看護師・医療ソーシャルワーカーがチームとして参加できる施設)	【研修のねらい】 ・がん化学療法副作用に関する困り事について情報交換し、解決のヒントを得ることができる ・各施設の多職種からなるがん化学療法チームで解決について話し合うことができる	【プログラム】 ・施設、チーム紹介 ・グループワークⅠ(チーム別:問題点の抽出・分析) ・グループワークⅡ(職種別:情報共有) ・グループワークⅢ(チーム別:計画立案) ・グループ発表・質疑応答・全体討論等	7	32
	奈良県立医科大学附属病院		○				H29年10月29日～1日間	平成29年度 奈良県緩和ケアチーム研修会 「コンサルテーションを再考する」	奈良県立医科大学附属病院	四宮 敏章 緩和ケアセンター・センター長	奈良県内の緩和ケアチーム (医師・薬剤師・看護師・地域連携担当者がチームとして参加できる施設)	【研修のねらい】 ・県内の緩和ケアチーム同士が質の高い緩和ケアを提供するための教育、討議を通して互いを高めあう	【プログラム】 ・参加施設の活動紹介 ・緩和ケアチーム交流会の報告 ・講演「緩和ケアチームのコンサルテーションとは何か」 ・講演「緩和ケアチームの専従看護師の活動」 ・ワークショップ(事例検討) ・各緩和ケアチームの今後の活動計画の立案	10	34
	奈良県立医科大学附属病院			○			H29年9月16日～1日間	平成29年度 地域におけるがん看護研修(緩和ケア編) 「看護の現場で直面する倫理について考えよう」	奈良県立医科大学附属病院	中村 由美 緩和ケアセンター・ジェネラルマネージャー	奈良県内の医療機関に勤務する看護師	・日常の現場で直面する倫理的問題への気づきを高め、問題の解決につながるヒントを得る機会となることを目的とする。	・講義 ・ワークショップ(事例検討)	13	23
	奈良県立医科大学附属病院			○			H29年9月13日～2日間	平成29年度 地域におけるがん看護研修(化学療法編) 「がん薬物療法のスキンケア」	奈良県立医科大学附属病院	木村 道子 腫瘍センター・がん化学療法看護認定看護師	・県内の医療機関、訪問看護ステーションに勤務し、がん患者に携わる看護師	・分子標的治療薬(EGFR阻害薬)で起こる皮膚、皮膚の乾燥や指先の亀裂、爪囲炎などに焦点を当てた講義・演習を行う。	・講義「EGFR阻害薬のスキンケアを知らよう」 ・演習	5	7
	奈良県立医科大学附属病院				○		H29年9月30日～1日間	平成29年度 奈良県がん化学療法薬剤師研修会 「がん化学療法による末梢神経障害対策」	奈良県立医科大学附属病院	樋野 光生 薬剤部・係長	奈良県内の病院に勤務する、がん化学療法に現在携わっているまたは今後携わる予定の薬剤師	・がん化学療法を受ける患者に信頼される薬剤師としてのスキルを身につける。	・グループワーク(事例検討) ・講義「末梢神経障害対策」	11	21
	奈良県立医科大学附属病院				○		H29年9月3日～1日間	平成29年度 第1回奈良県がん登録担当者研修会	奈良県医療政策部 奈良県立医科大学附属病院	長谷川 正俊 放射線治療・核医学科・部長	奈良県内の病院および全国がん登録指定診療所の担当者 奈良県がん対策推進協議会がん登録部会委員等	・全国がん登録担当者を対象に、全国がん登録の現状、制度の概要、入力項目の詳細などの実務的な研修を実施することで、全国がん登録へのスムーズな移行や精度向上を目指す。 ・院内がん登録については、担当者の病態についての専門知識を深めることにより、がん登録精度を高めることを目指す。	・報告事項「奈良県のがん登録データを活用したデータ分析の試みについて」 ・講演Ⅰ「高精度のがん登録データから効果的ながん対策へ」 ・講演Ⅱ「膵臓癌・胆道癌について」	36	44
	奈良県立医科大学附属病院				○		H30年2月24日～1日間	平成29年度 第2回奈良県がん登録担当者研修会	奈良県立医科大学附属病院	長谷川 正俊 放射線治療・核医学科・部長	奈良県内のがん登録実務者	・奈良県におけるがん登録関係者の業務能力の向上。	・講演Ⅰ「前立腺がんと泌尿器科全般について」 ・講演Ⅱ「前立腺がんのがん登録業務のポイントについておよび質疑応答」	20	31
33	和歌山県立医科大学附属病院	○					H30年1月27日～1日間	平成29年度きのくにがん化学療法チーム研修会	和歌山県がん診療連携協議会	和歌山県立医科大学附属病院腫瘍センター 化学療法部門	化学療法に従事している医療者(医師、看護師、薬剤師、ソーシャルワーカー等)	がん化学療法における医療の質の向上を図る	【講義】 ①肺がんの最新治療 ②胃がんの最新治療 ③胃がん、肺がん治療における副作用とその対策 ④看護指導 ⑤がんと療養生活 【ワークショップ】 ①ワークショップ(症例検討:肺がん、胃がん) ②グループ発表、オープンディスカッション	10	36
	和歌山県立医科大学附属病院			○			H29年10月28日～1日間	きのくに緩和ケアPDCAフォーラム2017	和歌山県立医科大学附属病院	和歌山県がん診療連携協議会緩和ケア・研修教育部会	県内の緩和ケアチーム又はチーム設置を検討している医療機関のメディカルスタッフ	①県内の緩和ケアチーム全体の課題、課題を発見・共有し、県全体で取り組むべき共通目標を策定する。 ②各施設ごとの緩和ケアチームが抱える問題点や課題を発見し、各チームごとの目標を策定する。 ③目標設定を行うことで緩和医療におけるPDCAサイクルの確保を目指す。	①県のがん対策担当課による「がん対策推進計画」の説明 ②講義「緩和ケアにおけるPDCAサイクルに関する取組」 ③県全体の課題、課題の発見と全体目標策定のためのワークショップ ④各施設の緩和ケアチームごとの課題、課題の発見と個別目標設定のためのワークショップ	10	32

No	施設	平成29年度に実施した研修					実施した研修会の概要について								参加施設数(施設数)	参加者数(人)
		化学療法	緩和ケアチーム	看護師	薬剤師	その他(分野)	研修開催日(H○年○月○日～○日間)	研修名	主催施設	研修企画者部署・職位	研修対象者	研修目的	研修内容(プログラムの項目等の概略)			
	和歌山県立医科大学附属病院			○			H29年7月5日～1日間	がん患者の意思決定支援	和歌山県立医科大学附属病院	緩和ケアセンター 副看護師長(がん看護専門看護師)	がん看護に興味がある看護師	がん患者の意思決定について学び、意思決定支援するために看護師に必要なスキルを学ぶ	1. 意思決定とは 2. がん患者の意思決定とは 3. 意思決定支援とは 4. 意思決定支援のために看護師に必要なもの	3	11	
	和歌山県立医科大学附属病院					○	H30年2月21日～1日間	和歌山県全国がん登録実務者研修会	和歌山県立医科大学附属病院	鶴島 正之 経理課情報管理班 主事	和歌山県の全国がん登録実務者	全国がん登録実務についての知識向上、疑問解消を目的とする。	全国がん登録についての概要、届出方法、登録マニュアルについての説明	45	49	
	和歌山県立医科大学附属病院	○					H29年7月8日～1日間	平成29年度和歌山県がん化学療法看護研修(ベーシックコース)	和歌山県立医科大学附属病院	和歌山県がん診療連携協議会化学療法部会 和歌山県立医科大学附属病院経理課 主任 小川 由紀子	がん化学療法看護に実務しており、基礎知識の習得段階である看護師	化学療法看護についての基礎知識を習得する。	講義①化学療法の概要・レジメンとは ②骨髄抑制について ③悪心嘔吐について ④便秘・下痢について ⑤脱毛について ⑥皮膚障害について ⑦心理・社会支援について ⑧曝露対策について	16	121	
	和歌山県立医科大学附属病院	○					H29年7月15日～1日間	平成29年度和歌山県がん化学療法看護研修(アドバンスコース)	和歌山県立医科大学附属病院	和歌山県がん診療連携協議会化学療法部会 和歌山県立医科大学附属病院経理課 主任 小川 由紀子	化学療法看護に実務して5年以上の経験年数のある看護師	がん化学療法の有害事象を理解し、セルフケア支援ができる能力を身につける。	講義「有害事象の種類と発生機序、リスクアセスメントについて」グループワーク 有害事象決定「悪心・嘔吐」「便秘」グループワーク 有害事象アセスメントシートの作成 講義「化学療法におけるセルフケア支援とは」	9	22	
	和歌山県立医科大学附属病院					○	H29年9月15日～1日間	和歌山県院内がん登録協議・情報交換会	和歌山県立医科大学附属病院	鶴島 正之 経理課情報管理班 主事	和歌山県内の院内がん登録実務者	院内がん登録実務についての情報提供及び知識向上、疑問解消を目的とする。	院内がん登録実務についての情報提供及び実務上の疑問点などについて協議、情報交換	9	11	
	和歌山県立医科大学附属病院			○			H29年7月1日～2日間	2017年和歌山県ELNEC-コアカリキュラム看護師教育プログラム	和歌山県立医科大学附属病院緩和ケアセンター	和歌山県立医科大学附属病院緩和ケアセンター 山田 茜(準主事)	和歌山県の病院に勤務している臨床経験3年以上の看護師かつエンド・オブ・ライフケアを実践している看護師	エンド・オブ・ライフ・ケアに携わる看護師が患者・家族に必要なケアを包括的に学ぶ	講義①エンド・オブ・ライフ・ケアにおける看護 ②痛みのマネジメント ③症状マネジメント ④エンド・オブ・ライフ・ケアにおける倫理的問題 ⑤エンド・オブ・ライフ・ケアにおける文化への配慮 ⑥コミュニケーション ⑦喪失・悲嘆・死別 ⑧高齢者のエンド・オブ・ライフ・ケア ⑨臨死期のケア ⑩質の高いエンド・オブ・ライフ・ケアの達成 ケーススタディ・発表	16	42	
34	鳥取大学医学部附属病院		○				H29年7月23日～2日間	第5回中海緩和ケア研究会	鳥取大学医学部附属病院	緩和ケアセンター長	医師・メディカルスタッフ	地域における緩和ケアの実態を把握して、今後の診療に活かすことを目的とする。	緩和ケアに関する講演・緩和ケアに関する事例報告 等	16	34	
	鳥取大学医学部附属病院			○			H29年10月23日～5日間	緩和ケアコース研修	鳥取大学医学部附属病院	看護部 看護師	臨床経験5年以上の看護師	がん患者の苦痛を理解し、苦痛を緩和するための看護を習得する	1)せん妄と抑うつ 2)消化器症状マネジメント 3)癌性疼痛マネジメント 4)緩和ケアで用いる薬剤 5)コミュニケーションスキル	9	25	
	鳥取大学医学部附属病院					○	H29年9月20日～1日間	スキルアップ研修会	鳥取大学医学部附属病院薬剤部	鳥取大学医学部附属病院薬剤部	県内薬剤師(病院、保険薬局問わず)	地域病院や保険薬局と連携して、患者さんに安全で安心な薬物療法を提供するため。近年多くの薬剤が上市されている「経口抗がん剤」の治療、副作用、患者指導を中心に。	地域で担う、がん薬物治療・患者指導の実践① 一肺がん編 講師：鳥取大学医学部附属病院 化学療法センター 坂本 智宏 先生 鳥取大学医学部附属病院 薬剤部 長谷川 一将 先生 オーガナイザー：鳥取大学医学部附属病院 薬剤部 秦 英司	不明	99	
	鳥取大学医学部附属病院					○	H29年11月11日～1日間	鳥取県地域がん診療連携拠点病院・準拠点病院 院内がん登録研修会	鳥取大学医学部附属病院	医療サービス課	県内の地域がん診療連携拠点病院並びに準じる病院のがん登録実務者	がん登録データの精度向上・実務者のスキルアップ	UICC TNM分類第8版の変更について 講義・演習	9	18	
	鳥取大学医学部附属病院		○				H29年9月3日～1日間	第4回鳥取県がん診療研修会 緩和ケア部会	鳥取大学医学部附属病院	がんセンター長	医師、メディカルスタッフ	緩和ケアにおけるPDCAサイクルを検討し、今後の実臨床に役立たせることを目的とする。	・PDCAサイクル実現のための講演 ・各病院のPDCA進捗状況、評価法、今後の行動計画の検討	7	12	
	鳥取大学医学部附属病院		○				H30年2月12日～1日間	第5回鳥取県がん診療研修会 緩和ケア部会	鳥取大学医学部附属病院	がんセンター長	医師、メディカルスタッフ	緩和ケアにおけるPDCAサイクルを検討し、今後の実臨床に役立たせることを目的とする。	・PDCAサイクル実現のための講演 ・各病院のPDCA進捗状況、評価法、今後の行動計画の検討	8	13	
	鳥取大学医学部附属病院			○			H30年6月15日～5日間	がん看護(初級)コース研修	鳥取大学医学部附属病院	看護部 看護師	院内ラダーレベル1人以上、他施設5年以上の看護師	がんに関する最新情報を基に、がん看護における基礎知識を習得する	1)がんの基礎知識 2)がん化学療法看護① 3)がん化学療法看護② 4)放射線治療看護 5)トータルケア	8	67	
	鳥取大学医学部附属病院			○			H30年6月20日～7日間	がん化学療法看護コース研修	鳥取大学医学部附属病院	看護部 看護師	2年以上の看護師	がん化学療法の主な有害事象について理解し、有害事象の予防と予測される症状に対応できる。正しい知識と技術をもって抗がん薬を取り扱うことができる。	1)がん化学療法の有害事象・薬剤の特徴 2)骨髄抑制 3)悪心・嘔吐 4)がんと栄養 5)皮膚障害・脱毛 6)便秘・下痢 7)化学療法と口腔有害事象 8)曝露対策	7	31	
	鳥取大学医学部附属病院			○			H29年5月8日～8日間	がん看護(中級)コース研修	鳥取大学医学部附属病院	看護部 看護師	院内ラダーレベル1人以上、他施設5年以上の看護師	がん看護における「包括的アセスメント」「症状マネジメント」「倫理」「コミュニケーション」を理解し、事例を用いて実践方法を学ぶことができる	1)全人的苦痛と包括的アセスメント 2)症状マネジメント 3)倫理的問題 4)コミュニケーション	1	17	
	鳥取大学医学部附属病院					○	H29年11月29日～	スキルアップ研修会	鳥取大学病院薬剤部	鳥取大学病院薬剤部	県内薬剤師(病院、保険薬局問わず)	地域病院や保険薬局と連携して、患者さんに安全で安心な薬物療法を提供するため。近年多くの薬剤が上市されている「経口抗がん剤」の治療、副作用、患者指導を中心に。	地域で担う、がん薬物治療・患者指導の実践② 一大腸がん編 講師：鳥取大学医学部附属病院 病態制御外科学 講師 蘆田 啓吾 先生 鳥取大学医学部附属病院 薬剤部 岩井 ちさと 先生 オーガナイザー：鳥取大学医学部附属病院 薬剤部 秦 英司	不明	95	
	鳥取大学医学部附属病院					○	H30年3月17日～1日間	鳥取県地域がん診療連携拠点病院・準拠点病院 院内がん登録研修会	鳥取大学医学部附属病院	医療サービス課	県内の地域がん診療連携拠点病院並びに準じる病院のがん登録実務者	がん登録データの精度向上・実務者のスキルアップ	院内がん登録におけるがん統計について講義・演習 がん統計の概要 統計解析の演習 生存率計算の概要	7	13	
35	鳥根大学医学部附属病院	○					H30年2月17日～1日間	チームで実践するがん化学療法研修会	鳥根大学医学部附属病院	外来か化学療法室・副室長	がん化学療法に従事している医療者チーム	県内のがん化学療法におけるチーム医療の質の向上を図る	症例検討およびグループワーク	3	13	

No	施設	平成29年度に実施した研修					実施した研修会の概要について								参加施設数(施設数)	参加者数(人)
		化学療法	緩和ケアチーム	看護師	薬剤師	その他(分野)	研修開催日(H○年○月○日～○日間)	研修名	主催施設	研修企画者部署・職位	研修対象者	研修目的	研修内容(プログラムの項目等の概略)			
	島根大学医学部附属病院			○			H29年5月13日～1日間	「がん看護におけるコミュニケーションスキルを磨く」～患者の感情表出を促すツールNURSEをもちいて～	島根大学医学部附属病院	看護部 緩和ケアセンター 看護師長 三吉由美子	次の要件を満たす者(1つでもよいがジェネラリストに限る) ①島根県がん看護実践に強い看護師育成研修 ②ELNEC-Jコアカリキュラム看護師教育プログラム ③島根県緩和ケアアドバイザー養成研修の終了者	がん看護における、看護師に必要な傾聴と共感のコミュニケーションを習得する	「看護に必要なコミュニケーションスキル」講義 ロールプレイの説明・各グループ内で自己紹介 ロールプレイ6回実施後、全体共有	12	30	
	島根大学医学部附属病院			○			H29年10月21日22日～2日間	ELNEC-Jコアカリキュラム看護師教育プログラム	島根大学医学部附属病院	看護部 緩和ケアセンター 看護師長 三吉由美子	看護実践において、自主的な判断で看護が提供できる看護職臨床経験3年以上の看護職(リーダー経験者)	人々へ質の高いEOLケアを提供できるように、知識・技術を習得する	Module 1: EOLケアにおける看護 Module 2: 痛みのマネジメント Module 3: 症状マネジメント Module 4: EOLケアにおける倫理的問題 Module 5: EOLケアにおける文化への配慮 Module 6: コミュニケーション - 患者の意思決定を支えるために- Module 7: 喪失・悲嘆・死別 Module 8: 臨死期のケア Module 9: 高齢者のEOLケア Module 10: 質の高いEOLケアの達成	16	36	
	島根大学医学部附属病院			○			H29年4月22日～1日間	第16回 薬剤師のためのオンコロジーセミナー	島根県病院薬剤師会/島根県薬剤師会/島根県薬剤師研修協議会	西村信弘 島根大学医学部附属病院薬剤師 准教授・副薬剤師部長	島根県病院薬剤師会 島根県薬剤師会 島根県薬剤師会(薬剤師)	島根県内の薬剤師に対し、最新の癌治療を紹介し、薬剤師がかかわるレジメン管理、服薬指導、副作用マネジメントなどについて情報共有を行い、問題点等について討議することにより、治療に対する深い理解が得られることを目的とする。また、日本病院薬剤師会のがん薬物療法認定薬剤師の取得に必要な研修単位の認定を受け、認定取得のためのサポートを行う。	【特別講演】 座長: 島根大学医学部附属病院 薬剤部 准教授・副薬剤師部長 西村信弘 「子宮頸癌における最新治療の動向」 島根大学医学部 産科婦人科学 教授 京 哲 先生	16	81	
	島根大学医学部附属病院			○			H29年11月3日～2日間	島根がんのリハビリテーション研修会	島根県立中央病院	島根がんのリハビリテーション研修会実行委員会	医師・看護師・医学療法士・作業療法士・言語聴覚士	がんのリハビリテーションに関する基礎知識と問題点の解決などをチーム医療を通じて学び、「がん患者リハビリテーションに関する施設基準の規定する研修要件を満たす。	がんのリハビリテーションの概要・がんのリハビリテーションの問題点など14講義	22	110	
36	岡山大学病院	○					H29年9月10日～1日間	がん化学療法チーム研修	岡山県がん診療連携協議会	岡山県内のがん診療連携拠点病院・地域がん診療連携推進病院において実務に携わっている4職種(医師・看護師・薬剤師・MSW)	県内のがん化学療法チームの均てん化および院内(地域)連携の推進のために、多職種連携の重要性を理解して実践できる化学療法チームの養成。	・講義「副作用マネジメント作成過程とマニュアルの提示」 ・講義「副作用マネジメントにおける各職種の役割と活動の実際の紹介」 ・グループワーク「副作用マネジメントにおける施設での現状と課題の抽出」 ・グループワーク「各職種における副作用マネジメントへの取組」 ・グループワーク「マニュアル作成に向けての計画立案」	2	8		
	岡山大学病院			○			H29年10月18日～2日間	がん化学療法看護指導者研修	岡山大学病院	岡山大学病院 腫瘍センター看護師長 西本仁美	以下の条件をすべて満たす者 ・がん化学療法看護経験年数5年以上の看護師 ・がん化学療法看護を実践し所属部署でリーダー役割を担う者または期待される者。 ・所属部署の上司の推薦があること。	がん化学療法看護の専門的知識・技術を習得し、効果的な指導方法について理解し実践できること。	「がん化学療法概論」、「抗がん薬の分類と作用メカニズム」、「症状マネジメント(副作用対策)」、「コミュニケーション/意思決定支援」、「スタッフ指導のポイント」、「チーム医療」	17	19	
	岡山大学病院			○			H29年10月28日～1日間	岡山県がん看護セミナー2017	岡山県がん診療連携協議会 看護部会	岡山県がん診療連携協議会 看護部会	県内でがん患者・家族の看護に携わっている看護師 がん看護実践経験1～5年目	がん看護に関する基礎的な知識を修得し、実践できる能力を高めること及びディスカッションを通して受講者間の交流を図ること。	講義「がん看護概論」、「サイコoncology」、「がん手術療法看護」 事例検討「がん化学療法看護」、「がん放射線療法看護」、「緩和ケア～がん性疼痛看護～」	23	53	
	岡山大学病院			○			H29年8月17日～1日間	平成29年度第1回岡山県がん相談支援センター相談員研修会	岡山県がん診療連携協議会 がん相談部会	がん相談部会がん相談員研修担当者6名(がん相談支援センターに所属する看護師及びMSW)	岡山県内のがん相談支援センターで相談業務に携わっているがん相談実務者	がん相談員が必要とする治療に関する新しい、適切な情報を学ぶことを目的に、今回は乳癌の治療に関する最新情報をテーマに開催した。	講演「乳がんの知識と治療について」 個人ワーク、グループワーク	11	35	
	岡山大学病院			○			H29年10月22日～1日間	平成29年度第2回岡山県がん相談支援センター相談員研修会	岡山県がん診療連携協議会 がん相談部会	がん相談部会がん相談員研修担当者6名(がん相談支援センターに所属する看護師及びMSW)	岡山県内のがん相談支援センターで相談業務に携わっているがん相談実務者	家族は第2の患者と言われるように、がん相談員としては患者のみならず、家族への支援も重要である。第2回の研修では、子どもをもつがん患者・家族の支援をテーマに、親の病気をどのように子どもへ伝えるか、子どもへの介入等を学ぶために研修会を開催した。	講演「子どもをもつがん患者・家族の支援」 個人ワーク、グループワーク	9	26	
	岡山大学病院			○			H30年2月3日～1日間	平成29年度第3回岡山県がん相談支援センター相談員研修会	岡山県がん診療連携協議会 がん相談部会	がん相談部会がん相談員研修担当者6名(がん相談支援センターに所属する看護師及びMSW)	岡山県内のがん相談支援センターで相談業務に携わっているがん相談実務者	がん相談員にとり面接技術は重要な研修テーマであり、今回はいかに患者・家族のニーズを引き出し、その気持ちの揺れに寄り添いながら信頼関係を構築していくことができるかをテーマに研修会を開催した。	講演「がん患者、家族、遺族の“こころ”～しなければならぬこと、してはいけないことを考える～」 個人ワーク、グループワーク	11	23	
	岡山大学病院			○			H30年3月10日～1日間	第12回 岡山県院内がん登録実務者研修会	岡山大学病院	岡山大学病院 診療情報管理士	岡山県内の院内がん登録実務者	がん登録の精度向上	「IUC TMN分類8版の採用」についての講義・演習	32	75	
	岡山大学病院			○			H30年2月16日～1日間	第7回 岡山県がん病理診断実務者研修会	岡山大学病院	柳井 広之 病理診断科教授	がん病理診断を行う医師、病理診断に関心のある医師、学生 病理診断に関心のある臨床検査技師、看護師などドメディカル	岡山県内のがんに関する病理診断の実務者を対象に、がん診断に関する知識・技術の向上を目的とするが、併せて病理診断に関心のある医師、学生等に専門知識を提供する。	講演「子宮頸がんの現況(診断・手術)」 講演「子宮頸部の病理診断」	17	61	

No	施設	平成29年度に実施した研修					実施した研修会の概要について								参加施設数(施設数)	参加者数(人)
		化学療法	緩和ケアチーム	看護師	薬剤師	その他(分野)	研修開催日(H○年○月○日～○日間)	研修名	主催施設	研修企画者部署・職位	研修対象者	研修目的	研修内容(プログラムの項目等の概略)			
37	広島大学病院		○				H29年12月23日～1日間	平成29年度 地域緩和ケア研修会	広島県緩和ケア支援センター	広島県緩和ケア支援センター長	地域在宅緩和ケアに携わる医療・介護・福祉関係者、緩和ケアチーム・緩和ケア病棟従事者、保健医療福祉行政担当者等	医療と介護の連携、在宅緩和ケアと施設緩和ケア(緩和ケアチーム、緩和ケア病棟)の連携を推進し、希望する場所で適切な緩和ケアを受けることのできる地域づくりを推進する。	○地域在宅緩和ケア推進モデル事業の概要について ・広島県緩和ケア支援センター長 本家 好文 ○地域在宅緩和ケア推進モデル事業の実践報告 ・広島市立安佐市民病院精神科 主任部長 日笠 哲 ・福山市医師会 理事 まるやまホームクリニック 院長 丸山 典良 ○講演「わが国のがん医療における地域緩和ケア連携の方向性」～地域の状況に応じた連携体制の構築を目指して～ ・国立がん研究センターがん対策情報センターがん医療支援研究部長 加藤 雅志	不明	119	
	広島大学病院		○				H30年2月17日～1日間	平成29年度 施設緩和ケア従事者研修会	広島県緩和ケア支援センター	広島県緩和ケア支援センター長	施設緩和ケア(緩和ケア病棟・緩和ケアチーム)及び地域在宅緩和ケアの業務に従事している医師、看護師、MSW、薬剤師、リハビリ職等の医療従事者	施設緩和ケア(緩和ケア病棟、緩和ケアチーム)に携わる医療従事者の横の連携を強化すると共に、施設緩和ケアの質の向上を図る。	講演「今後の緩和ケアの役割とあり方について」 ～第3期がん対策推進基本計画から～ 講師：淀川キリスト教病院 緩和医療内科 主任部長 池永 昌之	不明	97	
	広島大学病院			○			H29年5月21日～3日間	がん看護に関する看護師専門研修「緩和ケア・基本コース」	広島大学病院看護実践教育研修センター	看護部 がん看護専門看護師 横 埜 望江	がん看護の経験が3年以上ある看護師	1)緩和ケアに関する基礎的知識を習得し、実践能力を高める 2)治療の場の検討に必要な退院支援・調整の基本的知識、在宅緩和ケアについて学ぶ	講義(がん疼痛マネジメント、病状説明における支援、がん患者の精神症状、終末期の看護技術、がん患者の療養場所の検討、がん患者との対話技法)および事例検討	17	37	
	広島大学病院			○			H29年8月5日～3日間	がん看護に関する専門研修「緩和ケア・アドバンスコース」	広島大学病院看護実践教育研修センター	看護部 がん看護専門看護師 横 埜 望江	がん看護の実務経験が通算して3年以上ある看護師で、当センターが指定するがん看護・緩和ケアに関する研修を受講し、がん看護・緩和ケアについて基礎研修を修了した者	1)がん看護に関する困難事例を検討することで実践能力を高める 2)所属施設において、事例検討会のファシリテーターとしての能力を身につける 3)広島県下のがん看護に関するネットワークづくりの基盤とする	事例検討の進め方に関する講義、演習およびがん看護に関する事例検討	9	12	
	広島大学病院			○			H29年11月10日～3日間	がん看護「治療期」に関する専門研修	広島大学病院看護実践教育研修センター	看護部 がん看護専門看護師 織 田 浩子	がん看護の経験が3年以上あるもの	1)がん治療に関する基礎知識を習得し、実践に活用できる 2)がん治療を受ける患者の看護(手術療法、化学療法、放射線療法)の基礎知識と技術を習得し、実践できる	講義(がん看護概論、放射線治療の基礎、がん医療の基礎(総論)、化学療法の基礎と最近の動向、がんと栄養、精神腫瘍学、放射線治療の基礎看護、放射線治療の副作用、晚期障害の看護、がん患者の社会資源、がん治療中の症状マネジメント、化学療法の基礎看護、化学療法の副作用の看護、がん患者の意思決定支援)および事例検討、放射線治療室・化学療法室見学	9	13	
	広島大学病院				○		H30年2月7日～1日間	がんサポーターシップセミナー	広島県病院薬剤師会／都道府県がん診療連携拠点病院 全人的医療を行う高度がん専門医療人養成/小野薬品工業株式会社	広島大学病院 薬剤部 副薬剤部長 佐 伯 康之	病院薬剤師・保険薬局薬剤師	病院薬剤師・保険薬局薬剤師が、がんに関する基礎的な知識を身につける	特別講演(60分):「みんなで学ぼう制吐療法!～最新のエビデンスから考える～」愛媛大学医学部附属病院 薬剤部 薬剤主任 河添 仁先生 基調講演(30分):「ガイドラインの変更を取り入れた広島市民病院CBDC使用時の制吐レジメン」広島市立広島市民病院 薬剤部 飯田安彦先生	30	87	
	広島大学病院				○		H29年10月13日～1日間	院内がん登録実務者研修会	広島県がん診療連携協議会 院内がん登録部会	・広島大学病院 病歴管理センター 院内がん登録担当 ・広島県がん診療連携協議会 院内がん登録部会委員	・広島県内のがん診療連携拠点病院の院内がん登録実務者及び関係者 ・広島県内のがん診療連携拠点病院以外の院内がん登録を実施している施設の実務者及び、実施を検討している施設の関係者	実践的な知識及び最新情報の習得	・標準登録様式について ・尿路系腫瘍の病期分類 ・UICC TNM分類第8版について	28	60	
	広島大学病院				○		H29年7月22日～1日間	平成29年度第1回 広島県がん相談員研修会(がん相談員として意思決定支援するために～事例検討～)	広島県がん診療連携協議会 情報提供・相談支援部会	織田 浩子(広島大学病院) 札 埜 和美(広島赤十字・原爆病院)	広島県がん診療連携協議会がん相談員、広島県内がん患者団体相談員	患者が主体的に意思決定をするため、意思決定について基礎的知識を習得し、そのうえでがん相談員として意思決定支援ができるよう知識や技術を習得する。	演習(意思決定支援で困難だった事例を提出し、グループで事例検討、全体共有する)	15	34	
	広島大学病院				○		H29年10月28日～1日間	平成29年度第2回 広島県がん相談員研修会(がん患者の妊孕性温存について)	広島県がん診療連携協議会 情報提供・相談支援部会	織田 浩子(広島大学病院) 植田 彩(県立広島病院) 不妊症看護認定看護師 広島がん生殖医療ネットワーク(HOFNET) 原 鏡晃(県立広島病院 生殖医療科主任部長 広島がん生殖医療ネットワーク(HOFNET)代表)	広島県がん診療連携協議会がん相談員、広島県内がん患者団体相談員	広島県のがん相談員が、がん患者の妊孕性温存についての相談に対応するための知識を習得する。	講義(妊孕性と妊孕性温存の概説、広島県内のがん相談員を対象とした妊孕性温存に関するアンケート結果、がんと妊孕性に関する基礎知識、がん相談員としての支援方法、2016年までの県立広島病院における妊孕性温存患者の集計)	19	50	
38	山口大学医学部附属病院		○				H29年6月24日～1日間	山口県がん化学療法指導者養成研修会	山口大学医学部附属病院 腫瘍センター	腫瘍センター准教授 吉 野 茂文	宇部・小野田圏域の医師、薬剤師、看護師、MSWの職種で、指導的立場にある者(各職種より1名、必ず4人で参加)	がん対策基本法およびがん対策推進基本計画に基づき企画されるもので、山口県の各地域におけるがん化学療法の医療レベルの更なる向上を図るため	・レジメン審査・登録 ・レジメン説明と同意取得 ・副作用説明とその対策、緊急時の対応(コードブルー) ・化学療法室の適正な予約 ・抗がん剤の曝露対策 ・医療費の説明 ・就労支援や介護保険の案内	4	16	
	山口大学医学部附属病院			○			H29年7月1日～2日間	第3回ELNEC-Jコアカリキュラム看護師教育プログラム	山口大学医学部附属病院	山口大学医学部附属病院 緩和ケアセンター長	県内のがん診療連携拠点病院、宇部・小野田圏域の経験年数3年以上の看護師	県内のがん診療連携拠点病院、宇部・小野田圏域の経験年数3年以上の看護師	ELNEC-Jコアカリキュラム看護師教育プログラムとは、米国で開発されたELNECのプログラムの日本語版で、エンド・オブ・ライフ・ケアを提供する看護師に必須とされる体系的なプログラムです。痛みや症状マネジメント、倫理的問題への対応など、患者さんとご家族に必要なケアを事例検討ロールプレイなどを通して学習します。	10	29	
	山口大学医学部附属病院			○			H30年2月10日～1日間	第1回緩和ケア看護師教育プログラム	山口大学医学部附属病院	山口大学医学部附属病院 緩和ケアセンター長	県内のがん診療連携拠点病院、宇部・小野田圏域の経験年数1年以上の看護師	早期からの質の高い緩和ケアを提供するため、緩和ケアの基礎を学ぶ。	日本看護協会で作成された看護師に対する緩和ケア教育テキストに基づいた研修で、「緩和ケアの概要」「患者の意思決定支援」「苦痛緩和」「専門家への橋渡し・連携」について、講義、ロールプレイ、事例検討により緩和ケアの基礎を学ぶ。	12	34	

No	施設	平成29年度に実施した研修					実施した研修会の概要について								参加施設数(施設数)	参加者数(人)
		化学療法	緩和ケアチーム	看護師	薬剤師	その他(分野)	研修開催日(H○年○月○日～○日間)	研修名	主催施設	研修企画者 部署・職位	研修対象者	研修目的	研修内容(プログラムの項目等の概略)			
	山口大学医学部附属病院					がん登録	H29年7月30日～1日間	平成29年度 山口県 全国がん登録研修会	山口大学医学部	山口県健康福祉部医療政策課(山口県がん診療連携協議会がん登録部会)	山口県内の病院や診療所におけるがん登録の担当職員等	全国がん登録について正しく理解し、各医療機関が円滑に登録業務ができるように支援する	・全国がん登録の概要について ・全国がん登録の届出票作成について	65	123	
	山口大学医学部附属病院					がん登録	H29年11月25日～1日間	平成29年度山口県院内がん登録研修会	山口県立総合医療センター	山口県健康福祉部医療政策課(山口県がん診療連携協議会がん登録部会)	山口県内の医療機関に勤務しており、院内がん登録の実務に携わっている方	院内がん登録に必要な基礎知識の習得を図り、登録精度の向上を支援する	・標準登録様式について ・UICC第8版について	22	51	
	山口大学医学部附属病院					がん相談	H29年12月2日～1日間	平成29年度 山口県がん相談支援スキルアップ研修会	山口県 山口県がん診療連携協議会相談支援部会	山口大学医学部附属病院 がん相談支援センター MSW高砂真明	医療機関及び産業保健の分野において、がん相談に従事する者	相談者の真のニーズを引き出し情報の整理を行い、相談者が意思決定できるように支援する力を高める。高齢者の意思決定支援に必要なプロセスを理解し、相談者自身で意思決定できるように支援する力を身につける	アイズブレイク 講義「山口県のがん対策の現状とがん診療連携拠点病院」 講義「がん相談における意思決定支援」 グループワーク 講義「高齢者のがん相談における意思決定支援」 グループディスカッション	21	29	
39	徳島大学病院	○					H29年7月18日～1日間	第1回徳島がん治療セミナー	徳島大学 がん診療連携センター	がん診療連携センター長	がん診療に関わる医師、看護師、薬剤師、その他様々な医療関係者	免疫チェックポイント阻害薬の有害事象を理解し安全に使用するために	第1部 免疫チェックポイント阻害薬と肺障害 第2部 内分泌有害事象を見逃さないために		85	
	徳島大学病院		○				H29年12月12日～1日間	緩和ケア研修会～知らなければ困る、知っていれば見方が変わる。一般病棟でも使える精神科の知識～	徳島大学病院	緩和ケアセンター 看護師	看護師・メディカルスタッフ	がん患者の精神症状を理解し、適切なケアにつなげる	講義：がん患者の精神症状と観察の視点・対処方法について	2	70	
	徳島大学病院			○			H29年11月16日～1日間	がん看護研修会～看護師が行うがん化学療法の曝露対策～	徳島大学病院	外来化学療法室 副看護師長	県内の看護師	抗がん剤の安全な取り扱いを習得する	講演：看護師が行うがん化学療法の曝露対策 演習：曝露対策を活用した点滴の交換や廃棄などシミュレーションの実施	9	50	
	徳島大学病院				○		H30年1月28日～1日間	徳島県西部保健医療圏がん相談員養成研修会	徳島大学 がん診療連携センター	がん診療連携拠点病院・看護師、医療ソーシャルワーカー、心理士	医療従事者	相談支援についての講義、ワークショップ	相談支援についての講義、ワークショップ	8	12	
	徳島大学病院				○		H30年2月25日～1日間	がんせん妄対策研修会	徳島大学病院 がん診療連携センター	看護部・看護部長	徳島県内の医師・看護師・医療従事者等	患者のせん妄について理解し対策について学ぶ	医師、看護師、薬剤師によるせん妄についての講演及びパネルディスカッション	27	89	
	徳島大学病院				がん相談員		H30年3月4日～1日間	第3回徳島県がん相談員研修会	徳島大学病院 がん診療連携センター	がん診療連携拠点病院・看護師、医療ソーシャルワーカー、心理士	医療従事者	最新の化学療法、がん薬物療法について学ぶ	最新の化学療法、がん薬物療法についての講義	7	35	
40	香川大学医学部附属病院			○			H29年6月3日～0.5日間	平成29年度 公開講座「がん看護」	香川大学医学部附属病院 看護部	香川大学医学部附属病院 看護部 重田 宏恵 香川大学医学部附属病院 看護部 がん相談支援センター 三木 晃子	香川県下 テーマに興味のある看護師	テーマ：「がん患者の意思決定支援を考えよう ～倫理的視点を忘れずに！～」到達目標 1. 意思決定支援に必要な知識・スキルを理解することができる 2. 診断時期・ギアチェンジ期の意思決定を支える看護実践を理解することができる	9時から受付、9時半-導入・資料確認、9時35分-講義①：意思決定支援って何？、10時15分-講義②：意思決定に影響を与える倫理的視点を学ぼう、10時50分-休憩、11時-講義③：治療選択におけるゆらぎ、11時35分-質疑応答、11時50分-まとめ・アンケート記入、片付け	8	11	
	香川大学医学部附属病院				○		H29年4月27日～	東四国医療セミナー	香川県病院薬剤師会	教授 芳地 一	保険薬局薬剤師・病院薬剤師	肺癌における薬物治療	1)肺癌における薬物治療の進歩 演者：香川大学医学部附属病院 呼吸器内科 科長 坂東 修二	48	125	
	香川大学医学部附属病院	○			○		H29年8月2日～	PharmaTalk KAGAWA 9th	共催：香川県病院薬剤師会	教授 芳地 一	保険薬局薬剤師・病院薬剤師	抗がん剤曝露を含めた病院薬剤師がかかわる医療安全対策を知る	1)抗がん剤曝露を含めた病院薬剤師がかかわる医療安全対策 演者：名古屋市立大学大学院 教授・薬剤師長 木村 和哲	69	154	
	香川大学医学部附属病院	○			○		H29年8月17日～	8月度定例研修会	共催：香川県病院薬剤師会	教授 芳地 一	保険薬局薬剤師・病院薬剤師	肺がん治療の最新のトピックスについて研修する	肺がん治療の最新のTopics 香川大学医学部附属病院 血液・免疫・呼吸器内科学 井上 拓哉	58	99	
	香川大学医学部附属病院	○			○		H30年1月19日～	香川薬剤指導セミナー	共催：香川県病院薬剤師会	教授 芳地 一	保険薬局薬剤師・病院薬剤師	抗がん剤曝露の現状と対策について習得する	抗がん剤曝露の現状と対策について	45	66	

No	施設	平成29年度に実施した研修					実施した研修会の概要について								参加施設数(施設数)	参加者数(人)
		化学療法	緩和ケアチーム	看護師	薬剤師	その他(分野)	研修開催日(H○年○月○日～○日間)	研修名	主催施設	研修企画者部署・職位	研修対象者	研修目的	研修内容(プログラムの項目等の概略)			
	香川大学医学部附属病院					○	H29年8月11日～0.5日間	第1回香川県がん相談に携わる人の研修会	香川県がん診療連携協議会 相談支援部会	香川県がん診療連携協議会 相談支援部会 実務者連絡会 委員	がん診療連携拠点病院でがん相談に携わる医療従事者・香川県内でがん相談に携わる医療従事者	・がん相談に携わる医療従事者として、がんに関する医学的知識を得る。 ・「がん登録」に関する知見・情報を得る。 ・がん患者の相談にのる中での「困りごと」や「大切にしていること」を共有する。	14:00 開会挨拶、14:05～14:25 香川県のがん患者をとりまく現状について、14:25～15:15 講演「がん登録ってなに?」、15:25～15:40 アイスブレイク、15:40～16:10 グループワーク「困りごと・大切にしたいこと」、16:25 閉会挨拶	12	31	
	香川大学医学部附属病院					○	H29年8月11日～0.5日間	第7回 香川県がん相談員交流・研修会	香川県がん診療連携協議会 相談支援部会	香川県がん診療連携協議会 相談支援部会 実務者連絡会 委員	がん診療連携拠点病院でがん相談に携わる医療従事者	・がん患者への意思決定支援について学ぶ ・治療方法の選択における倫理的配慮の視点を学ぶ ・意思決定支援のプロセスにおける相談員の役割を考える	9時20分-開会挨拶、9時25分-スタッフ紹介、9時30分-おさらい+ミニレクチャー、9時45分-アイスブレイク、9時55分-グループワーク導入・グループワーク①「アセスメントしてみよう」、10時35分休憩、10時45分-ワーク②「全体共有・発表」、11時-グループワーク③「支援内容を考えよう」、11時半-ワーク④全体共有・発表、11時45分-振り返り、11時55分-全体共有・アンケート記入、12時10分閉会挨拶。	6	33	
	香川大学医学部附属病院					○	H30年2月17日～1日間	第8回 香川県がん相談員交流・研修会	香川県がん診療連携協議会 相談支援部会	香川県がん診療連携協議会 相談支援部会 実務者連絡会 委員	がん診療連携拠点病院でがん相談に携わるスタッフ	・緩和ケアの基本を理解する ・診断時からの緩和ケアの重要性に気づく ・専門家への橋渡し方法や重要性を学ぶ	9時-開会挨拶、9時10分-おさらい+ミニレクチャー、9時25分-アイスブレイク、9時40分グループワーク「患者の妻からの電話相談への対応」、10時40分ワーク発表・全体共有、11時10分-休憩、11時20分-講義「緩和ケアの基本を理解する」、11時45分-まとめ・アンケート記入、11時55分閉会挨拶。	5	33	
	香川大学医学部附属病院					○	H30年1月27日～1日間	第4回香川県がん登録研修会	香川大学医学部附属病院	がんセンターがん登録部門(診療情報管理室)	香川県内の医療機関に勤務されている方で、がん登録実務担当者、これからがん登録に携わる予定及びがん登録に興味のある事務の方	院内がん登録データの精度向上及び、全国がん登録の実施に伴う知識習得	1.院内がん登録標準登録様式について 2.標準登録様式演習 3.がん登録対象の見つけ出しについて	18	30	
41	四国がんセンター	○					H29年9月23日～1日間	Oncology Specialist Meeting 愛媛県病院薬剤師会、愛媛県がん診療連携協議会、持田製薬株式会社	愛媛県病院薬剤師会、愛媛県がん診療連携協議会、持田製薬株式会社	松山赤十字病院 薬剤部 村上通康課長	愛媛県病院薬剤師	施設内薬剤曝露対策の現状と対策を考えるため	特別講演「本邦における抗がん薬曝露対策の展開」(青儀健二郎)後に、全参加施設によるパネルディスカッション「愛媛県における抗がん剤曝露対策の現状と課題」において討論した。	約15	約30	
	四国がんセンター		○				H29年7月22日	自分の病院に、どうやって緩和ケアを浸透させていくか	緩和ケア専門部会(四国がんセンター)	都道府県がん診療連携拠点病院(緩和ケア医長、緩和ケア認定看護師)緩和ケア病棟を有する病院(院長、がん看護専門看護師)地域がん診療連携拠点病院2施設(がん専門看護師)がん診療連携推進病院(看護師)	愛媛県がん診療連携協議会 緩和ケア専門部会(都道府県がん診療連携拠点病院、地域がん診療連携拠点病院、がん診療連携推進病院、緩和ケア病棟を有する病院)	緩和ケアに携わるスタッフの交流・現状報告	1.各施設の現状報告 2.グループワーク「自分の病院に、どのように緩和ケアを浸透させていくか」 3.各グループからの発表と情報共有	17	36	
	四国がんセンター		○				H29年9月16日	愛媛県緩和ケア普及推進事業 緩和ケア能力向上研修会「家族ケア-エンドオブライフにおける多職種ケア-	独立行政法人国立病院機構 四国がんセンター	緩和ケアセンター がん看護専門看護師、緩和ケア認定看護師	愛媛県内の医療介護福祉にかかわる者	エンドオブライフにおける多職種による家族ケアの取り組み	1.講義(臨床心理士、理学療法士、緩和ケア認定看護師、医師、訪問看護師) 2.グループワーク	30	43	
	四国がんセンター		○				H29年9月23日	第7回緩和ケアアフォーラップ研修会	独立行政法人国立病院機構 四国がんセンター	緩和ケアセンター 緩和ケアセンター長 成本勝広	緩和ケア研修修了者	アドバンス・ケア・プランニング、終末期の輸液や鎮静、がん患者の不眠など緩和ケアの深い問題をじっくり話し合う。	1.治療・ケアのゴールを話し合う 2.アドバンス・ケア・プランニング 3.がん患者の不眠や4輪液と栄養 5.苦痛緩和のための鎮静 6.死が近づいたとき	13	14	
	四国がんセンター		○				H29年12月2日	緩和ケアにおける連携についての取り組みや課題、課題への対応	緩和ケア専門部会(四国がんセンター)	都道府県がん診療連携拠点病院(緩和ケア医長、緩和ケア認定看護師)緩和ケア病棟を有する病院(院長、がん看護専門看護師)地域がん診療連携拠点病院2施設(がん専門看護師)がん診療連携推進病院(看護師)	愛媛県がん診療連携協議会 緩和ケア専門部会(都道府県がん診療連携拠点病院、地域がん診療連携拠点病院、がん診療連携推進病院、緩和ケア病棟を有する病院)	緩和ケアに携わるスタッフの交流・現状報告	1.グループワーク0緩和ケアにおける連携についての取り組みや課題、課題への対応 ①院内連携(担当者や多職種との連携、他部門の連携:放射線治療、創傷処置、口腔ケア等) ②院外連携(地域連携室との連携:退院調整等、かかりつけ医との連携:症	17	34	
	四国がんセンター		○				H29年12月8日～1.5時間	がん性疼痛の看護	医療法人順天会 放射線第一病院	看護部	看護部職員(病院、訪問看護ステーション)、他職種	がん性疼痛看護の実践について理解を深め、がん患者への適切な対応を行うと共に、在宅で安心して暮らして	がん性疼痛を有する患者の精神的ケアを含めた緩和ケア ・がん性疼痛に対する治療(薬剤) ・疼痛の評価方法と記録の仕方	1	100	
	四国がんセンター		○				H29年8月29日～30日間	平成29年がん看護実践能力向上研修	愛媛県がん診療連携協議会 がん看護専門部会	愛媛県がん診療連携協議会 がん看護専門部会事務局 四国がんセンター 副看護部長	看護師経験5年以上でかつ、がん看護に1年以上携わったことのある者	県内の実情に応じたがん看護に関する臨床実務研修を実施し、臨床実践能力の高い専門的な看護師の育成により、がん患者に対する看護ケアの充実を図ること	がん医療における患者及び家族の問題解決に資する臨床実践能力の向上をめざし、 1.看護ケアの基礎となる知識の理解と適用 2.的確なアセスメントに基づく問題の明確化 3.アセスメントに基づく効果的、計画的な看護ケアの実施と評価といった、一連の問題解決プロセスを基盤とする演習や実習を主とする。	9	9	
	四国がんセンター		○				H29年10月13日～1時間	南予地域緩和ケア研修会	市立宇和島病院	市立宇和島病院 医学科 課長補佐	市立宇和島病院職員 宇和島市内医療従事者	愛媛県の緩和ケア体制の現状を理解する。その中でも四国がんセンターにおける緩和ケア体制・緩和ケア病棟の役割について知ることができる。	「四国がんセンターにおける緩和ケア体制・緩和ケア病棟の役割」という内容で1時間の講演、その後の質疑応答の時間でディスカッションを行った。	約6	約100	
	四国がんセンター		○				H29年11月9日～1日間	がん看護研修会 がん放射線療法看護実践 ～副作用ケアについて～	市立宇和島病院	市立宇和島病院 緩和ケア委員会 緩和ケア認定看護師 井上幸子	院内外の医療従事者	放射線についての原理原則を知り、放射線治療を受ける患者の看護に役立てることが	放射線治療のメカニズム、有害事象について 放射線療法看護について	1	35	
	四国がんセンター		○		○		H29年10月28日～0.5日間	がん遺伝	愛媛県がん診療連携協議会 がん看護専門部会	四国がんセンター 緩和ケアセンター がん性疼痛看護認定看護師	がん診療に携わる看護師および相談支援業務にかかわる多職種	がん遺伝の関連を医療職が理解し、正しい知識を持って患者対応すると共に、愛媛県内の連携体制を回ることができる	1. 遺伝の基礎 2. 遺伝性腫瘍の概要 3.HBOCの基礎 4.相談支援部門、看護師から気づき ご回	7	34	
	四国がんセンター		○				H30年1月27日～0.5日間	がん患者におけるコミュニケーション	愛媛県がん診療連携協議会 がん看護専門部会	四国がんセンター 緩和ケアセンター がん性疼痛看護認定看護師	看護職 19名	患者が抱える問題解決のための基礎知識、技術を習得し、実践への活用を行う	1. コミュニケーションスキルNURSE 2. ロールプレイ	11	19	
	四国がんセンター		○				H30年2月24日～0.5日間	がん患者におけるコミュニケーション	愛媛県がん診療連携協議会 がん看護専門部会	四国がんセンター 緩和ケアセンター がん性疼痛看護認定看護師	看護職 21名	患者が抱える問題解決のための基礎知識、技術を習得し、実践への活用を行う	1. コミュニケーションスキルNURSE 2. ロールプレイ	1	11	

No	施設	平成29年度に実施した研修					実施した研修会の概要について								参加施設数(施設数)	参加者数(人)
		化学療法	緩和ケアチーム	看護師	薬剤師	その他(分野)	研修開催日(H○年○月○日～○日間)	研修名	主催施設	研修企画者部署・職位	研修対象者	研修目的	研修内容(プログラムの項目等の概略)			
	四国がんセンター				○		H29年9月23日～1日間	Oncology Specialist Meeting 愛媛県病院薬剤師会学術講演会	愛媛県病院薬剤師会、持田製薬株式会社	松山赤十字病院 薬剤部 副部長 村上通康	愛媛県病院薬剤師	施設内薬剤曝露対策の現状と対策を考えるため	特別講演「本邦における抗がん剤曝露対策の展開」(青儀健二郎)後に、曝露対策に関する先進的な取り組みについて、松山赤十字病院、住友別子病院、四国がんセンターより発表しパネルディスカッションにおいて討論した。	約20	約40	
	四国がんセンター				○		H29年8月11日～7日間	第6回遺伝カウンセラーのための実践集中講座～遺伝性腫瘍診療現場の即戦力を目指して～	国立病院機構四国がんセンター	乳腺科、遺伝性がん診療科がん診断・治療開発部長 大住省三	遺伝カウンセラー養成課程の大学院生あるいは遺伝性腫瘍診療の現場で働いている、あるいはこれから働く予定のメディカルスタッフ	遺伝性腫瘍の診療を行う際に必要な知識習得と遺伝カウンセラー技術の向上を目指し、即戦力となる人材育成を目的とする。	① がん診療の全般【講義中心】腫瘍学の基礎、乳がん、大腸がん、婦人科がんなどの臨床(診断と治療の実際) ② 遺伝性腫瘍【講義+演習】家族歴聴取、家系図に基づくリスク評価演習、基本知識習得から臨床応用演習(症例検討、ロールプレイ)、遺伝性乳がん卵巣がん、リンパ症候群、FAPを中心に、基本知識習得 ③ がん患者・家族の支援サポート【講義+見学】相談支援センター概要、臨床心理士、医療ソーシャルワーカー等の他職種との連携、緩和ケア病棟見学、社会資源情報 ④ カウンセリング理論	12	13	
	四国がんセンター				○		H29年11月18日～2日間	第3回愛媛県がんのリハビリテーション研究会	四国がんセンター・松山リハビリテーション病院共催	杉原進介 骨軟部腫瘍整形外科・リハビリテーション科医長	がんのリハビリテーション医療に従事する医師、看護師、PT、OT、ST	この研修会を修了することにより、「がん患者リハビリテーション料」に関する施設基準のうち、適切な研修の要件を満たすことになります。	がんのリハビリテーションの概要、がんのリハビリテーションの問題点(演習の目的と方法の説明)、周術期リハビリテーション、化学療法・放射線療法法の副作用とリスク管理、骨転移患者への対応、歩行・基本動作・ADL・IADL障害に対する対応、心のケアとリハビリテーション、進行がん患者に対するリハビリテーション・アプローチ、がん患者の摂食・嚥下障害、コミュニケーション障害、口腔ケア、リハビリテーションにおける看護師の役割など	20	120	
42	高知大学医学部附属病院			○			H29年9月2日～15日間	中堅看護職員実務研修-がん中期研修-	事業の実施主体は高知県で、委託により本院が実施	多田 邦子 看護部 看護部長	下記①②をともに満たす者 ①がん看護を実施している看護師が5年以上ある者 ②所属長または看護部長の推薦がある者	がん看護に対する看護ケアの充実のため、専門基礎知識・技術の習得とアセスメント能力の向上を通じて、臨床実践能力の高い看護職員の育成を図る。	講義 がん看護概論、がん患者と栄養、がん患者とコミュニケーション、がん患者の在宅支援など24項目 計60時間 実習 がん診療連携拠点病院またはがん診療連携推進病院 6時間×2日 緩和ケア病棟 6時間×1日 訪問看護ステーション 6時間×2日	9	10	
43	九州がんセンター		○				H29年9月13日～1日間	緩和ケアチーム実地研修	九州がんセンター	大島 彰 サイコオンコロジー科/緩和ケアセンター室長	県内外の緩和ケアチームスタッフ	活動実績の少ない他施設の緩和ケアチームの質を向上させ緩和ケア提供体制の強化を図る	・当院のACPの活動の実際を説明 ・実際の困りごとを確認しながらACPの導入について検討 ・緩和ケアチームカンファレンス、緩和ケアチームラウンドへの参加 ・緩和ケアチーム活動の動きの説明 (介入患者の依頼の流れ、緩和ケアチームCF・ラウンドの流れ、緩和ケアチーム啓発活動について、苦痛スクリーニングについて、緩和ケア勉強会について、マニュアルの紹介、実績データ管理) ・緩和ケアチーム依頼患者の紹介 (記録方法の説明、主治医へのフィードバック、実際の患者の回診に同行)	1	3	
	九州がんセンター		○				H29年11月18日～1日間	平成29年度 第1回福岡県緩和ケアチーム研修会	福岡県がん診療連携協議会緩和ケア部会主催	大島 彰 サイコオンコロジー科/緩和ケアセンター室長	福岡県内の緩和ケアチームのメンバー	福岡県内の緩和ケアチーム活動の質向上を通じて、がん患者とその家族が苦痛なく、質の高い療養生活が過ごせるような緩和ケアの提供体制を整備する	I. KEY NOTE SPEECH II. 福岡県がん対策アクションプラン(講義) III. 各施設紹介と課題の発表(発表) IV. 課題共有と対策立案(グループワーク) V. 緩和ケアチームのあるべき姿と各職種の役割(講義) VI. 職種別課題共有・対策検討と今後の継続的交流(グループワーク) VII. CLOSING REMARKS 修了式	9	37	
	九州がんセンター			○			H29年8月28日～10日間	がん看護エキスパートナース研修	九州がんセンター	教育研修係長(教育研修看護部長) 乳腺科病棟看護部長(がん化学療法認定看護師) 緩和ケアセンター・看護部長(がん性疼痛看護認定看護師) 緩和ケアセンター・副看護部長(がん看護専門看護師) 病棟副看護部長(緩和ケア認定看護師、がん化学療法認定看護師)	九州内の国立病院機構の施設において、臨床経験5年以上あり、がん看護経験が3年程度	九州内の国立病院機構の施設において、臨床経験5年以上あり、がん看護経験が3年程度	がん医療総論、がんの病態生理、がんの治療法、がん患者の栄養管理、がん看護総論、がん手術法看護、がん化学療法看護、がん放射線療法看護、がん看護に活かすサイコオンコロジー、コミュニケーション基礎、緩和ケア、症状マネジメント、がん性疼痛看護、セクシュアリティ、がん患者の家族看護、看護倫理、チーム医療、がん医療におけるインフォームドコンセント、がん患者・家族の相談支援、地域医療連携、病棟実習・グループワーク	13	16	
	九州がんセンター				○		H29年6月24日～2日間	相談対応のQAを学ぶ	福岡県がん診療連携協議会 地域連携・情報専門部会	九州がんセンター がん相談支援センター がん専門相談員	九州のがん診療連携拠点病院 がん専門相談員	がん相談支援センターにおけるPDCAサイクル確保の一環として、相談対応の質の向上のための観点を学ぶ。	講義:「がん相談対応評価表の意図と使い方」 グループワーク:評価表の使い方 講義:「がん相談支援の質の管理と維持」 「がん相談で大事にしたいこと」 ディスカッション:「自施設・福岡県内でのがん相談支援の質の向上に向けて」 全体共有	25	70	
	九州がんセンター					がん相談	H29年9月2日～1日間	福岡県 福岡ブロックがん相談員B研修	福岡県がん診療連携協議会 地域連携・情報専門部会	九州医療センター、福岡東医療センター がん専門相談員	福岡ブロック地区でがんに関わる医療従事者	ロールプレイを通して、コミュニケーションの重要性が理解でき、技術を活用できる。 がん医療に関わっている医療スタッフが、連携を強化し患者・家族の思いに寄り添うことができる。	講義、ロールプレイ、全体共有		52	
	九州がんセンター					がん相談	H29年11月11日～1日間	福岡県 筑後ブロックがん相談員B研修	福岡県がん診療連携協議会 地域連携・情報専門部会	朝倉医師会病院、大牟田市立病院、久留米大学病院、公立八女総合病院、聖マリア病院のがん専門相談員	I部:がんサロン利用者、がん相談員 II部:がん相談員	日頃抱えている問題や悩みを共有し、相談支援のスキルアップと地域の相談員の顔が見える関係づくり、および連携の強化・促進	I部:がんサロンちご7周年記念講演会 講演テーマ:「いのちより大切なもの」 講師:栄光病院チャプレン清田直人先生 II部:がんに関する相談支援・地域連携担当研修会 講演テーマ:「療養先選定の意思決定支援」 講師:みどりの社病院 院長 原口勝先生 内容:講演+グループワーク		I部86人 II部44人	
	九州がんセンター					がん相談	H29年11月25日～1日間	福岡県 北九州ブロックがん相談員B研修	福岡県がん診療連携協議会 地域連携・情報専門部会	JCHO九州病院、産業医科科大学病院、戸畑共立病院 がん専門相談員	福岡県2次保健医療圏等で北九州ブロック地域がん診療連携拠点病院近隣病院の連携室・相談部門に携わる方	がん対策に関する国や福岡県の動向を知り、がん相談支援の重要性を理解する。 がんが診断された時からの緩和ケアの必要性を学び、その必要性を理解する。 緩和ケアに関する事例検討を通して、今後の相談業務に活かす事ができる。	講義:福岡県がん対策について がん相談支援センターの取り組み がんが診断された時からの緩和ケアワールドカフェ	15	24	
	九州がんセンター					がん相談	H30年2月24日～1日間	福岡県 筑豊ブロックがん相談員B研修	福岡県がん診療連携協議会 地域連携・情報専門部会	飯塚病院、社会保険田川病院	筑豊ブロック がん診療に携わる医療介護従事者	筑豊ブロック(飯塚・田川・直方・鞍手)で、がん患者さんと関わっている医療・介護従事者と、がんの施策やがん医療の知識を深め、地域のなかでのネットワークを構築すること	講義:相談支援のプロセスについて グループワーク「聞く・聞く・聴くの違いを意識する」 ロールプレイ 聞く体験 グループワーク		44	

No	施設	平成29年度に実施した研修					実施した研修会の概要について							参加施設数(施設数)	参加者数(人)
		化学療法	緩和ケアチーム	看護師	薬剤師	その他(分野)	研修開催日(H○年○月○日～○日間)	研修名	主催施設	研修企画者部署・職位	研修対象者	研修目的	研修内容(プログラムの項目等の概略)		
	九州がんセンター					がん相談	H30年3月9日～1日間	福岡県 福岡ブロックがん相談員B研修	福岡県がん診療連携協議会 地域連携・情報専門部会	済生会福岡総合病院、浜の町病院 がん専門相談員	福岡ブロック地区でがんに関わる医療従事者に携わる医療従事者	がん患者・家族への相談支援のスキル向上および活用	講義:「寄り添いと対峙は、どのようにちがうのか」 講師:チャブレン 清田直人先生 事例検討		25
44	九州大学病院	○					H29年11月25日～1日間	平成29年度 福岡県地域におけるがん化学療法チーム医療研修会	九州大学病院	外来化学療法室	1) 福岡県内地域のがん診療連携拠点病院のがん化学療法に携わる医療スタッフ 2) 1施設4職種(医師、看護師、薬剤師、MSW)での参加	がん治療を受ける患者の副作用マネジメントを通してチーム医療を考えることができる。	ミニレクチャー 自施設紹介 グループワーク(職種別) グループワーク(施設毎) 講義 全体発表	6	22
	九州大学病院						H30年2月28日～1日間	平成29年度 九州大学病院がん化学療法病診連携セミナー	九州大学病院	薬剤部 副薬剤部長 渡邊 裕之	保険薬局薬剤師	がん患者への疼痛管理における服薬指導、副作用対策の実践についての知識及び技能の向上	特別講演「オピオイドを用いたがん疼痛マネジメントの実際」 症例検討会「がん性疼痛マネジメントを充実させよう」	9	38
	九州大学病院	○	○	○	○	○	H29年5月10日～1日間	第50回九州大学病院がんセミナー	九州大学病院がんセンター	九州大学病院 がんカンファレンス担当世話人、緩和ケアセンターセンター長、がんセンターセンター長	院内外医師、薬剤師、検査技師等の医療従事者、研修医、大学院生等	がん治療について幅広い知識を習得する	講演1.「膵悪性腫瘍に対する鏡視下手術の進歩」 講演2.「去勢抵抗性前立腺癌の治療」 講演3.「免疫チェックポイント阻害薬の適正使用—九大チームICIの活動—」		44
	九州大学病院	○	○	○	○	○	H29年7月6日～1日間	第51回九州大学病院がんセミナー	九州大学病院がんセンター	九州大学病院 がんカンファレンス担当世話人、緩和ケアセンターセンター長、がんセンターセンター長	院内外医師、薬剤師、検査技師等の医療従事者、研修医、大学院生等	がん治療について幅広い知識を習得する	講演1.「胸部外科手術における最近の話題」 講演2.「子宮体がんの診断・治療のup-to-date」 講演3.「在宅医療における精神科医の役割」		51
	九州大学病院	○	○	○	○	○	H29年9月6日～1日間	第52回九州大学病院がんセミナー	九州大学病院がんセンター	九州大学病院 がんカンファレンス担当世話人、緩和ケアセンターセンター長、がんセンターセンター長	院内外医師、薬剤師、検査技師等の医療従事者、研修医、大学院生等	がん診療に関わる基本的な知識や最新の情報を習得するため	講演1.「甲状腺がんについて」 講演2.「悪性脳腫瘍治療戦略」 講演3.「がん患者の口腔ケア」		83
	九州大学病院	○	○	○	○	○	H29年11月8日～1日間	第53回九州大学病院がんセミナー	九州大学病院がんセンター	九州大学病院 がんカンファレンス担当世話人、緩和ケアセンターセンター長、がんセンターセンター長	院内外医師、薬剤師、検査技師等の医療従事者、研修医、大学院生等	がん治療について幅広い知識を習得する	講演1.「肝がんに対する生体肝移植」 講演2.「今後ますます注目される膵臓癌とパレット腺癌」 講演3.「がん認知症」		72
	九州大学病院	○	○	○	○	○	H30年2月7日～1日間	第54回九州大学病院がんセミナー	九州大学病院がんセンター	九州大学病院 がんカンファレンス担当世話人、緩和ケアセンターセンター長、がんセンターセンター長	院内外医師、薬剤師、検査技師等の医療従事者、研修医、大学院生等	がん治療について幅広い知識を習得する	講演1.「乳癌治療の最新情報」 講演2.「神経芽腫に対する外科療法」 講演3.「がん疼痛のコントロール」		61
	九州大学病院					がん登録	H30年1月19日～1日間	平成29年度第2回福岡県院内がん登録研修会	九州大学病院	がんセンター長	院内がん登録実務者	福岡県がん診療連携協議会における研修・教育の一環として院内がん登録実務者の、がん診療についての幅広い知識の習得から院内がん登録の精度を向上させることを目的としている。	臓器別講義、ディスカッション	42	62
45	佐賀大学医学部附属病院			○			H29年9月9日～4日間	がん看護スキルアップ研修会	佐賀大学医学部附属病院 看護部	田中まゆこ 緩和ケアセンター 副看護師長 がん看護専門看護師	がん看護に興味のある院内・院外看護師	1.がん患者・家族への看護において基本的コミュニケーションを基盤とし、意思決定支援、治療に伴う有害事象を含め苦痛症状の緩和を理解できる。 2.がん分野の専門・認定看護師に患者・家族のケアについて悩んだときに相談することができる。	1.ベーシックコース 1)がん化学療法看護①: 安全、安楽な抗がん剤の投与管理 2)緩和ケア①: 基本的緩和ケア(症状コントロール) 3)がん化学療法看護②: 代表的な副作用対策とセルフケア支援 4)緩和ケア②: アドバンスケアプランニング 2.アドバンスコース 事例検討会2回(化学療法看護・緩和ケア)	5	85
	佐賀大学医学部附属病院			○			H29年9月26日～5日間	佐賀県がん看護研修会	公益社団法人佐賀県看護協会(佐賀県からの委託により実施)		県内に勤務する者で、看護の臨床経験が3年以上あり、かつ、がん看護の臨床経験がある全日受講可能な者	がん看護に必要な専門的知識、技術を習得したがん看護実践能力を持った看護職員を増やし、佐賀県内のがん看護の均てん化を図る。	がん看護の概要、乳がん患者の看護、がん化学療法と看護、がん性疼痛と看護、肝がんの基礎知識、放射線治療と看護、緩和ケア、在宅におけるがん看護、がんリハビリテーション	33	51
	佐賀大学医学部附属病院			○			H29年9月9日～0.5日間	平成29年度 がん看護スキルアップ研修会 ベーシックコース第1回	佐賀大学医学部附属病院 看護部	田中まゆこ 緩和ケアセンター 副看護師長 がん看護専門看護師	院内・院外看護師	1.がん患者・家族への看護において基本的コミュニケーションを基盤とし、意思決定支援、治療に伴う有害事象を含め苦痛症状の緩和を理解できる。 2.がん分野の専門・認定看護師に患者・家族のケアについて悩んだときに相談することができる。	がん化学療法概論	2	22
	佐賀大学医学部附属病院			○			H29年10月14日～0.5日間	平成29年度 がん看護スキルアップ研修会 ベーシックコース第2回	佐賀大学医学部附属病院 看護部	田中まゆこ 緩和ケアセンター 副看護師長 がん看護専門看護師	院内・院外看護師	1.がん患者・家族への看護において基本的コミュニケーションを基盤とし、意思決定支援、治療に伴う有害事象を含め苦痛症状の緩和を理解できる。 2.がん分野の専門・認定看護師に患者・家族のケアについて悩んだときに相談することができる。	基本的緩和ケアについて	2	16
	佐賀大学医学部附属病院			○			H29年11月11日～0.5日間	平成29年度 がん看護スキルアップ研修会 ベーシックコース第3回	佐賀大学医学部附属病院 看護部	田中まゆこ 緩和ケアセンター 副看護師長 がん看護専門看護師	院内・院外看護師	1.がん患者・家族への看護において基本的コミュニケーションを基盤とし、意思決定支援、治療に伴う有害事象を含め苦痛症状の緩和を理解できる。 2.がん分野の専門・認定看護師に患者・家族のケアについて悩んだときに相談することができる。	がん化学療法における代表的な副作用対策とセルフケア支援	4	25
	佐賀大学医学部附属病院			○			H29年12月9日～0.5日間	平成29年度 がん看護スキルアップ研修会 ベーシックコース第4回	佐賀大学医学部附属病院 看護部	田中まゆこ 緩和ケアセンター 副看護師長 がん看護専門看護師	院内・院外看護師	1.がん患者・家族への看護において基本的コミュニケーションを基盤とし、意思決定支援、治療に伴う有害事象を含め苦痛症状の緩和を理解できる。 2.がん分野の専門・認定看護師に患者・家族のケアについて悩んだときに相談することができる。	コミュニケーションスキル	3	5
	佐賀大学医学部附属病院			○			H30年1月12日～0.5日間	平成29年度 がん看護スキルアップ研修会 アドバンスコース第1回	佐賀大学医学部附属病院 看護部	田中まゆこ 緩和ケアセンター 副看護師長 がん看護専門看護師	院内・院外看護師	1.がん患者・家族への看護において基本的コミュニケーションを基盤とし、意思決定支援、治療に伴う有害事象を含め苦痛症状の緩和を理解できる。 2.がん分野の専門・認定看護師に患者・家族のケアについて悩んだときに相談することができる。	事例検討会	1	9

No	施設	平成29年度に実施した研修					実施した研修会の概要について								
		化学療法	緩和ケアチーム	看護師	薬剤師	その他(分野)	研修開催日 (H○年○月○日～○日間)	研修名	主催施設	研修企画者 部署・職位	研修対象者	研修目的	研修内容 (プログラムの項目等の概略)	参加施設数(施設数)	参加者数(人)
	佐賀大学医学部附属病院			○			H30年1月12日～0.5日間	平成29年度 がん看護スキルアップ研修会 アドバンスコース第2回	佐賀大学医学部附属病院 看護部	田中まゆこ 緩和ケアセンター 副看護師長 がん看護専門看護師	院内・院外看護師	1.がん患者・家族への看護において基本的コミュニケーションを基盤とし、意思決定支援、治療に伴う有害事象を含め苦痛症状の緩和を理解できる。 2.がん分野の専門・認定看護師に患者・家族のケアについて悩んだときに相談することができる。	事例検討会	1	14
	佐賀大学医学部附属病院				○		H29年10月28日～0.1日間	第7回オンコロジー研修会	佐賀県病院薬剤師会がん・緩和ケア部会	木村早希子・佐賀大学医学部附属病院薬剤部・副薬剤師長/佐賀県病院薬剤師会 がん・緩和ケア部会長	佐賀県内の病院薬剤師、薬局薬剤師	化学療法症例検討 免疫チェックポイント阻害薬の副作用管理についての理解を深める	①ドセタキセル投与後に高度の骨髄抑制を来した例・併用薬剤との相関の検討 ②パニツムマブの有害事象に難渋した1症例 ③当院におけるニボルマブの使用経験 ④特別講演「irAEマネジメントに対する薬剤師の関わり～チーム医療の中で薬剤師が果たす役割～」	14	38
	佐賀大学医学部附属病院				○		H30年3月24日～0.1日間	第8回オンコロジー研修会	佐賀県病院薬剤師会がん・緩和ケア部会	木村早希子・佐賀大学医学部附属病院薬剤部・副薬剤師長/佐賀県病院薬剤師会 がん・緩和ケア部会長	佐賀県内の病院薬剤師、薬局薬剤師	緩和ケアの症例検討 がん疼痛療法の理解を深める	①「ROO製剤の使用経験について」 ②「当院におけるメサドンの使用経験」 ③ 自宅退院の移行に向け関与した症例 ④ 特別講演「WHO方式ががん疼痛療法から一歩踏み出す必要性」	17	40
	佐賀大学医学部附属病院				○		H29年6月1日～1日間	第4回佐賀県がん登録研修会	佐賀大学医学部附属病院	院内がん登録室主任 佐々木 和美	がん診療に携わる医師・がん登録実務者	・がん登録(全国がん登録、院内がん登録)の実務をしておく上で必要な基礎知識を身につける ・初回提出に向けて、オンライン届出に関する知識を得る	①標準登録様式:がん登録に必要な解剖学・症例登録 ②全国がん登録:がん登録に必要な解剖学・症例登録 ③オンライン届出に関する説明会	56	87
	佐賀大学医学部附属病院				○		H29年9月1日～0.5日間	第5回佐賀県がん登録研修会	佐賀大学医学部附属病院	院内がん登録室主任 佐々木 和美	がん診療に携わる医師・がん登録実務者	・概念的な部分が終了したため、部位別テキストの内容と、演習を開始 ・遊り調査への対応方法	①がん登録に必要な解剖学・症例登録(院内がん登録) ②全国がん登録に必要な解剖学・症例登録(全国がん登録) ③遊り調査	43	60
	佐賀大学医学部附属病院				○		H29年12月12日～1日間	第6回佐賀県がん登録研修会	佐賀大学医学部附属病院	院内がん登録室主任 佐々木 和美	がん診療に携わる医師・がん登録実務者	『がんで死ぬ、死なない県～なぜ格差が生まれるのか～』と題し、がん登録で得られたデータの比較で考える全国のがん、佐賀県のがん、そして佐賀県はがん「かかりやすい県」なのか、「かかりにくい県」なのか?、について知る	①全国がん登録の症例登録(肺・乳・大腸) ②全国がん登録提出に関する事例紹介 ③特別講演「がんで死ぬ、死なない県～なぜ、格差が生まれるのか～」	43	92
	佐賀大学医学部附属病院				○		H30年2月22日～1日間	第7回佐賀県がん登録研修会	佐賀大学医学部附属病院	院内がん登録室主任 佐々木 和美	がん診療に携わる医師・がん登録実務者	現在公開されている生存率には、どんな種類があるのか? それぞれどのような母体データから算出されているのか? その算出方法は? 医師が算出している生存率との違いはあるのか? 施設データを用いて算出する方法は? 施設の結果と比較するにはどのデータ? これらの点を学ぶ	①全国がん登録提出に関する事例紹介(佐賀県での事例) ②全国がん登録提出に関する事例紹介(国立がん研究センターでの事例) ③生存率について～現在公開されている生存率の解釈方法	43	65
	佐賀大学医学部附属病院				○		H29年4月1日～365日間	佐賀県がん登録e-learning	佐賀大学医学部附属病院	院内がん登録室主任 佐々木 和美	がん登録実務者	佐賀県がん登録研修会に参加できなかった実務者、新規採用の実務者等を対象として、業務の空いた時間や自宅等が登録に必要な基礎知識を習得してもらうことを目的としている。	例)全国がん登録コースには、全国がん登録とHos-caR Lite、Hos-caR Liteを使って、症例登録を行ってみよう(胃癌)、法律に関すること、全国がん登録提出に関する事例紹介(Q&A)等、合計32コンテンツ掲載中	39	50
	佐賀大学医学部附属病院				○		H29年12月13日～1日間	平成29年度 がん相談地域連携研修会	唐津赤十字病院、佐賀県医療センター好生館、嬉野医療センター、佐賀大学医学部附属病院	各拠点病院がん相談支援センターの担当者(医療ソーシャルワーカー、看護師) 佐賀県健康福祉部 健康増進課 がん対策担当者	・がん診療連携拠点病院をはじめ医療機関の相談員および看護師など ・佐賀県健康づくり財団 相談員 ・患者を受け入れる側の企業関係者 ・障害や難病関係の相談員	がんになっても働きたい、仕事を辞めず働きたいという思いを支援できるよう、各事業の概要を理解すると共に、がんをはじめ長期療養が必要な患者が就職し定着した企業やその患者の「実際」を知り、一人でも多くのがん患者の就業・勤務継続を支援できることを目的とする。	・講義:県、ハローワーク、佐賀産業保健総合センター、がん相談支援センターより、支援内容や制度、基礎知識についての講義 ・シンポジウム:がんと就労について(がん患者である当事者、がん患者を雇用する企業を交えたシンポジウム)	35	53
46	長崎大学病院	○					H29年7月21日～1日間	平成29年度第3回長崎県がん診療連携拠点病院研修会	長崎県がん診療連携拠点病院	長崎大学病院がん診療センター副センター長 准教授 福田 実	地域がん診療連携拠点病院および地域医療機関の医療従事者	がん化学療法について最新の知見を学ぶ	特別講演:【がん免疫療法-免疫チェックポイント阻害薬の現状と近未来-】 川崎医科大学附属病院 呼吸器内科 教授 岡 三喜男 先生	10	61
	長崎大学病院			○			H29年8月26日～22日間	専門分野における質の高い看護師職員育成支援事業(がん看護研修)	長崎大学病院	山口典子 教育担当副看護部長 池田津奈子 緩和ケアセンターGM	がん看護を実施している病院、診療所、訪問看護ステーションに勤務する者、実務経験が5年以上もの	がん医療における患者家族の問題解決に資する実務研修を行う事により、がん分野における臨床実践能力の高い看護師の育成を図る。①がん治療に伴う、主な副作用や合併症に対する適切な看護援助が出来る。②病状説明と治療選択等の患者家族の意思決定プロセスへの支援ができる。③緩和ケアの実践とがん患者のQOLの維持向上のための支援ができる。④的確なアセスメントに基づく問題の明瞭化を踏まえ、ケアプランを立案し、看護が実践できる。	総合講義6日/専門分野(緩和ケア、化学療法看護)講義1日/病棟実習6日 緩和ケアチームまたは化学療法実習4日/ホスピス病棟及び在宅ホスピス実習2日 まとめ及び成果発表会3日	11	14

No	施設	平成29年度に実施した研修					実施した研修会の概要について								
		化学療法	緩和ケアチーム	看護師	薬剤師	その他(分野)	研修開催日 (H○年○月○日～○日間)	研修名	主催施設	研修企画者 部署・職位	研修対象者	研修目的	研修内容 (プログラムの項目等の概略)	参加施設数(施設数)	参加者数(人)
	長崎大学病院				○		H29年7月22日～1日間	第24回 長崎県病院薬剤師会がんと薬物療法研修会	長崎県病院薬剤師会	長崎県病院薬剤師会 がん薬物療法WG	がん薬物療法認定薬剤師、がん専門薬剤師を目指す薬剤師、がんに興味を持つ薬剤師	抗がん薬の薬物療法に関する最新の知見の習得	【一般演題】15:15～16:00 (45分) 「フエンタニル製剤からオキシコドン製剤へのスイッチングに関する検討」 演者:長崎県島原病院 薬局 徳永 了亮 先生 【mFOLFOX療法施行時の血液毒性に対する 腎機能の影響に関する検討】 演者:佐世保市総合医療センター 薬剤部 橋本 典也 先生 【特別講演】16:00～17:30 (90分) 『腫瘍内科医が期待する大腸癌化学療法における薬剤師の関わり』 講師:佐賀県医療センター好生館 腫瘍内科 腫瘍内科部長・化学療法室部長 嬉野 紀夫 先生		46
	長崎大学病院				○		H29年10月7日～1日間	第25回 長崎県病院薬剤師会がんと薬物療法研修会	長崎県病院薬剤師会	長崎県病院薬剤師会 がん薬物療法WG	がん薬物療法認定薬剤師、がん専門薬剤師を目指す薬剤師、がんに興味を持つ薬剤師	抗がん薬の薬物療法に関する最新の知見の習得	【一般演題】15:15～16:00 (45分) 『悪性腫瘍によるTrousseau症候群へ抗凝固療法の指導を行った1例』 演者:長崎大学病院 薬剤部 宮永 圭 先生 「スニチブの血中濃度と副作用に及ぼす遺伝子多型の影響」 演者:長崎大学病院 薬剤部 松永 典子 先生 【特別講演】16:00～17:30 (90分) 『チームレンビマのための甲状腺癌治療戦略』 講師:産業医科大学医学部 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 准教授 若杉 哲郎 先生		18
	長崎大学病院				○		H30年1月9日～5日間	日本病院薬剤師会平成29年度がん薬物療法認定薬剤師研修	日本病院薬剤師会	長崎大学病院 薬剤部	がん薬物療法認定薬剤師、がん専門薬剤師を目指す薬剤師	がん薬物療法に関する薬剤師業務の習得	がん患者への薬物療法管理、薬剤管理指導、支持療法(制吐療法他)、緩和薬物療法、抗がん剤調製、レジメンチェック、レジメン審査委員会、各種悪性腫瘍の治療法に関する講義	1	1
	長崎大学病院				○		H30年2月24日～1日間	第26回 長崎県病院薬剤師会がんと薬物療法研修会	長崎県病院薬剤師会	長崎県病院薬剤師会 がん薬物療法WG	がん薬物療法認定薬剤師、がん専門薬剤師を目指す薬剤師、がんに興味を持つ薬剤師	抗がん薬の薬物療法に関する最新の知見の習得	【一般演題】 15:15～16:00 演題①「外来化学療法センターにおいてイリノテカン投与に伴うコリン様症状を改善できた一例」 独立行政法人 労働者健康安全機構 長崎労災病院 薬剤部 要訓子 先生 演題②「嚥下困難患者にアフタニブを導入した一例」 社会医療法人財団白十字会 佐世保中央病院 薬剤部 池田 祐輔 先生 【特別講演】 16:00～17:30 『がん治療を支える 薬剤師のチカラ』 演者:公益財団法人 がん研究会有明病院 薬剤部 主任 日本医療薬学会 がん専門薬剤師 根本 真記 先生		34
	長崎大学病院				○		H29年5月23日～1日間	平成29年度第1回長崎県がん診療連携拠点病院研修会	長崎県がん診療連携拠点病院	長崎大学病院がん診療センター長 芦澤和人	地域がん診療連携拠点病院および地域医療機関の医療従事者	在宅医療に関して	特別講演:【在宅医療の現状とACP (Advance Care Planning)】 阿保外科医院 長崎在宅Dr.ネット理事 阿保 貴章 先生 安中外科脳神経外科医院 長崎在宅Dr.ネット理事 安中 正和 先生	35	136
	長崎大学病院				○		H29年7月1日～1日間	平成29年度第2回長崎県がん診療連携拠点病院研修会	長崎県がん診療連携拠点病院	長崎大学病院がん診療センター長 芦澤和人	地域がん診療連携拠点病院および地域医療機関の医療従事者	これからのがん対策	特別講演: 【これからのがん対策一改正がん対策基本法と第3期がん対策推進基本計画】 国立がん研究センターがん対策情報センター センター長 若尾文彦 先生	14	177
	長崎大学病院				放射線治療		H30年3月9日～1日間	平成29年度第4回長崎県がん診療連携拠点病院研修会	長崎県がん診療連携拠点病院	長崎大学病院がん診療センター長 芦澤和人	地域がん診療連携拠点病院および地域医療機関の医療従事者	がんの粒子線治療について	特別講演:【日本におけるがんの粒子線治療】 筑波大学附属病院 放射線腫瘍科 教授 櫻井 英幸 先生	5	46
47	熊本大学医学部附属病院	○					H29年7月20日～1日間	化学療法技術研修	熊本大学医学部附属病院	熊本県がん診療連携協議会 化学療法部会長 (熊本大学医学部附属病院 がんセンター外来化学療法センター長)	熊本県内の化学療法に携わる医師	化学療法に関する臨床手技について、その理論を学ぶとともに実際の手技をシミュレーターを用いて学習する。	・CVポートに関する講義 ・CVポート穿刺のシミュレーション ・化学療法中のトラブル及び事例報告に関する講義 ・血管外漏出時の対応	1	3
	熊本大学医学部附属病院	○					H30年2月17日～1日間	第9回熊本がん化学療法セミナー	熊本大学医学部附属病院	熊本県がん診療連携協議会 化学療法部会長 (熊本大学医学部附属病院 がんセンター外来化学療法センター長)	熊本県内のがん診療に携わる医師、看護師、薬剤師、検査技師ほか	若手の医師をはじめ、看護師、薬剤師、検査技師などメディカルスタッフが参加し、各分野の診断、治療の基本的な種やトピックスを学び、がん治療に対する幅広い考え方を身につける。	プログラム別添	29	128
	熊本大学医学部附属病院	○					H30年3月22日～1日間	化学療法技術研修	熊本大学医学部附属病院	熊本県がん診療連携協議会 化学療法部会長 (熊本大学医学部附属病院 がんセンター外来化学療法センター長)	熊本県内の化学療法に携わる医師	化学療法に関する臨床手技について、その理論を学ぶとともに実際の手技をシミュレーターを用いて学習する。	・CVポートに関する講義 ・CVポート穿刺のシミュレーション ・化学療法中のトラブル及び事例報告に関する講義 ・血管外漏出時の対応	1	4
	熊本大学医学部附属病院			○			H29年7月21日～1日間	がん看護研修(基礎編)	熊本大学医学部附属病院	がん看護実務研修ワーキンググループメンバーで企画・実施:看護部長1名、がんセンター(看護師長1名、副看護師長3名、看護師1名)、放射線療法室看護師1名、泌尿器科・歯科口腔外科病棟副看護師長1名、緩和ケア病棟副看護師長1名、消化器外科病棟看護師1名	がん看護経験1年以上の看護師	がん看護の基礎的知識を理解し、実践に活かすことができる	・緩和ケア ・がん化学療法看護 ・がん放射線療法看護 ・がん性疼痛看護 ・がん患者における精神的ケア ・統合事例	3	40
	熊本大学医学部附属病院			○			H29年9月8日～1日間	がん看護研修(実践編)	熊本大学医学部附属病院	がん看護実務研修ワーキンググループメンバーで企画・実施:看護部長1名、がんセンター(看護師長1名、副看護師長3名、看護師1名)、放射線療法室看護師1名、泌尿器科・歯科口腔外科病棟副看護師長1名、緩和ケア病棟副看護師長1名、消化器外科病棟看護師1名	がん看護経験3年以上の看護師	がんやがんの治療に伴う症状へのケアについて理解し実践に活かすことができる	・治療に伴う有害事象への看護ケア(がん化学療法・がん放射線療法) ・がんに伴う苦痛症状への看護ケア(がん性疼痛) ・がん看護における症状マネジメント(IASM) ・事例検討(グループワーク)	4	23
	熊本大学医学部附属病院			○			H29年9月15日～1日間	がん看護講演会	熊本大学医学部附属病院	がん看護実務研修ワーキンググループメンバーで企画・実施:看護部長1名、がんセンター(看護師長1名、副看護師長3名、看護師1名)、放射線療法室看護師1名、泌尿器科・歯科口腔外科病棟副看護師長1名、緩和ケア病棟副看護師長1名、消化器外科病棟看護師1名	熊本県内の看護師・医療者	看護師が行う意思決定支援の知識と技術を身につける	テーマ:「がん看護における意思決定支援」 講師:兵庫県立大学 看護学部 川崎優子先生による講演	20	89
	熊本大学医学部附属病院			○			H29年2月18日～1日間	がん看護研修会	熊本大学医学部附属病院	がん看護実務研修ワーキンググループメンバーで企画・実施:看護部長1名、がんセンター(看護師長1名、副看護師長3名、看護師1名)、放射線療法室看護師1名、泌尿器科・歯科口腔外科病棟副看護師長1名、緩和ケア病棟副看護師長1名、消化器外科病棟看護師1名	熊本県内の看護師・医療者	アドバンスケアプランニングについて考える	講師:一般社団法人IACP 共同代表 蔵本 浩一先生 内容:・アドバンスケアプランニングについて講演 ・IACPプログラム ワークショップ	9	35

No	施設	平成29年度に実施した研修					実施した研修会の概要について								参加施設数(施設数)	参加者数(人)
		化学療法	緩和ケアチーム	看護師	薬剤師	その他(分野)	研修開催日(H○年○月○日～○日間)	研修名	主催施設	研修企画者部署・職位	研修対象者	研修目的	研修内容(プログラムの項目等の概略)			
	熊本大学医学部附属病院				○		H29年9月9日～1日間	熊本県病院薬剤師会 研修会・オンコロジー研究会 研修会	熊本県病院薬剤師会	薬剤部・薬剤部長/教授	熊本県内病院・診療所等勤務薬剤師	熊本県内病院等勤務薬剤師を対象とし、がん化学療法時の副作用対策、病院薬局連携およびコミュニケーションスキルにかかわる情報共有並びに知識向上を図ることを目的とする。	がん化学療法時の制吐目的で使用されるデキサメタゾンによる血糖値変動に関する検討、薬業連携による副作用情報の一元化管理に向けた取り組み、長期間化学療法をチームでフォローアップした多発性骨髄腫患者の一症例並びにがん患者とのコミュニケーションスキルの重要性にかかわる研修・講演	20	80	
	熊本大学医学部附属病院					放射線療法	H30年2月3日～1日間	放射線療法部会セミナー「前立腺癌の手術療法(ロボット支援腹腔鏡下前立腺摘除術)」	熊本大学医学部附属病院	熊本県がん診療連携協議会 放射線療法部会長(熊本大学医学部附属病院 放射線治療科長)	がん診療連携拠点病院を中心とした熊本県下の医師及びコメディカルスタッフ	放射線治療及びその関連領域のトピックスを、講演会を通して研修し、日常の診療に役立てることを目的とする。	セミナー・チラシ別添		11	
	熊本大学医学部附属病院					放射線療法	H30年2月24日～1日間	リニアックの精度管理に関する研修会	熊本大学医学部附属病院	熊本県がん診療連携協議会 放射線療法部会長(熊本大学医学部附属病院 放射線治療科長)	放射線治療に携わる診療放射線技師	熊本県内のがん診療連携拠点病院の放射線治療技術の向上と均てん化と放射線治療機器の安全取扱のためのQA/QCの向上、精度管理の手法習得を目的とする。	高エネルギー放射線(X線)測定(PDD,OCR測定)、幾何学的精度管理(ガントリ・コリメータ・治療寝台回転精度、光・実照射野確認)	2	9	
	熊本大学医学部附属病院					放射線療法	H30年3月24日～1日間	リニアックの精度管理に関する研修会	熊本大学医学部附属病院	熊本県がん診療連携協議会 放射線療法部会長(熊本大学医学部附属病院 放射線治療科長)	放射線治療に携わる診療放射線技師	熊本県内のがん診療連携拠点病院の放射線治療技術の向上と均てん化と放射線治療機器の安全取扱のためのQA/QCの向上、精度管理の手法習得を目的とする。	高エネルギー放射線(X線)測定(PDD,OCR測定)、幾何学的精度管理(ガントリ・コリメータ・治療寝台回転精度、光・実照射野確認)	1	2	
	熊本大学医学部附属病院					がん診断	H30年3月15日～1日間	診断部会講演会「肝臓腫瘍の臨床と病理UP-TO-DATE」	熊本大学医学部附属病院	熊本県がん診療連携協議会 がん診断部会長(熊本大学医学部附属病院 画像診断・治療科及び病理部)	熊本県内の医師及びメディカルスタッフ		セミナー・チラシ別添		36	
	熊本大学医学部附属病院					相談支援	H29年9月16日～1日間	熊本県がん相談員研修会	熊本大学医学部附属病院	熊本県がん診療連携協議会 相談支援・情報連携部会長(熊本大学医学部附属病院 産科・婦人科長)	熊本県内のがん診療に携わる医療者	熊本県内のがん診療に携わる医療者が、免疫療法と緩和医療について、がん相談に必要な知識を学ぶことを目的とする。	講義・グループワークを通して、免疫療法と緩和医療について学ぶ		80	
	熊本大学医学部附属病院					相談支援	H29年12月16日～1日間	熊本県がん相談員研修会	熊本大学医学部附属病院	熊本県がん診療連携協議会 相談支援・情報連携部会長(熊本大学医学部附属病院 産科・婦人科長)	熊本県内のがん診療に携わる医療者	熊本県内のがん診療に携わる医療者が、在宅医療における多職種役割の理解し、地域連携に必要な知識を学ぶことを目的とする。	講義・グループワークを通して、在宅医療や地域連携について学ぶ		82	
	熊本大学医学部附属病院					がん登録	H29年10月7日～1日間	熊本県院内がん登録研修会	熊本大学医学部附属病院	熊本県がん診療連携協議会 がん登録部会長(熊本大学医学部附属病院 医療情報経営企画部長)	熊本県内の院内がん登録実務担当者	院内がん登録の精度向上	がん登録に関する最新情報(がん登録情報の利活用について質疑応答)	44	88	
48	大分大学医学部附属病院	○					H29年5月18日～1日間	第2回大分県腫瘍・血液内科懇話会	共催:大分県がん診療連携拠点病院、大分大学医学部附属病院九州がんプロ基盤推進プラン 大分県腫瘍・血液内科懇話会 株式会社ヤクルト本社	白尾 国昭 腫瘍血液内科学講座・教授	医師、その他医療従事者	がん薬物療法専門医を目指す若手医師、研究者が、基礎から臨床にかけての腫瘍学を学ぶことを目的とした。	・腫瘍微小環境の代謝変化とがん免疫治療 ・抗悪性腫瘍剤の最新情報	1	22	
	大分大学医学部附属病院	○					H29年10月28日～1日間	がん化学療法チーム医療～グループワーク研修会～	大分大学医学部附属病院	大分大学医学部附属病院腫瘍センター	大分県下の医療従事者	チーム医療の今後の課題・取組・展望についての情報共有	・チーム医療ワークショップ ・がん化学療法でのチーム医療とは? ・大腸がん治療の基礎知識	4	26	
	大分大学医学部附属病院		○				H29年11月11日～1日間	緩和ケアチーム研修会	大分大学医学部附属病院	奥田健太郎・緩和ケアセンター・同センター長	大分県内の病院の緩和ケアチームスタッフ	日本緩和医療学会の実施したセルフチェックプログラムの助行。施設間交流を行い、顔の見え関係づくりを行い、施設間でのピアレビューの実施ができるようにする。	日本のがん対策と緩和ケアチームの役割 各病院の活動と課題の発表・共有 職種ごとの分科会(医師・看護師・薬剤師・MSW)セルフチェックプログラムの概要と説明	10	32	
	大分大学医学部附属病院			○			H30年1月30日～1日間	第71回大分大学医学部附属病院臨床セミナー・第10回がん診療連携拠点病院相談支援講演会「がん患者の家族ケア」	大分大学医学部附属病院	平山由佳・がん相談支援センター・看護師長	大分県内のがん診療連携拠点病院、協力病院及びがん患者に関わる医療施設、訪問看護ステーション	・がん患者を抱える家族に対するケアについて、困っていることや問題解決に役立て看護の質向上をめざす ・がん相談支援センターを広報し、活用に繋げる。	平成30年1月30日18:30～20:00製品紹介:大腸薬品工業株式会社 特別講演「がん患者の家族ケア」講師:慈恵医科大学附属病院 家族支援専門看護師 児玉久仁子氏 座長:白尾国昭 平山由佳	25	100	
	大分大学医学部附属病院				○		H29年9月20日～1日間	第1回大分県がん薬物療法認定講習会	大分大学医学部附属病院/大分県薬剤師会	伊東弘樹/薬剤部・薬剤部長	大分県下、医療施設および保険薬局に勤務する薬剤師	血液がん治療に関する基礎知識および最新情報を習得する	がん専門医より、がん種別の疫学・病理の基礎、治療の基礎、最新情報等に関する講義	30	38	
	大分大学医学部附属病院	○			○		H29年11月22日	第2回大分県がん薬物療法認定講習会	大分大学医学部附属病院/大分県薬剤師会	伊東弘樹/薬剤部・薬剤部長	大分県下、医療施設および保険薬局に勤務する薬剤師	大腸がん治療に関する基礎知識および最新情報を習得する	がん専門医より、がん種別の疫学・病理の基礎、治療の基礎、最新情報等に関する講義	28	32	
	大分大学医学部附属病院	○			○		H29年12月14日～1日間	第3回大分県がん薬物療法認定講習会	大分大学医学部附属病院/大分県薬剤師会	伊東弘樹/薬剤部・薬剤部長	大分県下、医療施設および保険薬局に勤務する薬剤師	肝臓がん治療に関する基礎知識および最新情報を習得する	がん専門医より、がん種別の疫学・病理の基礎、治療の基礎、最新情報等に関する講義	22	35	
	大分大学医学部附属病院	○			○		H30年1月17日～1日間	第4回大分県がん薬物療法認定講習会	大分大学医学部附属病院/大分県薬剤師会	伊東弘樹/薬剤部・薬剤部長	大分県下、医療施設および保険薬局に勤務する薬剤師	肺がん治療に関する基礎知識および最新情報を習得する	がん専門医より、がん種別の疫学・病理の基礎、治療の基礎、最新情報等に関する講義	35	40	
	大分大学医学部附属病院	○			○		H30年3月22日～1日間	第5回大分県がん薬物療法認定講習会	大分大学医学部附属病院/大分県薬剤師会	伊東弘樹/薬剤部・薬剤部長	大分県下、医療施設および保険薬局に勤務する薬剤師	胃がん治療に関する基礎知識および最新情報を習得する	がん専門医より、がん種別の疫学・病理の基礎、治療の基礎、最新情報等に関する講義	20	25	

No	施設	平成29年度に実施した研修					実施した研修会の概要について								
		化学療法	緩和ケアチーム	看護師	薬剤師	その他(分野)	研修開催日 (H○年○月○日～○日間)	研修名	主催施設	研修企画者 部署・職位	研修対象者	研修目的	研修内容 (プログラムの項目等の概略)	参加施設数(施設数)	参加者数(人)
	大分大学医学部附属病院	○			○		H29年11月28日～1日間	第1回経口抗がん剤勉強会	大分大学医学部附属病院/大分県薬剤師会	伊東弘樹/薬剤部・薬剤部長	大分県下、医療施設および保険薬局に勤務する薬剤師	大腸がん治療に使用される経口抗がん剤の副作用対策について理解する	がん専門薬剤師より、がん種別の疫学・病理の基礎、治療の基礎、最新情報等に関する講義	35	45
	大分大学医学部附属病院	○			○		H30年3月5日～1日間	第2回経口抗がん剤勉強会	大分大学医学部附属病院/大分県薬剤師会	伊東弘樹/薬剤部・薬剤部長	大分県下、医療施設および保険薬局に勤務する薬剤師	乳がん治療に使用される経口抗がん剤の副作用対策について理解する	がん専門薬剤師より、がん種別の疫学・病理の基礎、治療の基礎、最新情報等に関する講義	40	48
	大分大学医学部附属病院					地域連携クリティカルパス	H29年6月16日～1日間	がん地域連携クリティカルパス講演会	大分大学医学部附属病院	総合患者支援センター	大分県内のがん診療に携わる医療関係者	がんの地域連携クリティカルパスの活用	がんの地域連携クリティカルパスの活用	15	60
	大分大学医学部附属病院					がん登録	H29年8月5日～1日間	院内がん登録に関する研修会	大分大学医学部附属病院	腫瘍センター がん登録部	大分県内のがん登録実務者	がん登録のスキルアップ	院内がん登録実務者空車認定試験に向けての演習開設	8	16
	大分大学医学部附属病院					がん登録	H30年3月13日～1日間	院内がん登録に関する研修会	大分大学医学部附属病院	腫瘍センター がん登録部門	大分県内のがん登録実務者	がん登録のスキルアップ	肺がん UICCTNM分類について	15	60
	大分大学医学部附属病院					緩和ケア	H29年5月27日～2日間	緩和ケア研修会(PEACE研修会)	大分大学医学部附属病院	緩和ケアセンター	大分県内のがん診療に携わる医師	緩和ケア研修会(PEACE研修会)	緩和ケア研修会(PEACE研修会)	6	36
	大分大学医学部附属病院					がん相談	H30年2月10日～1日間	九州沖縄ブロック地域相談支援フォーラムin大分	大分県がん診療連携協議会	井上祥明(別府医療センターがん相談室)MSW、杉永彰子(大分県立病院がん相談支援センター)看護師、山下香美(大分大学医学部附属病院がん相談支援センター)MSW、平山由佳(大分大学医学部附属病院がん相談支援センター)看護師	九州沖縄8県のがん診療連携拠点病院医療従事者、がん診療に関わる医療従事者	・九州沖縄ブロック各県のがん相談支援センターの活動に関する情報交換 ・がん相談員の相談対応の質向上、活動支援	・各県の取り組み報告 ・がん相談員のストレスに関するアンケート結果報告 ・「マインドフルネス」の講義 講師:関西学院大学 池笠 聡教授	56	132
49	宮崎大学医学部附属病院			○			H30年1月21日～3日間	宮崎大学公開講座 ELNEC-J研修 ～生活を支える緩和ケア～	宮崎大学医学部附属病院	がん診療部 部長、看護師長	宮崎県内の看護師、看護師経験3年以上で3日間受講できる方	日本緩和医療学会ELNEC-Jコアカリキュラム看護師教育プログラム(研修項目10:エンド・オブ・ライフ・ケアにおける看護、痛みのマネジメント、症状マネジメント、エンド・オブ・ライフ・ケアにおける倫理的問題、エンド・オブ・ライフ・ケアにおける文化への配慮、コミュニケーション患者の意思決定を支えるために/ロールプレイ含む、喪失・悲嘆・死別、臨死期のケア、高齢者のエンド・オブ・ライフ・ケア、質の高いエンド・オブ・ライフ・ケアの達成)	日本緩和医療学会ELNEC-Jコアカリキュラム看護師教育プログラム(研修項目10:エンド・オブ・ライフ・ケアにおける看護、痛みのマネジメント、症状マネジメント、エンド・オブ・ライフ・ケアにおける倫理的問題、エンド・オブ・ライフ・ケアにおける文化への配慮、コミュニケーション患者の意思決定を支えるために/ロールプレイ含む、喪失・悲嘆・死別、臨死期のケア、高齢者のエンド・オブ・ライフ・ケア、質の高いエンド・オブ・ライフ・ケアの達成)	9	18
	宮崎大学医学部附属病院				○		H30年2月10日～1日間	緩和ケア講演会	宮崎大学医学部附属病院 宮崎県がん診療連携協議会	がん診療部 部長、看護師長	宮崎県内の医療関係者	がんが診断されたときからの緩和ケアの提供の重要性を理解できる	我が国が目指す緩和ケアと現状・基本的緩和ケアの実践 ・緩和ケアを専門職に繋ぐ意味・「がんと生きる」を支えるとは ・「がんと診断されたときからの緩和ケア」が提供できるようになるための仕組み ・作りとその実際 ・「がんと診断されたときからの緩和ケア」を提供するための看護師の役割	34	150
	宮崎大学医学部附属病院				○		H30年1月28日～1日間	宮崎県病院薬剤師会研修会	宮崎県病院薬剤師会	宮崎大学医学部附属病院薬剤部 教授	宮崎県病院薬剤師会会員	病院・診療所に勤務する薬剤師(宮崎県病院薬剤師会会員)の専門領域の知識向上のため。	胃癌治療の現状と展望	39	103
	宮崎大学医学部附属病院				○		H30年3月25日～1日間	宮崎県病院薬剤師会研修会	宮崎県病院薬剤師会	宮崎大学医学部附属病院薬剤部、教授	宮崎県病院薬剤師会会員	病院・診療所に勤務する薬剤師(宮崎県病院薬剤師会会員)の専門領域の知識向上のため。	肺癌領域における持続性G-CSFの使い方について	32	106
	宮崎大学医学部附属病院				○		H29年8月5日～1日間	困難事例検討	宮崎県がん診療連携協議会 相談支援専門部会	宮崎県がん診療連携協議会 相談支援専門部会	宮崎県相談支援専門部会 がん相談員	相談員のスキルアップを図る	・事例をグループ(1グループ4～6人)毎で検討する ・まとめの発表	5	17
	宮崎大学医学部附属病院					患者支援センター	H30年1月13日～1日間	治療と職業生活の両立支援	宮崎県がん診療連携協議会 相談支援専門部会	宮崎県がん診療連携協議会 相談支援専門部会	宮崎県相談支援専門部会 がん相談員・宮崎県の実務者	相談者が安心して治療を受けながら、働き続けるための社会制度 職場の支援体制などの理解を深める	講演「治療と職業生活の両立支援」 講師 特定社会保険労務士・産業カウンセラー 酒井 春江先生	11	32
50	鹿児島大学病院	○					H29年8月26日～1日間	鹿児島県がん診療連携協議会四部門合同研修会化学療法部門	鹿児島大学病院	腫瘍センター・センター長(教授) (がん診療企画部門 化学療法)	医師、薬剤師、認定看護師、がん登録部門	化学療法に関する問題点や最新情報の共有	レクチャ(質疑を含み30分) 症例提示	20	30
	鹿児島大学病院				○		H29年11月18日、19日 2日間	患者の意向を尊重した意思決定支援のための研修会in鹿児島2017	鹿児島大学病院・相良病院	上野真一(鹿児島大学病院腫瘍センター長・緩和ケアセンター長) 江口恵子(相良病院総看護師長)	・医師を含む他職種チームで参加できる ・人生の最終段階における医療に携わる医療従事者としての経験が3年以上	「人生の最終段階における医療の決定プロセスに関するガイドライン」を認識し各施設において人生の最終段階における医療に携わっている医療者が実践できること	・人生の最終段階の意思決定に関する総論 ・患者自身の意思決定能力の評価 ・患者本人との合意形成 ・アドバンス・ケア・プランニングとは ・患者の推定意思の決定 ・多職種での合意形成	8	31
	鹿児島大学病院				○		H30年2月24日～1日間	緩和ケア学術講演	鹿児島大学病院	上野真一(鹿児島大学病院腫瘍センター長・緩和ケアセンター長)	鹿児島大学病院医療関係者 地域医療機関等の医療関係者	震災後の医療活動と緩和ケアとしての役割とその活動について体験を通して学ぶ	講演「東日本大震災後の岩手県立大船渡病院における緩和ケア」	21	142
	鹿児島大学病院				○		H29年8月5日、9月3日 2日間	ELNEC-Jコアカリキュラム2017看護師教育プログラム	鹿児島大学病院	落合美智子 鹿児島大学病院専門看護師	がん看護に3年以上携わっている看護師	質の高いエンド・オブ・ライフ・ケアを提供するために必要な知識を学び、看護師の役割について考える。	ELNEC-Jコアカリキュラムに沿って講義及びケーススタディやロールプレイを実施(2日間とも9:00~17:30)	8	28
	鹿児島大学病院				○		H29年10月28日～0.5日間	第2回 院内がん登録研修会	鹿児島大学病院	鹿児島大学病院 腫瘍センター がん登録部門・がん登録部門長	全国がん登録実務者等	・鹿児島県のがん登録の現状について、県の状況を理解する。 ・登録したがんデータがどのように活用されるのか理解し、データの精度管理の必要性について、理解する。	・鹿児島県のがん登録について ・がん対策に活用できる高精度のがん登録を実現するには	65	109

No	施設	平成29年度に実施した研修					実施した研修会の概要について								
		化学療法	緩和ケアチーム	看護師	薬剤師	その他(分野)	研修開催日 (H○年○月○日～○日間)	研修名	主催施設	研修企画者 部署・職位	研修対象者	研修目的	研修内容 (プログラムの項目等の概略)	参加施設数(施設数)	参加者数(人)
	鹿児島大学病院					○	H29年12月2日～2日間	第3回 院内がん登録研修会	鹿児島大学病院	鹿児島大学病院 腫瘍センター がん登録部門・がん登録部門長	院内がん登録実務者等	・がん登録法が施行され、実務者の今後の役割を理解する。・UICC版で特に変更が多い部位(肝、食道、胃、肺)の病期分類を理解する。	・がん登録実務者のこれから ・肝の病期分類 ・食道・胃の病期分類 ・肺の病期分類	22	40
	鹿児島大学病院					○	H30年1月27日～1日間	第4回 院内がん登録研修会	鹿児島大学病院	鹿児島大学病院 腫瘍センター がん登録部門・がん登録部門長	院内がん登録実務者等	・ICDO3コーディングのルールについて、改めて学び、データの精度をあげる。 ・標準登録様式について自施設からの質問内容も交えて、再学習する。	・改めて見直そうICDO3コーディングルール ・標準登録様式における品質管理	21	39
	鹿児島大学病院					○	H30年2月24日～1日間	第5回 院内がん登録研修会	鹿児島大学病院	鹿児島大学病院 腫瘍センター がん登録部門・がん登録部門長	院内がん登録実務者等	・予後調査と改正個人情報保護法について理解する。 ・鹿児島県内の拠点病院、指定病院におけるがん登録体制と取組みについて、各施設代表者が発表し、情報を共有する。	・鹿児島県の予後判明率に対する提案 ・施設発表、来年度の取組みについて	21	37
51	琉球大学医学部附属病院	○					H29年11月14日～1日間	化学療法と副作用対策研修会「がん免疫療法について」	琉球大学医学部附属病院(共催:沖縄県がん診療連携協議会 研修部会)	増田昌人・がんセンター長(診療教授)	拠点病院及び診療病院をはじめとするがん化学療法に携わる医師(それ以外の医療関係者も参加は可能)	拠点病院及び診療病院をはじめとするがん化学療法に携わる医師へ最新情報を伝えるとともに、沖縄県内のがん化学療法のレベルアップを図る	沖縄県立中部病院 血液・腫瘍内科部長(がん薬物療法専門医・血液専門医)による講義と質疑応答	不明(5施設以上)	37
	琉球大学医学部附属病院		○				H29年9月30日～1日間	第1回沖縄県緩和ケアチーム研修会	琉球大学医学部附属病院(共催:沖縄県がん診療連携協議会 緩和ケア部会)	○新屋洋平(県立中部病院 地域ケア科医師)○川田聡(県立南部医療センター・こども医療センター 精神科医師)○佐久川卓(琉球大学医学部附属病院 薬剤部)○多和田慎子(琉球大学医学部附属病院 看護部 緩和ケアセンタージェネラルマネージャー)	がん診療連携拠点病院をはじめ、県内でがん診療を行っている医療機関の①身体担当医師、②精神担当医師、③看護師、④薬剤師、⑤MSW、⑥リハビリ、⑦臨床心理士、⑧その他	ゆいまーる精神に基づいて沖縄県緩和ケアチームの質の連携ならびに維持向上をはかり、がん罹患した患者とその家族が苦痛なく安心して療養生活を送れるようになることを目的とする。	①参加緩和ケアチーム紹介 ②講演:緩和ケアチームについて、グループワーク『包括的アセスメント』 ③グループワーク『専門職の役割』 ④ワールドカフェ『緩和ケアチームの困りごと』 ⑤グループワーク『私たちチームのこれから』	12	71
	琉球大学医学部附属病院			○			H29年12月22日～1日間	トータルペインへの対応(離島出張研修)	琉球大学医学部附属病院	伊波華(琉球大学医学部附属病院 看護部 緩和ケアセンター)、多和田慎子(琉球大学医学部附属病院 看護部 緩和ケアセンタージェネラルマネージャー)	看護師	事例を用いたトータルペインのアセスメント、意思決定支援のポイント、レスキュー対応や評価方法について学ぶ	①事例検討(3例) ②がん患者・家族へのよりよい意思決定支援に向けたチームアプローチ	1	15
	琉球大学医学部附属病院				○		H30年1月6日～2日間	ELNEC-Jコアカリキュラム看護師教育プログラム2017年度	県立中部病院	県立中部病院 外来師長/緩和ケア認定看護師	臨床経験3年以上の看護師	1.人々への質の高いEnd-of-Lifeケアを提供できるように、知識・技術を習得する。2.県内ELNEC-J指導者の知識・技術を発揮する場とする	①エンド・オブ・ライフケアにおける看護 ②痛みのマネジメント ③症状マネジメント ④エンド・オブ・ライフケアにおける倫理的問題 ⑤エンド・オブ・ライフケアにおける文化への配慮 ⑥コミュニケーション ⑦喪失・悲嘆・死別 ⑧臨死期ケア ⑨高齢者のエンド・オブ・ライフケア ⑩質の高いエンド・オブ・ライフケアの達成目標・行動計画立案	23	40
	琉球大学医学部附属病院				○		H29年1月30日～1日間	緩和ケアにおける地域連携	琉球大学医学部附属病院	多和田慎子(琉球大学医学部附属病院 看護部 緩和ケアセンタージェネラルマネージャー)	緩和ケアに携わる医療者	切れ目のない緩和ケアを目指す地域連携	1.緩和ケアにおける地域連携-いつでもどこでも切れ目のない緩和ケアを提供するために-、 2.在宅医療最前線-本人と家族、周りが満足できる地域医療連携をめざして-、 3.参加施設紹介、 4.地域連携における病院側の疑問・困難点、地域医療者からの希望について情報提供	20	52
	琉球大学医学部附属病院				○		H30年1月27日～1日間	がん化学療法の指導ツール作成を通じ、薬剤師として必要なスキルを学ぶ	琉球大学医学部附属病院	琉球大学医学部附属病院 薬剤師	薬剤師	がん化学療法の代表的なレジメンについて、最適な支持療法の設定、予想される副作用の予防、対処方法、モニタリングすべき項目などをワークショップを通じて学ぶことを目的としています。	添付資料参照 (講演、グループワーク)	9	37